

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号  
特許第7348184号  
(P7348184)

(45)発行日 令和5年9月20日(2023.9.20)

(24)登録日 令和5年9月11日(2023.9.11)

(51)国際特許分類 F I  
A 6 1 F 5/445(2006.01) A 6 1 F 5/445

請求項の数 25 (全66頁)

(21)出願番号	特願2020-533637(P2020-533637)	(73)特許権者	500085884
(86)(22)出願日	平成30年12月20日(2018.12.20)		コロプラスト アクティーゼルスカブ
(65)公表番号	特表2021-508272(P2021-508272 A)		デンマーク国ハムルベック、ホルテダム、1
(43)公表日	令和3年3月4日(2021.3.4)	(74)代理人	100099759
(86)国際出願番号	PCT/DK2018/050408		弁理士 青木 篤
(87)国際公開番号	WO2019/120452	(74)代理人	100123582
(87)国際公開日	令和1年6月27日(2019.6.27)		弁理士 三橋 真二
審査請求日	令和3年11月18日(2021.11.18)	(74)代理人	100147555
(31)優先権主張番号	PA201770984		弁理士 伊藤 公一
(32)優先日	平成29年12月22日(2017.12.22)	(74)代理人	100160705
(33)優先権主張国・地域又は機関	デンマーク(DK)		弁理士 伊藤 健太郎
(31)優先権主張番号	PA201770998	(72)発明者	ラース エロブ ラースン
(32)優先日	平成29年12月22日(2017.12.22)		デンマーク国, 2 7 6 0 モーレウ, ス
	最終頁に続く		ナゴーズ アレ 4 5 サンクト テホ
			最終頁に続く

(54)【発明の名称】 オストミーベースプレート及びセンサ組立体部分のためのヒンジを有する結合部

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションを含む、オストミー装具のためのベースプレートのための結合部であって、  
前記結合部は、モニタデバイスと前記ベースプレートとの間の機械的接続を形成する結合部であって、

前記第1の結合部セクションは、第1の結合部平面において実質的に平坦であり、及び前記第2の結合部セクションは、第2の結合部平面において実質的に平坦であり、

前記第1の結合部セクションは、前記ベースプレートの第1の部分に取り付けられるように構成され、

前記第2の結合部セクションは、前記ベースプレートの第2の部分に取り付けられるように構成され、

前記第1の結合部セクションは、前記第2の結合部セクションにヒンジで取り付けられ、ヒンジ軸の周りでの、前記第2の結合部セクションに対する前記第1の結合部セクションの回転運動を可能にし、

前記ヒンジ軸は、前記第1の結合部平面及び前記第2の結合部平面に平行であり、

静止状態において、前記第1の結合部セクション及び前記第2の結合部セクションは、静止角を形成し、前記静止状態は、力が前記第1の結合部セクションに付与されていない状態であり、

前記静止角は、5度超である、結合部。

## 【請求項 2】

前記第 2 の結合部セクションは、第 2 の一次結合部セクション及び 1 つ又は複数の第 2 の二次結合部セクションを含み、前記第 2 の一次結合部セクションは、前記ヒンジ軸の一次側に配置され、前記 1 つ又は複数の第 2 の二次結合部セクションは、前記ヒンジ軸の二次側に配置され、前記ヒンジ軸の前記二次側は、前記ヒンジ軸の前記一次側の逆である、請求項 1 に記載の結合部。

## 【請求項 3】

前記第 1 の結合部セクションは、前記ベースプレートとの結合位置においてモニタデバイスをロックするように構成されたロックセクションを含む、請求項 1 又は 2 に記載の結合部。

10

## 【請求項 4】

前記ロックセクションは、前記第 1 の結合部セクションを貫通する穴を含む、請求項 3 に記載の結合部。

## 【請求項 5】

前記第 1 の結合部セクションは、前記ベースプレートの前記第 1 の部分の遠位側に取り付けられるように構成される、請求項 1 ~ 4 の何れか一項に記載の結合部。

## 【請求項 6】

前記第 2 の結合部セクションは、前記ベースプレートの前記第 2 の部分の遠位側に取り付けられるように構成される、請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載の結合部。

## 【請求項 7】

前記第 1 の結合部セクションは、前記ベースプレートの前記第 1 の部分に取り付けられるように構成された第 1 の結合部セクション接着剤を含む、請求項 1 ~ 6 の何れか一項に記載の結合部。

20

## 【請求項 8】

前記第 2 の結合部セクションは、前記ベースプレートの前記第 2 の部分に取り付けられるように構成された第 2 の結合部セクション接着剤を含む、請求項 1 ~ 7 の何れか一項に記載の結合部。

## 【請求項 9】

前記第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部厚さを有し、及び前記第 2 の結合部セクションは、第 2 の結合部厚さを有し、前記第 1 の結合部厚さ及び / 又は前記第 2 の結合部厚さは、2 mm 未満である、請求項 1 ~ 8 の何れか一項に記載の結合部。

30

## 【請求項 10】

前記第 1 の結合部厚さは、前記第 2 の結合部厚さを上回る、請求項 9 に記載の結合部。

## 【請求項 11】

前記ヒンジ軸に沿って、低減した厚さの 1 つ又は複数のラインを含み、前記ヒンジ軸の周りでの、前記第 2 の結合部セクションに対する前記第 1 の結合部セクションの前記回転運動を可能にする、請求項 1 ~ 10 の何れか一項に記載の結合部。

## 【請求項 12】

前記低減した厚さの 1 つ又は複数のラインは、前記結合部の遠位側に提供される、請求項 11 に記載の結合部。

40

## 【請求項 13】

前記ヒンジ軸に沿って 1 つ又は複数の穴を含み、前記ヒンジ軸の周りでの、前記第 2 の結合部セクションに対する前記第 1 の結合部セクションの前記回転運動を可能にする、請求項 1 ~ 12 の何れか一項に記載の結合部。

## 【請求項 14】

オストミー装具のためのベースプレートであって、

- 上層と、
- 1 つ又は複数の水溶性又は水膨性親水コロイドを含む第 1 の接着層と、
- 接続部及び検知部を有する複数の電極を含む電極組立体と、
- 前記ベースプレートをモニタデバイスに接続するように構成されたモニタインター

50

フェースであって、前記モニタデバイスと前記ベースプレートとを結合するように構成された結合部を含む、モニタインターフェースとを含み、

前記結合部は、第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクションを含み、前記第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部平面において実質的に平坦であり、及び前記第 2 の結合部セクションは、第 2 の結合部平面において実質的に平坦であり、

前記第 1 の結合部セクションは、前記複数の電極の前記接続部を含む前記ベースプレートの第 1 の部分に取り付けられ、

前記第 2 の結合部セクションは、前記ベースプレートの第 2 の部分に取り付けられ、

前記第 1 の結合部セクションは、前記第 2 の結合部セクションにヒンジで取り付けられ、ヒンジ軸の周りでの、前記第 2 の結合部セクションに対する前記第 1 の結合部セクションの回転運動を可能にし、

前記ヒンジ軸は、前記第 1 の結合部平面及び前記第 2 の結合部平面に平行である、ベースプレート。

【請求項 15】

前記上層の上層ストーマ開口部及び前記第 1 の接着層の第 1 の接着剤ストーマ開口部によって少なくとも部分的に形成されるストーマ開口部を含み、前記ベースプレートの前記ストーマ開口部は、ユーザのストーマからの排出物の通過を可能にするように構成される、請求項 14 に記載のベースプレート。

【請求項 16】

前記第 2 の結合部セクションの近位側は、前記上層の第 2 の部分の遠位側に取り付けられる、請求項 14 又は 15 に記載のベースプレート。

【請求項 17】

前記第 1 の結合部セクションの近位側は、前記上層の第 1 の部分の遠位側に取り付けられる、請求項 14 ~ 16 の何れか一項に記載のベースプレート。

【請求項 18】

前記第 1 の結合部セクションの近位側は、前記電極組立体の第 1 の部分の遠位側に取り付けられる、請求項 14 ~ 16 の何れか一項に記載のベースプレート。

【請求項 19】

前記第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部セクション接着剤によって前記ベースプレートの前記第 1 の部分に取り付けられる、請求項 14 ~ 18 の何れか一項に記載のベースプレート。

【請求項 20】

前記第 1 の結合部セクションは、前記第 1 の結合部セクション及び前記ベースプレートの前記第 1 の部分を一緒に溶接することにより、前記ベースプレートの前記第 1 の部分に取り付けられる、請求項 14 ~ 19 の何れか一項に記載のベースプレート。

【請求項 21】

前記第 2 の結合部セクションは、第 2 の結合部セクション接着剤によって前記ベースプレートの前記第 2 の部分に取り付けられる、請求項 14 ~ 20 の何れか一項に記載のベースプレート。

【請求項 22】

前記第 2 の結合部セクションは、前記第 2 の結合部セクション及び前記ベースプレートの前記第 2 の部分を一緒に溶接することにより、前記ベースプレートの前記第 2 の部分に取り付けられる、請求項 14 ~ 21 の何れか一項に記載のベースプレート。

【請求項 23】

静止状態において、前記第 1 の結合部セクション及び前記上層は、静止角を形成し、前記静止状態は、力が前記第 1 の結合部セクションに付与されていない状態である、請求項 14 ~ 22 の何れか一項に記載のベースプレート。

【請求項 24】

前記静止角は、5 度超である、請求項 23 に記載のベースプレート。

10

20

30

40

50

## 【請求項 25】

前記第1の接着層と前記電極組立体との間に裏当て要素を含む、請求項14～24の何れか一項に記載のベースプレート。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本開示は、オストミーシステム、そのデバイス、オストミー装具を製造する方法及びオストミー装具を監視する方法に関する。オストミー装具システムは、オストミー装具及びオストミーモニタデバイスを含む。特に、本開示は、オストミー装具の漏出分類及び/又は検出並びに動作の監視に関する。

10

## 【発明の概要】

## 【課題を解決するための手段】

## 【0002】

添付図面は、実施形態の更なる理解を提供するために含まれており、本明細書に組み込まれて本明細書の一部をなす。図面は、実施形態を示し、説明と共に実施形態の原理を説明する役割を果たす。他の実施形態及び実施形態の意図される利点の多くは、以下の詳細な説明を参照することにより、よりよく理解されるにつれて容易に認識されるであろう。図面の要素は、必ずしも互いに対して一定の縮尺で描かれているわけではない。同様の参照符号は、対応する同様の部分を示す。

## 【図面の簡単な説明】

20

## 【0003】

【図1】図1は、例示的なオストミーシステムを示す。

【図2】図2は、オストミーシステムの例示的なモニタデバイスを示す。

【図3】図3は、オストミー装具のベースプレートの分解組立図である。

【図4】図4は、例示的な電極組立体の分解組立図である。

【図5】図5は、ベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の近位図である。

【図6】図6は、例示的な電極構成の遠位図である。

【図7】図7は、例示的なマスキング要素の遠位図である。

【図8】図8は、例示的な第1の接着層の遠位図である。

【図9】図9は、図8の第1の接着層の近位図である。

30

【図10】図10は、モニタインターフェースを含むベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の遠位図である。

【図11a】図11aは、例示的なベースプレートの分解組立図を示す。

【図11b】図11bは、例示的なベースプレートの分解組立図を示す。

【図12】図12は、例示的な電極組立体の分解組立図を示す。

【図13】図13は、例示的な電極組立体の分解組立図を示す。

【図14】図14は、例示的な電極構成を示す。

【図15】図15は、ベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の概略表現を示す。

【図16】図16は、ベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の概略表現を示す。

40

【図17】図17は、ベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の概略表現を示す。

【図18】図18は、ベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の概略表現を示す。

【図19】図19は、ベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の概略表現を示す。

【図20】図20は、ベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の概略表現を示す。

【図21】図21は、ベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の概略表現を示す。

50

す。

- 【図 2 2】図 2 2 は、例示的なベースプレート及びモニタデバイスを概略的に示す。
  - 【図 2 3】図 2 3 は、例示的なベースプレート及びモニタデバイスの部分を概略的に示す。
  - 【図 2 4】図 2 4 は、例示的なモニタデバイスを概略的に示す。
  - 【図 2 5】図 2 5 は、例示的なベースプレート及びモニタデバイスを概略的に示す。
  - 【図 2 6】図 2 6 は、例示的なベースプレート及びモニタデバイスの部分を概略的に示す。
  - 【図 2 7】図 2 7 は、例示的なベースプレートを概略的に示す。
  - 【図 2 8】図 2 8 は、例示的なベースプレート及びモニタデバイスを概略的に示す。
  - 【図 2 9】図 2 9 は、例示的な結合部を概略的に示す。
  - 【図 3 0】図 3 0 は、例示的な結合部を概略的に示す。
  - 【図 3 1】図 3 1 は、例示的な結合部を概略的に示す。
  - 【図 3 2】図 3 2 は、例示的な結合部を概略的に示す。
  - 【図 3 3】図 3 3 は、例示的なベースプレートの分解組立図を概略的に示す。
  - 【図 3 4】図 3 4 は、例示的な結合部及び電極組立体の部分を概略的に示す。
- 【発明を実施するための形態】

#### 【0004】

種々の例示的な実施形態及び詳細について、関連する場合、図を参照して以下に説明する。図は、一定の縮尺で描かれていることも又はいないこともあり、同様の構造又は機能の要素は、図全体を通して同様の参照符号で表されることに留意されたい。図は、実施形態の説明の促進のみを目的としていることにも留意されたい。図は、本発明の網羅的な説明として又は本発明の範囲への限定として意図されない。加えて、示された実施形態は、示される態様又は利点の全てを有する必要があるわけではない。特定の実施形態と併せて説明される態様又は利点は、必ずしも実施形態に限定されず、そのように示されない場合又はそのように明示的に説明されない場合でも任意の他の実施形態で実施することが可能である。

#### 【0005】

本開示全体を通して、「ストーマ」及び「オストミー」という用語は、人の腸又は泌尿器系統をバイパスする、外科的に造られた開口部を示すのに使用される。これらの用語は、同義で使用され、区別の意味を意図されない。これらの用語に由来する任意の用語又は句、例えば「ストーマの」、「複数のオストミー」等にも同じことが当てはまる。また、ストーマから出る固形廃棄物及び液体廃棄物は、ストーマ「排出物」、「廃棄物」及び「流体」の両方を同義で指すことができる。オストミー手術を受けた対象者は、「オストミスト」又は「オストメイト」 - 更に「患者」又は「ユーザ」とも呼ばれ得る。しかしながら、幾つかの場合、「ユーザ」は、外科医又はオストミーケア看護師等の医療従事者（HCP）に関連するか又はHCPを指すこともある。それらの場合、「ユーザ」が「患者」自身でないか又は明示的に述べられるか、又は文脈から暗黙的であるかの何れかである。

#### 【0006】

以下では、層、要素、デバイス又はデバイスの部分の近位側又は近位面を指すときには常に、その参照は、ユーザがオストミー装具を装着するとき、皮膚に面する側又は表面への参照である。同様に、層、要素、デバイス又はデバイスの部分の遠位側又は遠位面を指すときには常に、その参照は、ユーザがオストミー装具を装着しているとき、皮膚とは逆に面する側又は表面への参照である。換言すれば、装具がユーザに装着されているとき、近位側又は近位面とは、ユーザに最も近い側又は表面であり、遠位側は逆側又は逆の表面 - 使用中のユーザから最も遠く離れた側又は表面 - である。

#### 【0007】

軸方向は、ユーザが装具を装着しているとき、ストーマの方向として定義される。したがって、軸方向は、一般に、ユーザの皮膚又は腹部表面に直交する。

#### 【0008】

半径方向は、軸方向に直交するものとして定義される。文章により、「内部」及び「外部」という用語が使用されることがある。これらの修飾語句は、一般に、「外部」要素へ

10

20

30

40

50

の参照が、その要素が「内部」と参照される要素よりもオストミー装具の中心部部分から離れていることを意味するような半径方向に関して認識されるべきである。加えて、「最も内側」は、構成要素の中心を形成する構成要素の部分及び/又は構成要素の中心に隣接する部分として解釈されるべきである。同様に、「最も外側」は、構成要素の外縁若しくは外側輪郭を形成する構成要素の部分及び/又はその外縁若しくは外側輪郭に隣接する部分として解釈されるべきである。

**【 0 0 0 9 】**

本開示における特定の特徵又は効果への修飾語句としての「実質的に」という用語の使用は、任意の逸脱が、通常、関連する技術分野の当業者により予期される許容差内であることを単に意味することが意図される。

10

**【 0 0 1 0 】**

本開示における特定の特徵又は効果への修飾語句としての「概して」という用語の使用は、構造的特徴の場合、そのような特徴の大半又は大部分が問題となっている特性を示し、機能的特徴又は効果の場合、その特性に関わる結果の大半がその効果を提供するが、例外的な結果がその効果を提供しないことを単に意味することが意図される。

**【 0 0 1 1 】**

本開示は、オストミーシステム及びオストミー装具等のオストミーシステムのデバイス、オストミー装具のベースプレート、モニタデバイス及び任意選択的に1つ又は複数の付属デバイスに関する。更に、オストミーシステム及びオストミーシステムのデバイスに関連する方法が開示される。付属デバイス（外部デバイスとも呼ばれる）は、携帯電話又は他のハンドヘルドデバイスであり得る。付属デバイスは、腕時計又は他の手首装着電子デバイス等、例えばウェアラブルな個人電子デバイスであり得る。付属デバイスは、ドッキングステーションであり得る。ドッキングステーションは、モニタデバイスをドッキングステーションに電氣的且つ/又は機械的に結合するように構成され得る。ドッキングステーションは、モニタデバイスを充電するように構成され得、且つ/又はモニタデバイスとドッキングステーションとの間でデータを転送するように構成され得る。オストミーシステムは、サーバデバイスを含み得る。サーバデバイスは、オストミー装具製造業者及び/又はサービスセンタにより運用且つ/又は制御され得る。

20

**【 0 0 1 2 】**

本開示は、ベースプレートのユーザの皮膚表面への取り付けを提供する接着材料中の水分伝搬の性質、重大度及び迅速性の信頼性の高い特定を単独で又は一緒になって促進するオストミーシステム及びオストミー装具等のオストミーシステムのデバイス、オストミー装具のベースプレート、モニタデバイス及び任意選択的に1つ又は複数の付属デバイスに関する。接着剤中の水分伝搬パターンの性質に応じて、オストミーシステム及びそのデバイスは、故障の種類についての情報をユーザに提供できるようにし、また重大な漏出を経験せず、且つ/又は皮膚損傷なしで、重大度、したがってオストミー装具を交換するための残り時間枠の指示をユーザに提供できるようにする。

30

**【 0 0 1 3 】**

オストミー装具は、ベースプレート及びオストミーパウチ（オストミーバッグとも呼ばれる）を含む。オストミー装具は、人工肛門装具、回腸ストーマ装具又は人工膀胱装具であり得る。オストミー装具は、二品型オストミー装具であり得、すなわち、ベースプレート及びオストミーパウチは、例えば、機械的且つ/又は接着的な結合を用いて解放可能に結合され得、それにより例えば複数のオストミーパウチを1つのベースプレートで利用（交換）できるようにする。更に、二品型オストミー装具は、皮膚へのベースプレートの正確な適用を促進し得る。例えば、ストーマ領域のユーザ視覚の改善を促進し得る。オストミー装具は、単品型オストミー装具であり得、すなわち、ベースプレート及びオストミーパウチは、互いに固定して取り付けられ得る。ベースプレートは、ユーザのストーマ及び/又は周囲皮膚エリア等のストーマ周囲の皮膚に結合するように構成される。

40

**【 0 0 1 4 】**

オストミー装具は、例えば、センサ組立体部分と統合されたモノリシックなワンピース

50

型ベースプレート等のベースプレート又はベースプレート及びベースプレートに続けて適用されるセンサ組立体部分等の別個のセンサ組立体部分を含む。例えば、従来のベースプレート等の任意のベースプレートが、本明細書に記載される特徴を達成できるようにするためである。本明細書においてベースプレートに関して説明する特徴は、例えば、ユーザによりベースプレートに適用されるセンサ組立体部分により提供され得る。センサ組立体部分は、オストミープレートに接着するように適合され得る。

**【 0 0 1 5 】**

ベースプレートをユーザのストーマ及び/又は周囲皮膚エリア等のストーマ周囲の皮膚に取り付ける開示される方法は、センサ組立体部分をベースプレートに取り付けることと、例えば取り付けられたセンサ組立体部分と一緒にベースプレートをユーザのストーマ及び/又は周囲皮膚エリア等のストーマ周囲の皮膚に取り付けることとを含み得る。代替的に、ベースプレートをユーザのストーマ及び/又はストーマ周囲の皮膚に取り付ける方法は、センサ組立体部分をユーザのストーマ及び/又はストーマ周囲の皮膚に取り付けることと、ベースプレートをユーザのストーマ及び/又は取り付けられたセンサ組立体部分の上のストーマ周囲の皮膚に取り付けることとを含み得る。

10

**【 0 0 1 6 】**

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、中心接着層とも示される第1の接着層を含み得る。使用中、第1の接着層は、ユーザの皮膚(周囲エリア)並びに/又は封止ペースト、封止テープ及び/若しくは封止リング等の追加の封止に接着する。したがって、第1の接着層は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分をユーザの皮膚表面に取り付けるように構成され得る。第1の接着層は、中心点を有する、第1の接着性ストーマ開口部等のストーマ開口部を有し得る。

20

**【 0 0 1 7 】**

第1の接着層は、第1の組成物で作製され得る。第1の組成物は、1つ又は複数のポリイソブテン及び/又はスチレン-イソブレン-スチレンを含み得る。第1の組成物は、1つ又は複数の親水コロイドを含み得る。第1の組成物は、1つ又は複数の水溶性又は水膨張性親水コロイドを含み得る。

**【 0 0 1 8 】**

第1の組成物は、弾性エラストマーベース及び1つ又は複数の水溶性又は水膨張性親水コロイドを含む、医療目的に適した感圧性接着組成物であり得る。第1の組成物は、1つ若しくは複数のポリブテン、1つ若しくは複数のスチレン共重合体、1つ若しくは複数の親水コロイド又はそれらの任意の組合せを含み得る。ポリブテンの接着性と親水コロイドの吸収性との組合せは、第1の組成物をオストミー装具の使用に適したものにする。スチレン共重合体は、例えば、スチレン-ブタジエン-スチレンブロック共重合体又はスチレン-イソブレン-スチレンブロック共重合体であり得る。好ましくは、1つ又は複数のスチレン-イソブレン-スチレン(SIS)ブロック型共重合体が利用される。スチレンブロック共重合体の量は、接着組成物全体の5%~20%であり得る。ブテン成分は、適宜、ポリブタジエン、ポリイソブレンから選択される共役ブタジエン重合体である。ポリブテンは、好ましくは、接着組成物全体の35%~50%の量で存在する。好ましくは、ポリブテンは、ポリイソブチレン(PIB)である。第1の組成物への組み込みに適した親水コロイドは、天然起源の親水コロイド、半合成親水コロイド及び合成親水コロイドから選択される。第1の組成物は、20%~60%の親水コロイドを含み得る。好ましい親水コロイドは、カルボキシメチルセルロース(CMC)である。第1の組成物は、任意選択的に、充填剤、粘着付与剤、可塑剤及び他の添加剤等の他の成分を含み得る。

30

40

**【 0 0 1 9 】**

第1の接着層は、複数のセンサ点開口部を有し得る。第1の接着層のセンサ点開口部は、任意選択的に、電極の一部に重なり、例えばセンサ点を形成するように構成される。

**【 0 0 2 0 】**

第1の接着層のセンサ点開口部は、一次センサ点開口部を含み得る。一次センサ点開口部は、1つ又は複数の第1の一次センサ点開口部及び1つ又は複数の第2の一次センサ点

50

開口部を含み得、第1の一次センサ点開口部は、電極の部分に重なるように構成され、第2の一次センサ点開口部は、第1の一次センサ点開口部が少なくとも部分的に重なる電極と異なる別の電極の部分に重なるように構成される。

【0021】

第1の接着層のセンサ点開口部は、二次センサ点開口部を含み得る。二次センサ点開口部は、1つ又は複数の第1の二次センサ点開口部及び1つ又は複数の第2の二次センサ点開口部を含み得、第1の二次センサ点開口部は、電極の部分に重なるように構成され、第2の二次センサ点開口部は、第1の二次センサ点開口部が少なくとも部分的に重なる電極と異なる別の電極の部分に重なるように構成される。

【0022】

第1の接着層のセンサ点開口部は、三次センサ点開口部を含み得る。三次センサ点開口部は、1つ又は複数の第1の三次センサ点開口部及び1つ又は複数の第2の三次センサ点開口部を含み得、第1の三次センサ点開口部は、電極の部分に重なるように構成され、第2の三次センサ点開口部は、第1の三次センサ点開口部が少なくとも部分的に重なる電極と異なる別の電極の部分に重なるように構成される。

【0023】

第1の接着層は、実質的に均一な厚さを有し得る。第1の接着層は、0.1mm～1.5mmの範囲内の厚さ、例えば0.2mm～1.2mmの範囲内の厚さを有し得る。

【0024】

第1の接着層は、第1の接着層の一次部分、例えばストーマ開口部の中心点から一次半径方向距離又は一次半径方向距離範囲内の一次領域において一次厚を有し得る。一次厚は、約1.0mm等の0.2mm～1.5mmの範囲内であり得る。一次半径方向距離は、2.5mm～3.5mmの範囲内等の2.0mm～5.0mmの範囲内であり得、例えば3.0mmであり得る。

【0025】

第1の接着層は、第1の接着層の二次部分、例えばストーマ開口部の中心点から二次半径方向距離又は二次半径方向距離範囲だけ離れた二次領域において二次厚を有し得る。二次厚は、約0.5mm等の0.2mm～1.0mmの範囲内であり得る。二次半径方向距離は、2.5mm～3.5mmの範囲内等の2.0mm～5.0mmの範囲内であり得、例えば3.0mmであり得る。

【0026】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、第2の層を含み得る。第2の層は、リム接着層とも示される第2の接着層であり得る。第2の層は、少なくともベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の角度範囲において、第1の接着層の第1の半径方向広がりよりも大きい第2の半径方向広がりを含み得る。したがって、第2の層の近位面の部分は、ユーザの皮膚表面に取り付けられるように構成され得る。ユーザの皮膚表面に取り付けられるように構成された第2の層の近位面の部分は、第2の接着層の皮膚取り付け面とも示される。第2の層は、中心点を有する、第2の層のストーマ開口部及び/又は第2の接着性ストーマ開口部等のストーマ開口部を有し得る。

【0027】

第2の接着層は、第2の組成物で作製され得る。第2の組成物は、1つ又は複数のポリイソブテン及び/又はスチレン-イソブレン-スチレンを含み得る。第2の組成物は、1つ又は複数の親水コロイドを含み得る。第2の組成物は、1つ又は複数の水溶性又は水膨張性親水コロイドを含み得る。

【0028】

第2の組成物は、弾性エラストマーベース及び1つ又は複数の水溶性又は水膨張性親水コロイドを含む、医療目的に適した感圧性接着組成物であり得る。第2の組成物は、1つ若しくは複数のポリブテン、1つ若しくは複数のスチレン共重合体、1つ若しくは複数の親水コロイド又はそれらの任意の組合せを含み得る。ポリブテンの接着性と親水コロイドの吸収性との組合せは、第2の組成物をオストミー装具の使用に適したものにする。スチ

10

20

30

40

50



レン共重合体は、例えば、スチレンブタジエンスチレンブロック共重合体又はスチレン - イソプレン - スチレンブロック共重合体であり得る。好ましくは、1つ又は複数のスチレン - イソプレン - スチレン (S I S) ブロック型共重合体を利用される。スチレンブロック共重合体の量は、接着組成物全体の5% ~ 20%であり得る。ブテン成分は、適宜、ポリブタジエン、ポリイソプレンから選択される共役ブタジエン重合体である。ポリブテンは、好ましくは、接着組成物全体の35% ~ 50%の量で存在する。好ましくは、ポリブテンは、ポリイソブチレン (P I B) である。第2の組成物への組み込みに適した親水コロイドは、天然起源の親水コロイド、半合成親水コロイド及び合成親水コロイドから選択される。第2の組成物は、20% ~ 60%の親水コロイドを含み得る。好ましい親水コロイドは、カルボキシメチルセルロース (C M C) である。第2の組成物は、任意選択的に、充填剤、粘着付与剤、可塑剤及び他の添加剤等の他の成分を含み得る。

10

## 【0029】

異なる比率の含有量は、第1及び/又は第2の接着層の特性を変え得る。第2の接着層及び第1の接着層は、異なる特性を有し得る。第2の接着層 (第2の組成物) 及び第1の接着層 (第1の組成物) は、異なる比率のポリイソブテン、スチレン - イソプレン - スチレン及び/又は親水コロイドを有し得る。例えば、第2の接着層は、第1の接着層により提供される皮膚への取り付けと比較して、皮膚へのより強力な接着を提供し得る。代替又は追加として、第2の接着層は、第1の接着層よりも薄いことができる。代替又は追加として、第2の接着層は、第1の接着層よりも吸収する水及び/又は汗が少ないことができる。代替又は追加として、第2の接着層は、第1の接着層よりも成形性が低いことができる。第2の接着層は、第2の耐漏出バリアを提供し得る。

20

## 【0030】

第2の層は、実質的に均一な厚さを有し得る。第2の層は、0.5 mm、0.6 mm又は0.7 mm等の0.1 mm ~ 1.5 mmの範囲内の厚さ、例えば0.2 mm ~ 1.0 mmの範囲内の厚さを有し得る。

## 【0031】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、2、3、4、5、6又は7つ以上の電極等の複数の電極等の1つ又は複数の電極を含み得る。センサ組立体部分は、ベースプレートに適用されて、それにより例えばベースプレートに1つ又は複数の電極を提供し得る。

## 【0032】

電極、例えば幾つか又は全ての電極は、第1の接着層と第2の接着層との間に配置され得る。電極は、電極組立体、例えば電極層に配置され得る。電極は、電極を他の構成要素及び/又はインターフェース端子に接続する接続部を含む。電極は、1つ又は複数の導体部分及び/又は1つ又は複数の検知部を含み得る。電極組立体は、第1の接着層と第2の接着層との間に配置され得る。ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分、例えば電極組立体は、第1の電極、第2の電極及び任意選択的に第3の電極を含み得る。ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分、例えば電極組立体は、第4の電極及び/又は第5の電極を含み得る。ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分、例えば電極組立体は、任意選択的に、第6の電極を含む。ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分、例えば電極組立体は、接地電極を含み得る。接地電極は、第1の電極部を含み得る。接地電極の第1の電極部は、第1の電極の接地を形成し得る。接地電極は、第2の電極部を含み得る。接地電極の第2の電極部は、第2の電極の接地を形成し得る。接地電極は、第3の電極部を含み得る。接地電極の第3の電極部は、第3の電極の接地を形成し得る。接地電極は、第4の電極部を含み得る。接地電極の第4の電極部は、第4の電極及び/又は第5の電極の接地を形成し得る。接地電極又は接地電極の電極部は、電極組立体の他の電極の幾つか又は全ての (共通) 基準電極として構成され得るか、又は (共通) 基準電極を形成し得る。接地電極は、基準電極と示されることもある。

30

40

## 【0033】

電極は、導電性であり、金属材料 (例えば、銀、銅、金、チタン、アルミニウム、ステンレス鋼)、セラミック材料 (例えば、ITO)、重合体材料 (例えば、PEDOT、P

50

ANI、PPy)及び炭素質材料(例えば、カーボンブラック、カーボンナノチューブ、カーボン繊維、グラフェン、グラファイト)の1つ又は複数を含み得る。

【0034】

電極組立体の2つの電極は、センサを形成し得る。第1の電極及び接地電極(例えば、接地電極の第1の電極部)は、第1のセンサ又は第1の電極対を形成し得る。第2の電極及び接地電極(例えば、接地電極の第2の電極部)は、第2のセンサ又は第2の電極対を形成し得る。第3の電極及び接地電極(例えば、接地電極の第3の電極部)は、第3のセンサ又は第3の電極対を形成し得る。第4の電極及び接地電極(例えば、接地電極の第4の電極部)は、第4のセンサ又は第4の電極対を形成し得る。第5の電極及び接地電極(例えば、接地電極の第5の電極部)は、第5のセンサ又は第5の電極対を形成し得る。

10

【0035】

第1の電極は、開ループを形成し得る。第2の電極は、開ループを形成し得、且つ/又は第3の電極は、開ループを形成し得る。第4の電極は、開ループを形成し得る。第5の電極は、開ループを形成し得る。開ループ電極は、少数又は1つの電極層への電極配置を可能にする。

【0036】

電極組立体は、支持膜とも記される支持層を含み得る。1つ又は複数の電極は、支持層の近位側に形成、例えばプリントされ得る。1つ又は複数の電極は、支持層の遠位側に形成、例えばプリントされ得る。電極組立体の支持層等の電極組立体は、中心点を有する、電極組立体ストーマ開口部及び/又は支持層ストーマ開口部等のストーマ開口部を有し得る。

20

【0037】

支持層は、重合体材料(例えば、ポリウレタン、PTFE、PVDF)及び/又はセラミック材料(例えば、アルミナ、シリカ)を含み得る。1つ又は複数の例示的なベースプレート及び/又はセンサ組立体部分では、支持層は、熱可塑性ポリウレタン(TPU)で作製される。支持層材料は、ポリエステル、熱可塑性エラストマー(TPE)、ポリアミド、ポリイミド、エチレン酢酸ビニル(EVA)、ポリ尿素及びシリコーンの1つ又は複数で作製され得るか、又はそれらの1つ又は複数を含み得る。

【0038】

支持層の例示的な熱可塑性エラストマーは、スチレンブロック共重合体(TPS、TPE-s)、熱可塑性ポリオレフィンエラストマー(TPO、TPE-o)、熱可塑性加硫ゴム(TPV、TPE-v)、熱可塑性ポリウレタン(TPU)、熱可塑性共ポリエステル(TPC、TPE-E)及び熱可塑性ポリアミド(TPA、TPE-A)である。

30

【0039】

ベースプレート及び/又は電極組立体等のセンサ組立体部分は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の接着層から電極の少なくとも部分を絶縁するように構成されたマスキング要素を含み得る。マスキング要素は、1つ又は複数等の2つ以上のセンサ点開口部を含み得る。センサ点開口部は、一次センサ点開口部及び/又は二次センサ点開口部を含み得る。センサ点開口部は、三次センサ点開口部を含み得る。センサ点開口部は、四次センサ点開口部を含み得る。マスキング要素のセンサ点開口部は、軸方向において見たとき、電極組立体の電極の少なくとも1つに重なり、それにより例えばセンサ点を形成する。例えば、一次センサ点開口部は、接地電極の部分及び/又は第4の電極の部分に重なり得る。二次センサ点開口部は、第4の電極の部分及び/又は第5の電極の部分に重なり得る。三次センサ点開口部は、第5の電極の部分及び/又は接地電極の部分に重なり得る。

40

【0040】

マスキング要素は、1つ又は複数等の2つ以上の端子開口部を含み得る。マスキング要素は、重合体材料(例えば、ポリウレタン、PTFE、PVDF)及び/又はセラミック材料(例えば、アルミナ、シリカ)を含み得る。1つ又は複数の例示的なベースプレート及び/又はセンサ組立体部分では、マスキング要素は、熱可塑性ポリウレタン(TPU)

50

で作製されるか又はTPUを含む。1つ又は複数の例示的なベースプレート及び/又はセンサ組立体部分では、マスキング要素は、ポリエステルで作製されるか又はポリエステルを含む。マスキング要素材料は、ポリエステル、熱可塑性エラストマー(TPE)、ポリアミド、ポリイミド、エチレン酢酸ビニル(EVA)、ポリ尿素及びシリコンの1つ又は複数で作製され得るか、又はそれらの1つ又は複数を含み得る。

【0041】

マスキング要素の例示的な熱可塑性エラストマーは、スチレンブロック共重合体(TPS、TPE-s)、熱可塑性ポリオレフィンエラストマー(TPO、TPE-o)、熱可塑性加硫ゴム(TPV、TPE-v)、熱可塑性ポリウレタン(TPU)、熱可塑性共ポリエステル(TPC、TPE-E)及び熱可塑性ポリアミド(TPA、TPE-A)である。

10

【0042】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、第1の中間要素を含み得る。第1の中間要素は、電極/電極層と第1の接着層との間及び/又は第2の層と第1の接着層との間に配置され得る。第1の中間層は、絶縁材料で作製され得る。

【0043】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、剥離ライナーを含み得る。剥離ライナーは、輸送及び貯蔵中、接着層を保護する保護層であり、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分を皮膚に適用する前にユーザにより剥がされる。剥離ライナーは、中心点を有する、剥離ライナーStorm開口部等のStorm開口部を有し得る。

20

【0044】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、上層を含み得る。上層は、ユーザがオストミー装具を装着したとき、外部歪み及び応力から接着層を保護する保護層である。電極、例えば電極の幾つか又は全ては、第1の接着層と上層との間に配置され得る。上層は、中心点を有する、上層Storm開口部等のStorm開口部を有し得る。上層は、0.04mm等の0.01mm~1.0mmの範囲の厚さ、例えば0.02mm~0.2mmの範囲の厚さを有し得る。

【0045】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、モニタインターフェースを含む。モニタインターフェースは、オストミー装具(ベースプレート/センサ組立体部分)をモニタデバイスに電氣的且つ/又は機械的に接続するように構成され得る。モニタインターフェースは、オストミー装具(ベースプレート/センサ組立体部分)をモニタデバイスに無線接続するように構成され得る。したがって、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分のモニタインターフェースは、オストミー装具とモニタデバイスとを電氣的且つ/又は機械的に結合するように構成される。

30

【0046】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分のモニタインターフェースは、例えば、モニタインターフェースの第1のコネクタの一部として、モニタデバイスとベースプレート及び/又はセンサ組立体部分との間の解放可能な結合等の機械的接続を形成する結合部を含み得る。結合部は、モニタデバイスをベースプレート及び/又はセンサ組立体部分に解放可能に結合するモニタデバイス結合部と係合するように構成され得る。

40

【0047】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分のモニタインターフェースは、例えば、モニタインターフェースの第1のコネクタの一部として、モニタデバイスの各端子との電気接続を形成する、2、3、4、5、6又は7つ以上の端子等の複数の端子を含み得る。モニタインターフェースは、接地端子を形成する接地端子要素を含み得る。モニタインターフェースは、第1の端子を形成する第1の端子要素、第2の端子を形成する第2の端子要素及び任意選択的に第3の端子を形成する第3の端子要素を含み得る。モニタインターフェースは、第4の端子を形成する第4の端子要素及び/又は第5の端子を形成する第5の端子要素を含み得る。モニタインターフェースは、任意選択的に、第6の端子を形成する

50

第6の端子要素を含む。モニタインターフェースの端子要素は、ベースプレート及び/又は電極組立体等のセンサ組立体部分の各電極に接触し得る。第1の中間要素は、端子要素と第1の接着層との間に配置され得る。第1の中間要素は、軸方向において見たとき、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の端子要素を覆うか又はそれと重なり得る。したがって、第1の接着層は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の端子要素から保護されるか、又は端子要素からのより均等に分布した機械的応力を受け、それにより端子要素が第1の接着層を貫通するリスク又は第1の接着層を他の方法で破損するリスクを低減し得る。第1の中間要素は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の端子要素から第1の接着層を保護するか又は機械的且つ/又は電氣的にシールドし得る。

【0048】

10

接地端子要素、第1の端子要素、第2の端子要素、第3の端子要素、第4の端子要素、第5の端子要素及び/又は第6の端子要素等の端子要素は、先端部及び基端部を含み得る。接地端子要素、第1の端子要素、第2の端子要素、第3の端子要素、第4の端子要素、第5の端子要素及び/又は第6の端子要素等の端子要素は、遠位部分、中心部分及び/又は近位部分を含み得る。遠位部分は、先端部と中心部分との間にあり得る。近位部分は、基端部と中心部分との間にあり得る。接地端子要素、第1の端子要素、第2の端子要素、第3の端子要素、第4の端子要素、第5の端子要素及び/又は第6の端子要素等の端子要素は、金メッキされた銅であり得る。

【0049】

ベースプレートは、オストミーパウチをベースプレート(二品型オストミー装具)に結合する結合リング又は他の結合部材を含み得る。中心点は、結合リングの中心として定義され得る。

20

【0050】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、例えば、中心点を有するストーマ開口部を有し得る。ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分のストーマ開口部は、集散的に、上層、第1の接着層、第2の層及び/又はセンサ組立体部分等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の層のストーマ開口部で形成され得る。上層、第1の接着層、第2の層及び/又はセンサ組立体部分等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の層のストーマ開口部は、位置合わせされて、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分のストーマ開口部を形成し得る。

30

【0051】

ストーマ開口部は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の貫通通路であり得る。ストーマ開口部は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の実質的に中心に配置され得る。ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の層のストーマ開口部は、各層の実質的に中心に配置され得る。ストーマ開口部は、ユーザのストーマを受けるように構成され得、且つ/又はストーマ開口部は、ストーマからストーマ開口部を通り、ベースプレートに取り付けられたオストミーパウチに排出できるようにするように構成され得る。例えば、ストーマ開口部は、排出物がベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の近位側からベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の遠位側に通過できるようにするように構成され得る。ストーマ開口部のサイズ及び/又は形状は、通常、オストミー装具を適用する前にユーザのストーマに適合するようにユーザ又は看護師により調整される。1つ又は複数の例示的なベースプレート及び/又はセンサ組立体部分では、ユーザは、適用に向けてベースプレート及び/又はセンサ組立体部分を準備する間、ストーマ開口部を形成する。

40

【0052】

モニタデバイスは、プロセッサと、第1のインターフェース及び/又は第2のインターフェース等の1つ又は複数のインターフェースとを含む。モニタデバイスは、オストミーデータを記憶するメモリを含み得る。

【0053】

1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、プロセッサは、処理方式を適用するよう

50

に構成され、第1のインターフェースは、プロセッサ及びメモリに接続され、第1のインターフェースは、第1のインターフェースに結合されたベースプレート及び/又はセンサ組立体部分からオストミーデータを収集するように構成される。オストミーデータは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の電極対からの第1のオストミーデータ、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第2の電極対からの第2のオストミーデータ並びにベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第3の電極対からの第3のオストミーデータの1つ又は全て等の複数を含み得る。第2のインターフェースは、プロセッサに接続される。処理方式を適用することは、第1のオストミーデータに基づいて第1のパラメータデータを取得すること、第2のオストミーデータに基づいて第2のパラメータデータを取得すること、及び第3のオストミーデータに基づいて第3のパラメータデータを取得することの1つ又は複数を含み得る。処理様式を適用することは、第1のパラメータデータ、第2のパラメータデータ及び第3のパラメータデータの1つ又は全て等の複수에基いてオストミー装具のベースプレートの動作状態を判断することを含み得る。動作状態は、第1の接着層等のベースプレート、及び/又はセンサ組立体部分の半径方向浸食の程度、及び/又はオストミー装具の深刻な漏出リスクを示し得る。モニタデバイスは、動作状態が第1の動作状態であるとの判断に従って、第2のインターフェースを介してベースプレートの第1の動作状態を示すモニタデータを含む第1のモニタ信号を送信し、且つ/又は動作状態が第2の動作状態であるとの判断に従って、第2のインターフェースを介してベースプレートの第2の動作状態を示すモニタデータを含む第2のモニタ信号を送信するように構成される。

10

20

**【0054】**

1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの第1の動作状態は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の接着層が第1の程度の半径方向漏出を受けた、例えば第1の接着層が第1の電極対の第1の半径方向距離まで浸食されたが、第2の電極対の第2の半径方向距離まで浸食されていない状況に対応する。

**【0055】**

1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの第2の動作状態は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の接着層が第2の程度の半径方向漏出を受けた、例えば第1の接着層が第2の電極対の第2の半径方向距離まで浸食されたが、第3の電極対の第3の半径方向距離まで浸食されていない状況に対応する。

30

**【0056】**

第1のオストミーデータに基づいて第1のパラメータデータを取得することは、第1のオストミーデータに基づいて1つ又は複数の第1のパラメータを特定することを含み得る。第2のオストミーデータに基づいて第2のパラメータデータを取得することは、第2のオストミーデータに基づいて1つ又は複数の第2のパラメータを特定することを含み得る。第3のオストミーデータに基づいて第3のパラメータデータを取得することは、第3のオストミーデータに基づいて1つ又は複数の第3のパラメータを特定することを含み得る。1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、動作状態の判断は、第1のパラメータデータの第1の一次パラメータ及び/又は第1の二次パラメータ等の1つ又は複数の第1のパラメータに基づき得る。1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、動作状態の判断は、第2のパラメータデータの第2の一次パラメータ及び/又は第2の二次パラメータ等の1つ又は複数の第2のパラメータに基づき得る。1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、動作状態の判断は、第3のパラメータデータの第3の一次パラメータ及び/又は第3の二次パラメータ等の1つ又は複数の第3のパラメータに基づき得る。1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、動作状態の判断は、第4のパラメータデータの第4の一次パラメータ及び/又は第4の二次パラメータ等の1つ又は複数の第4のパラメータに基づき得る。

40

**【0057】**

第1のパラメータデータ、第2のパラメータデータ及び第3のパラメータデータは、第1の電極対、第2の電極対及び第3の電極対のそれぞれの間での抵抗を示し得る。

50

## 【 0 0 5 8 】

第 1 のパラメータデータ、第 2 のパラメータデータ及び第 3 のパラメータデータは、第 1 の電極対、第 2 の電極対及び第 3 の電極対のそれぞれの間での抵抗変化率を示し得る。

## 【 0 0 5 9 】

1 つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの動作状態を判断することは、第 1 のパラメータデータ及び / 又は第 2 のパラメータデータに基づく第 1 の基準セットに基づき、第 1 の基準セットが満たされる場合、動作状態は、第 1 の動作状態であると判断される。第 1 の基準セットは、第 1 のパラメータデータ、第 2 のパラメータデータ及び第 3 のパラメータデータの 1 つ又は複数に基づく 1 つ又は複数の第 1 の基準を含み得る。第 1 の基準セットは、第 1 のパラメータデータに基づく第 1 の一次基準を含み得る。第 1 の基準セットは、第 2 のパラメータデータに基づく第 1 の二次基準を含み得る。第 1 の基準セットは、第 3 のパラメータデータに基づく第 1 の三次基準を含み得る。

10

## 【 0 0 6 0 】

1 つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの動作状態を判断することは、第 1 の閾値の 1 つ又は複数を含む第 1 の閾値セットに基づき得る。第 1 の閾値セットは、例えば、第 1 の基準セットに適用すべき閾値の 1 つ又は複数を含み得る。第 1 の閾値セットは、第 1 の一次閾値を含み得る。第 1 の閾値セットは、第 1 の二次閾値を含み得る。第 1 の閾値セットは、第 1 の三次閾値を含み得る。

## 【 0 0 6 1 】

第 1 の基準セットは、

(  $P_{11} < TH_{11}$  )、  
 (  $P_{21} > TH_{12}$  )、及び  
 (  $P_{31} > TH_{13}$  )

により与えられ得、式中、 $P_{11}$  は、第 1 のパラメータデータに基づく第 1 の一次パラメータであり、 $TH_{11}$  は、第 1 の一次閾値であり、 $P_{21}$  は、第 2 のパラメータデータに基づく第 2 の一次パラメータであり、 $TH_{12}$  は、第 1 の二次閾値であり、 $P_{31}$  は、第 3 のパラメータデータに基づく第 3 の一次パラメータであり、 $TH_{13}$  は、第 1 の三次閾値であり、第 1 の動作状態は、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分での低度の半径方向漏出を示す。第 1 の閾値 ( $TH_{11}$ 、 $TH_{12}$  及び  $TH_{13}$ ) は、例えば、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の電極構成に応じて同じであるか又は異なり得る。第 1 の三次基準 ( $P_{31} < TH_{13}$ ) は、第 1 の基準セットから省かれ得る。

20

30

## 【 0 0 6 2 】

第 1 の一次パラメータ  $P_{11}$  は、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の第 1 の電極対 (第 1 の電極及び接地電極の第 1 の電極部) 間の抵抗を示し得る。

## 【 0 0 6 3 】

第 2 の一次パラメータは、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の第 2 の電極対 (第 2 の電極及び接地電極の第 2 の電極部) 間の抵抗を示し得る。

## 【 0 0 6 4 】

第 3 の一次パラメータは、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の第 3 の電極対 (第 3 の電極及び接地電極の第 3 の電極部) 間の抵抗を示し得る。

40

## 【 0 0 6 5 】

1 つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの動作状態を判断することは、第 2 のパラメータデータ及び / 又は第 3 のパラメータデータに基づく第 2 の基準セットに基づき、第 2 の基準セットが満たされる場合、動作状態は、第 2 の動作状態であると判断される。第 2 の基準セットは、第 1 のパラメータデータに基づき得る。

## 【 0 0 6 6 】

第 2 の基準セットは、第 1 のパラメータデータ、第 2 のパラメータデータ及び第 3 のパラメータデータの 1 つ又は複数に基づく 1 つ又は複数の第 2 の基準を含み得る。第 2 の基準セットは、第 1 のパラメータデータに基づく第 2 の一次基準を含み得る。第 2 の基準セ

50

ットは、第2のパラメータデータに基づく第2の二次基準を含み得る。第2の基準セットは、第3のパラメータデータに基づく第2の三次基準を含み得る。

【0067】

1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの動作状態を判断することは、第2の閾値の1つ又は複数を含む第2の閾値セットに基づく。第2の閾値セットは、例えば、第2の基準セットに適用すべき閾値の1つ又は複数を含み得る。第2の閾値セットは、第2の一次閾値を含み得る。第2の閾値セットは、第2の二次閾値を含み得る。第2の閾値セットは、第2の三次閾値を含み得る。

【0068】

第2の基準セットは、

( $P_{11} < TH_{21}$ )、  
 ( $P_{21} < TH_{22}$ )、及び  
 ( $P_{31} > TH_{23}$ )

により与えられ得、式中、 $P_{11}$ は、第1のパラメータデータに基づく第1の一次パラメータであり、第1の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{21}$ は、第2の一次閾値であり、 $P_{21}$ は、第2のパラメータデータに基づく第2の一次パラメータであり、第2の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{22}$ は、第2の二次閾値であり、 $P_{31}$ は、第3のパラメータデータに基づく第3の一次パラメータであり、第3の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{23}$ は、第2の三次閾値であり、第2の動作状態は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分での中度の半径方向漏出を示す。第2の閾値( $TH_{21}$ 、 $TH_{22}$ 及び $TH_{23}$ )は、例えば、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の電極構成に応じて同じであるか又は異なり得る。第2の一次基準( $P_{11} < TH_{21}$ )及び/又は第2の三次基準( $P_{31} > TH_{23}$ )は、第2の基準セットから省かれ得る。

【0069】

1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの動作状態を判断することは、第1のパラメータデータに基づくデフォルト基準セットに基づき、デフォルト基準セットが満たされる場合、動作状態は、デフォルト動作状態であると判断され、動作状態がデフォルト動作状態であるとの判断に従って、オストミー装具のデフォルト動作状態を示すモニタデータを含むデフォルトモニタ信号を送信する。

【0070】

デフォルト基準セットは、

( $P_{11} > TH_{D1}$ )、  
 ( $P_{21} > TH_{D2}$ )、及び  
 ( $P_{31} > TH_{D3}$ )

により与えられ得、式中、 $P_{11}$ は、第1のパラメータデータに基づく第1の一次パラメータであり、第1の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{D1}$ は、デフォルト一次閾値であり、 $P_{21}$ は、第2のパラメータデータに基づく第2の一次パラメータであり、第2の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{D2}$ は、デフォルト二次閾値であり、 $P_{31}$ は、第3のパラメータデータに基づく第3の一次パラメータであり、第3の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{D3}$ は、デフォルト三次閾値であり、デフォルト動作状態は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分での半径方向漏出がないか又は非常に低度であることを示す。デフォルト閾値( $TH_{D1}$ 、 $TH_{D2}$ 及び $TH_{D3}$ )は、例えば、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の電極構成に応じて同じであるか又は異なり得る。

【0071】

1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの動作状態を判断することは、第3のパラメータデータに基づく第3の基準セットに基づき、第3の基準セットが満たされる場合、動作状態は、第3の動作状態であると判断され、動作状態が第3の動作状態であるとの判断に従って、オストミー装具の第3の動作状態を示すモニタデータを含

10

20

30

40

50

む第3のモニタ信号を送信する。

【0072】

1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの第3の動作状態は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の接着層が第3の程度の半径方向漏出を受けた状況、例えば、第1の接着層が第3の電極対の第3の半径方向距離まで漏出した状況に対応する。

【0073】

第3の基準セットは、

( $P_{11} < TH_{31}$ )、  
 ( $P_{21} < TH_{32}$ )、及び  
 ( $P_{31} < TH_{33}$ )

により与えられ得、式中、 $P_{11}$ は、第1のパラメータデータに基づく第1の一次パラメータであり、第1の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{31}$ は、第3の一次閾値であり、 $P_{21}$ は、第2のパラメータデータに基づく第2の一次パラメータであり、第2の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{32}$ は、第3の二次閾値であり、 $P_{31}$ は、第3のパラメータデータに基づく第3の一次パラメータであり、第3の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{33}$ は、第3の三次閾値であり、第3の動作状態は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分での高度の半径方向漏出を示す。第3の閾値( $TH_{31}$ 、 $TH_{32}$ 及び $TH_{33}$ )は、例えば、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の電極構成に応じて同じであるか又は異なり得る。第3の一次基準( $P_{11} < TH_{31}$ )及び/又は第3の二次基準( $P_{21} < TH_{32}$ )は、第3の基準セットから省

【0074】

1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、オストミーデータは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第4の電極対からの第4のオストミーデータを含む。処理方式を適用することは、第4のオストミーデータに基づく第4のパラメータデータを取得することと、第4のパラメータデータに基づいてオストミー装具のベースプレートの動作状態を判断することとを含み得る。モニタデバイスは、動作状態が第4の動作状態であるとの判断に従って、オストミー装具の第4の動作状態を示すモニタデータを含む第4のモニタ信号を送信するように構成され得る。

【0075】

1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、ベースプレートの第4の動作状態は、第4の電極対が第1の接着層の遠位面とユーザの皮膚との間で第4の半径方向距離での排出物等の流体を検出する状況に対応し、したがって第4の動作状態ではオストミー装具からの高い漏出リスクがある。

【0076】

第4の基準セットは、

( $P_{41} < TH_{44}$ )

により与えられ得、 $P_{41}$ は、第4のパラメータデータに基づく第4の一次パラメータであり、第4の電極対間の抵抗を示し、 $TH_{44}$ は、第4の四次閾値であり、第4の動作状態は、オストミー装具からの高い漏出リスクを示す。

【0077】

モニタデバイスは、任意選択的にプラスチック材料で作製されたモニタデバイス筐体を含む。モニタデバイス筐体は、第1の端部及び第2の端部を有する長尺状筐体であり得る。モニタデバイス筐体は、1cm~15cmの範囲内の長手方向軸に沿って長さ又は最大の広がりをも有し得る。モニタデバイス筐体は、0.5cm~3cmの範囲内の長手方向軸に直交して幅又は最大の広がりをも有し得る。モニタデバイス筐体は、湾曲形状であり得る。

【0078】

モニタデバイスは、第1のインターフェースを含む。第1のインターフェースは、モニタデバイスをオストミー装具に電氣的且つ/又は機械的に接続する装具インターフェース

10

20

30

40

50



として構成され得る。したがって、装具インターフェースは、モニタデバイスとオストミー装具とを電氣的且つ／又は機械的に結合するように構成される。第1のインターフェースは、モニタデバイスをドッキングステーション等の付属デバイスに電氣的且つ／又は機械的に接続する付属デバイスインターフェースとして構成され得る。第1のインターフェースは、オストミーシステムのドッキングステーションに結合して、例えばモニタデバイスを充電し、且つ／又はモニタデバイスとドッキングステーションとの間でデータを転送するように構成され得る。

【0079】

モニタデバイスの第1のインターフェースは、オストミー装具の各端子及び／又は電極と電気接続を形成する、2、3、4、5、6又は7つ以上の端子等の複数の端子を含み得る。第1のインターフェースの1つ又は複数の端子は、付属デバイス、例えばドッキングステーションの各端子と電気接続を形成するように構成され得る。第1のインターフェースは、接地端子を含み得る。第1のインターフェースは、第1の端子、第2の端子及び任意選択的に第3の端子を含み得る。第1のインターフェースは、第4の端子及び／又は第5の端子を含み得る。第1のインターフェースは、任意選択的に、第6の端子を含む。1つ又は複数の例示的なモニタデバイスでは、第1のインターフェースは、M個の端子を有し、ここで、Mは、4～8の範囲内の整数である。

10

【0080】

モニタデバイスの第1のインターフェースは、モニタデバイスとベースプレート及び／又はセンサ組立体部分との間の解放可能な結合等の機械的接続を形成する結合部（代替的にデバイス結合部又はモニタデバイス結合部と記されることもある）を含み得る。第1のインターフェースの結合部及び端子は、モニタデバイス（の少なくとも一部）の第1のコネクタを形成する。

20

【0081】

モニタデバイスは、モニタデバイスに給電する電力ユニットを含む。電力ユニットは、電池を含み得る。電力ユニットは、電池及び第1のインターフェースの端子に接続されて、第1のインターフェース、例えば第1のコネクタを介して電池を充電する充電回路を含み得る。第1のインターフェースは、電池を充電するために別個の充電端子を含み得る。

【0082】

モニタデバイスは、1つ又は複数のセンサを有するセンサユニットを含み得る。センサユニットは、プロセッサに接続されて、センサデータをプロセッサに供給する。センサユニットは、加速度を検知し、加速度データをプロセッサに提供する加速度計を含み得る。センサユニットは、温度データをプロセッサに提供する温度センサを含み得る。

30

【0083】

モニタデバイスは、プロセッサに接続された第2のインターフェースを含む。第2のインターフェースは、モニタデバイスを1つ又は複数の付属デバイスに接続、例えば無線接続する付属インターフェースとして構成され得る。第2のインターフェースは、例えば、2.4GHz～2.5GHzの範囲の周波数における無線通信向けに構成されたアンテナ及び無線送受信機を含み得る。無線送受信機は、Bluetooth（登録商標）送受信機であり得、すなわち、無線送受信機は、Bluetooth（登録商標）プロトコル、例えばBluetooth（登録商標）Low Energy、Bluetooth（登録商標）4.0、Bluetooth（登録商標）5による無線通信向けに構成され得る。第2のインターフェースは、任意選択的に、オーディオ信号及び／又は触覚フィードバックをユーザにそれぞれ提供するラウドスピーカ及び／又は触覚フィードバック要素を含む。

40

【0084】

1つ又は複数の例示的なオストミーシステムでは、モニタデバイスは、オストミー装具の統合部分を形成し、例えば、モニタデバイスは、オストミー装具のベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の統合部分を形成し得る。

【0085】

50

オストミーシステムは、オストミーシステムの付属デバイスを形成するドッキングステーションを含み得る。ドッキングステーションは、モニタデバイスをドッキングステーションに電氣的且つ／又は機械的に結合するように構成され得る。

【0086】

ドッキングステーションは、ドッキングモニタインターフェースを含み得る。ドッキングモニタインターフェースは、モニタデバイスをドッキングステーションに電氣的且つ／又は機械的に接続するように構成され得る。ドッキングモニタインターフェースは、モニタデバイスをドッキングステーションに無線接続するように構成され得る。ドッキングステーションのドッキングモニタインターフェースは、ドッキングステーションとモニタデバイスとを電氣的且つ／又は機械的に結合するように構成され得る。

10

【0087】

ドッキングステーションのドッキングモニタインターフェースは、例えば、ドッキングモニタインターフェースの第1のコネクタの一部として、モニタデバイスとドッキングステーションとの間の解放可能な結合等の機械的接続を形成する結合部を含み得る。結合部は、モニタデバイスの結合部と係合して、モニタデバイスをドッキングステーションに解放可能に結合するように構成され得る。

【0088】

ドッキングステーションのドッキングモニタインターフェースは、例えば、ドッキングモニタインターフェースの第1のコネクタの一部として、モニタデバイスの各端子との電気接続を形成する、2、3、4、5、6又は7つ以上の端子等の複数の端子を含み得る。ドッキングモニタインターフェースは、接地端子を含み得る。ドッキングモニタインターフェースは、第1の端子及び／又は第2の端子を含み得る。ドッキングステーションは、第3の端子を含み得る。ドッキングモニタインターフェースは、第4の端子及び／又は第5の端子を含み得る。ドッキングモニタインターフェースは、任意選択的に、第6の端子を含む。

20

【0089】

開示されるのは、上述したベースプレート等のオストミー装具のベースプレートである。また、ベースプレートに適用されるセンサ組立体部分等のオストミー装具のセンサ組立体部分も開示される。ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分は、上層、第1の接着層、複数の電極を含む電極組立体並びにベースプレート及び／又はセンサ組立体部分をモニタデバイスに接続するように構成されたモニタインターフェースを含み得る。ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分は、上述した追加の層及び／又は特徴を含み得る。

30

【0090】

モニタインターフェースは、複数の電極に電氣的に接続され、モニタデバイスの各端子と接続するように構成された複数の端子を含み得る。

【0091】

モニタインターフェースは、モニタデバイスとベースプレート及び／又はセンサ組立体部分とを結合するように構成された結合部を含み得る。複数の端子は、結合部に提供され得る。結合部は、例えば、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分との結合位置においてモニタデバイスをロックするように構成されたロックセクションを含み得る。

40

【0092】

また、上述したオストミー装具のベースプレート及び／又はセンサ組立体部分に接続するモニタデバイス等の上述したモニタデバイス等のモニタデバイスも開示される。モニタデバイスは、モニタデバイス筐体と、電子回路と、モニタデバイスをベースプレート及び／又はセンサ組立体部分に接続するように構成された装具インターフェースとを含み得る。モニタデバイスは、上述した特徴等の追加の特徴を含み得る。

【0093】

装具インターフェースは、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の複数の電極と接続する複数の端子を含み得る。装具インターフェースは、モニタデバイスとベースプレート及び／又はセンサ組立体部分とを結合するように構成されたモニタデバイス結合部を

50

含み得る。

【 0 0 9 4 】

モニタデバイスの装具インターフェース等のモニタデバイスは、例えば、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分のロックセクションと係合して、それにより例えばベースプレート及び/又はセンサ組立体部分との結合位置においてモニタデバイスをロックするように構成されたロック機構を含み得る。

【 0 0 9 5 】

モニタデバイスは、電子回路、例えば信号及び/又はデータを受信、処理、記憶及び/又は送信する電子回路を含み得る。電子回路は、例えば、プロセッサ、無線通信ユニット、メモリ等を含み得る。電子回路は、モニタデバイス筐体により囲まれ得る。

10

【 0 0 9 6 】

また、上述したベースプレート及び/又はセンサ組立体部分及び上述したモニタデバイス等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分及びモニタデバイスを含むオストミーシステムも開示される。オストミーシステムは、オストミーパウチを更を含み得る。

【 0 0 9 7 】

結合部等のモニタインターフェース等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、ロックセクションを含み得る。代替又は追加として、モニタデバイス結合部等のモニタデバイスは、ロックセクションを含み得る。ロックセクションは、各ロック機構と協働するように構成され得る。例えば、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分のロックセクションは、モニタデバイスのロック機構と協働するように構成され得、且つ/又はモニタデバイスのロックセクションは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分のロック機構と協働するように構成され得る。

20

【 0 0 9 8 】

ロックセクションは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の結合部及び/又はモニタデバイスのモニタデバイス結合部等の結合部を貫通する穴を含み得る。代替又は追加として、ロックセクションは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の表面等の表面から突出する突起を含み得る。代替又は追加として、ロックセクションは、結合部及び/又はモニタデバイス結合部の縁部に窪みを含み得る。代替又は追加として、ロックセクションは、結合部及び/又はモニタデバイス結合部の第1の縁部における第1の窪み並びに結合部及び/又はモニタデバイス結合部の第2の縁部における第2の窪みを含み得る。第1の縁部は、第2の縁部の逆であり得る。代替又は追加として、ロックセクションは、結合部及び/又はモニタデバイス結合部の表面における窪みを含み得る。

30

【 0 0 9 9 】

結合部は、第1のスナップ留め具等のスナップ留め具を含み得る。モニタデバイス結合部は、第2のスナップ留め具等のスナップ留め具を含み得る。第1のスナップ留め具は、第2のスナップ留め具と協働するように構成され得る。

【 0 1 0 0 】

結合部は、突出部を含み得る。突起部は、凹側を有し得る。突起部の凹側等の突起部は、例えば、結合部のロックセクションを形成し得る。モニタデバイス結合部は、キャビティを含み得る。キャビティは、例えば、突起部の突起方向に沿って、例えば係合方向において突起部を受けるように構成され得る。突起部は、例えば、係合方向においてキャビティと係合するように構成され得る。モニタデバイス結合部は、キャビティの側等のキャビティに位置決めされた1つ又は複数の偏向可能要素を含み得る。偏向可能要素は、例えば、モニタデバイスのロック機構の部分形成し得る。偏向可能要素は、突起部の凹側と係合して、それにより例えばキャビティ内の突起部を保持するように構成され得る。ばね要素等の偏向可能要素は、弾性変形可能であり得る。代替的に、モニタデバイス結合部は、突起部を含み得、結合部は、キャビティ及び任意選択的にキャビティに位置決めされた1つ又は複数の偏向可能要素を含み得る。

40

【 0 1 0 1 】

モニタデバイス結合部及び/又は結合部は、キャビティの実質的に中心等、キャビティ

50

内に位置決めされた突起要素を含み得る。結合部及び/又はモニタデバイス結合部の突起部は、例えば、キャビティに位置決めされた突起要素を受けるように構成されたソケットを含み得る。突起要素及びソケットは、一緒に係合するような形状であり得る。突起要素及びソケットは、可能な向きを制限し、それにより例えばベースプレート及び/又はセンサ組立体部分へのモニタデバイスの正しい結合を保証するような形状であり得る。例えば、突起要素及びソケットは、三角形断面を有し得る。モニタデバイス、及び/又はベースプレート、及び/又はセンサ組立体部分の複数の端子は、突起要素の端部等、突起要素に提供され得る。ベースプレート、及び/又はセンサ組立体部分、及び/又はモニタデバイスの複数の端子は、ソケットの底部等、ソケットに提供され得る。

**【0102】**

結合部の突起部は、突起方向、例えばベースプレート及び/又はセンサ組立体部分平面に実質的に直交し、例えば軸方向に突出し得る。上層及び/又は第1の接着層は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分平面において延在し得る。

**【0103】**

モニタデバイスは、例えば、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分においてモニタデバイスに向ける正しい方法をユーザに示すように湾曲し得る。

**【0104】**

結合部は、第1の位置合わせ要素を含み得る。モニタデバイス結合部等のモニタデバイスは、第2の位置合わせ要素を含み得る。第2の位置合わせ要素は、第1の位置合わせ要素と係合するように構成され得る。第1の位置合わせ要素は、第2の位置合わせ縁部と共に凹部を形成する第2の位置合わせ要素により受けられるように構成された第1の位置合わせ縁部を形成し得る。第2の位置合わせ要素は、モニタデバイスのリム表面に向けて開放端部を有し得る。それにより、モニタデバイスは、適宜、位置合わせされ得、すなわち、第1の位置合わせ要素及び第2の位置合わせ要素は、正しく向けられていない場合、モニタデバイスの結合を阻止し得る。

**【0105】**

上述した突起部は、第1の位置合わせ要素に対して実質的に軸方向等、第1の位置合わせ要素の上部に位置決めされ得る。例えば、第1の位置合わせ縁部は、突起部を囲み得る。

**【0106】**

結合部は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分に対するモニタデバイスの係合方向における線形運動により、モニタデバイスと係合するように構成され得る。モニタデバイス結合部は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分に対するモニタデバイスの係合方向における線形運動により、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の結合部等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分と係合するように構成され得る。例えば、モニタデバイス結合部等のモニタデバイス並びにベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の結合部等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分に対するモニタデバイスの係合方向における1つの線形運動等の線形運動により、分離から結合に移り得る。

**【0107】**

結合部は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分に対するモニタデバイスの脱係合方向における線形運動により、モニタデバイスと脱係合するように構成され得る。モニタデバイス結合部は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分に対するモニタデバイスの脱係合方向における線形運動により、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の結合部等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分と脱係合するように構成され得る。例えば、モニタデバイス結合部等のモニタデバイス並びにベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の結合部等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分に対するモニタデバイスの脱係合方向における1つの線形運動等の線形運動により、結合から分離に移り得る。脱係合方向は、係合方向の逆であり得る。代替的に、脱係合方向は、係合方向に直交し得る。

**【0108】**

10

20

30

40

50

上層及び／又は第1の接着層は、例えば、適用前に実質的に平坦であり得る。上層及び／又は第1の接着層は、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分に延在し得る。係合方向及び／又は脱係合方向は、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分平面に実質的に平行であり得、且つ／又は直交し得る。

【0109】

係合方向及び／又は脱係合方向は、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分のストーマ開口部に向かい得る。例えば、係合方向及び／又は脱係合方向は、上層及び／又は第1の接着層の縁部等のベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の縁部からのものであり得る。係合方向及び／又は脱係合方向は、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の半径方向であり得る。代替的に、係合方向及び／又は脱係合方向は、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の半径方向に実質的に直交し得る。

10

【0110】

結合部は、実質的に平坦であり得る。例えば、結合部は、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分平面等の平面に実質的に延在し得る。

【0111】

結合部は、第1の表面及び第2の表面を含み得る。第2の表面は、第1の表面の逆であり得る。第2の表面は、近位方向等の上層に面し得、例えば、第2の表面は、ユーザの皮膚に面し得る。第1の表面は、遠位方向等、上層から離れる方に面し得、例えば、第1の表面は、ユーザの皮膚から離れる方に面し得る。

【0112】

電極組立体は、上層と第1の接着層との間に提供され得る。電極組立体の遠位側は、上層に面し得る。電極組立体の近位側は、第1の接着層に面し得る。

20

【0113】

電極組立体は、支持層を含み得る。複数の電極は、支持層の近位側に提供され得る。複数の電極は、第1の接着層に面し得る。複数の電極は、第1の接着層に接触し得る。

【0114】

結合部は、電極組立体の第1の電極組立体部分及び／又は上層の第1の上層部分により少なくとも部分的に形成され得る。

【0115】

第1の電極組立体部分は、上層における開口部を通して延在して、結合部の少なくとも一部を形成し得る。第1の電極組立体及び／又は第1の上層部分のそれぞれは、例えば、U字形切断により電極組立体及び／又は上層から切断され得、それにより結合部の少なくとも一部を形成できるようにする。第1の電極組立体部分及び／又は第1の上層部分は、第1の電極組立体及び上層のそれぞれの縁部の近くの部分であり得、それにより結合部の少なくとも部分を形成できるようにする。

30

【0116】

複数の端子は、結合部の第2の表面に提供され得る。代替又は追加として、複数の端子は、結合部の第1の側に提供され得る。

【0117】

結合部の第2の表面及び上層は、分離され得、それにより、例えばモニタデバイスがベースプレート及び／又はセンサ組立体部分に接続されたとき等、結合部の第2の表面と上層との間にモニタデバイスの少なくとも一部を位置決めできるようにする。

40

【0118】

結合部は、第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションを含み得る。結合部は、第1の結合部セクションと第2の結合部セクションとの間でモニタデバイスの少なくとも一部を受けよう構成され得る。第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションは、互いに向けて付勢され得る。例えば、第1の結合部セクションは、第2の結合部セクションに向けて付勢され得、且つ／又は第2の結合部セクションは、第1の結合部セクションに向けて付勢され得る。第1の結合部セクションは、第2の結合部セクションから偏向可能であり得る。代替又は追加として、第2の結合部セクションは、第1の結合部セ

50

クシオンから偏向可能であり得る。

【0119】

結合部は、モニタデバイスが上層の遠位側でベースプレートに結合されるように位置決めされ得る。結合部は、上層の遠位に位置決めされ得る。結合部は、モニタデバイスをベースプレート及び/又はセンサ組立体部分に結合すると、上層がモニタデバイスとユーザの皮膚との間に配置されるように位置決めされ得る。モニタデバイスは、モニタデバイスをベースプレート及び/又はセンサ組立体部分に結合すると、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の上層がモニタデバイスとユーザの皮膚との間に配置されるように構成され得る。

【0120】

モニタデバイスは、例えば、皮膚がモニタデバイスに触れる場合及び/又はモニタデバイスが皮膚に接触したまま移動する場合、皮膚の炎症の原因になり得る。したがって、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分が皮膚とモニタデバイスとの間に保護層をもたらすようにモニタデバイスを位置決めし得ることは、本開示の利点であり得る。したがって、モニタデバイスによって生じる皮膚の炎症を低減又は回避し得る。

【0121】

モニタデバイス筐体等のモニタデバイスは、第1の表面及び第2の表面を有し得る。第1の表面は、第2の表面の逆であり得る。第1の表面及び/又は第2の表面は、実質的に平らであり得る。モニタデバイスは、第1の表面と第2の表面との間にリム表面を含み得る。リム表面は、第1の表面及び/又は第2の表面に実質的に直交し得る。

【0122】

モニタデバイス結合部は、リム表面の第1の部分等のリム表面に提供され得る。例えば、モニタデバイス結合部は、リム表面の第1の部分等のリム表面において開口部により提供され得る。代替的に、モニタデバイス結合部は、第1の表面及び/又は第2の表面における開口部又は溝等、第1の表面及び/又は第2の表面に提供され得る。

【0123】

モニタデバイスの複数の端子は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の複数の端子との電気接続等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の複数の電極と電氣的に接続するように構成され得る。

【0124】

結合部等、モニタインターフェース等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、ロック機構を含み得る。代替又は追加として、モニタデバイスは、ロック機構を含み得る。ロック機構は、モニタデバイスをベースプレート及び/又はセンサ組立体部分との結合位置にロックするように構成され得る。例えば、ロック機構は、モニタデバイスがベースプレート及び/又はセンサ組立体部分との結合位置に維持されることを提供し得る。ロック機構は、モニタデバイスをベースプレート及び/又はセンサ組立体部分との結合位置に自動的にロックするように構成され得る。例えば、ロック機構は、ロック機構のロックに向けて付勢、例えばばね付勢し得る。例えば、ロック機構は、ロック機構をロック位置に付勢する付勢手段、例えばばねを含み得る。ロック機構は、ユーザと相互作用すると、モニタデバイスをベースプレート及び/又はセンサ組立体部分との結合位置からアンロックするように構成され得る。代替又は追加として、ロック機構は、ユーザと相互作用すると、モニタデバイスをベースプレート及び/又はセンサ組立体部分との結合位置にロックするように構成され得る。

【0125】

モニタデバイスは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の結合部を受ける開口部を含み得る。例えば、モニタデバイス結合部は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の結合部を受ける開口部により提供され得る。ロック機構は、ロックセクションの穴に係合するように構成されたピン等の開口部内部に位置するロック構成要素を含み得る。代替又は追加として、モニタデバイスは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の結合部を受ける溝を含み得る。例えば、モニタデバイス結合部は、ベースプレート及び

10

20

30

40

50

ノ又はセンサ組立体部分の結合部を受ける溝により提供され得る。ロック機構は、ロックセクションの穴に結合するように構成されたピン等の溝内部に位置するロック構成要素を含み得る。

【0126】

ベースプレート、及びノ又はセンサ組立体部分、及びノ又はモニタデバイスは、ロック要素（代替的にアンロック要素として示されることもある）を含み得る。ロック要素は、ロック機構の部分を形成し得る。ロック要素は、例えば、ユーザがロック要素と相互作用したとき、ロック機構をアンロック及びノ又はロックするように構成され得る。例えば、ロック要素は、ユーザ相互作用のためのボタンを含み得る。例えば、ロック要素は、係合してロック機構をロックし得、且つノ又はロック要素は、係合してロック機構をアンロックし得る。ロック要素とのユーザの相互作用は、1つ又は複数のボタンの偏向又はスライダの摺動等を含み得る。

10

【0127】

ロック要素のそれぞれ等のロック要素は、第1のボタンを含み得る。第1のボタンは、第1の方向に偏向可能であり得る。

【0128】

第1の方向は、係合方向に実質的に直交し得、且つノ又は第1の方向は、脱係合方向に実質的に直交し得る。代替的に、第1の方向は、係合方向に実質的に平行であり得、且つノ又は第1の方向は、脱係合方向に実質的に平行であり得る。例えば、第1の方向は、係合方向及びノ又は脱係合方向と実質的に同じであり得る。代替的に、第1の方向は、係合方向及びノ又は脱係合方向とは実質的に逆であり得る。

20

【0129】

ロック要素は、第1のボタン及び第2のボタン等の第2のボタンを含み得る。第2のボタンは、第2の方向に偏向可能であり得る。

【0130】

第1の方向は、第2の方向とは実質的に逆であり得る。第1の方向及び逆の第2の方向は、第1のボタン及び第2のボタンが、ユーザがモニタデバイスをつまむことにより同時に偏向、例えば係合し得ることを提供し得る。

【0131】

第1の方向及びノ又は第2の方向は、係合方向に実質的に直交し得、且つノ又は第1の方向は、脱係合方向に実質的に平行であり得る。それにより、ユーザは、モニタデバイスをつまみ、係合方向及びノ又は脱係合方向に押し得るノ引き得る。

30

【0132】

ロック要素は、スライダを含み得る。スライダは、第1のスライダ方向に摺動可能であり得る。スライダは、負荷が掛けられ、第2のスライダ方向に向かって付勢されたばねであり得る。第1のスライダ方向は、第2のスライダ方向の逆であり得る。第1のスライダ方向及びノ又は第2のスライダ方向は、係合方向及びノ又は脱係合方向に実質的に直交し得る。代替的に、第1のスライダ方向及びノ又は第2のスライダ方向は、係合方向及びノ又は脱係合方向の逆等の係合方向及びノ又は脱係合方向に実質的に平行であり得る。

【0133】

40

モニタデバイスは、第1のクランプ表面と第2のクランプ表面との間でベースプレート及びノ又はセンサ組立体部分の結合部を把持するように構成されたクランプ等のクランプを含み得る。ロック機構は、第1のクランプ表面と第2のクランプ表面との間に位置決めされたロック構成要素を含み得る。例えば、ロック構成要素は、ロックセクションに係合するように構成され得る。例えば、ロック構成要素は、ロックセクションの穴に係合するピンであり得る。

【0134】

第1のクランプ表面及び第2のクランプ表面は、例えば、第1のクランプ表面及びノ又は第2のクランプ表面に提供される、例えばばね及びノ又は磁性要素等により互いに向けて付勢され得る。モニタデバイスは、例えば、第1のクランプ表面及び第2のクランプ表

50

面を閉クランプ位置にロックするように構成されたクランプロックを含み得る。クランプロックは、ユーザ相互作用によりロック及び／又はアンロックされるように構成され得る。ロック要素は、上述したように、クランプロックをロック及び／又はアンロックするように機能し得る。

【0135】

複数の端子は、第1のクランプ表面に提供され得る。代替又は追加として、複数の端子は、第2のクランプ表面に提供され得る。第1のクランプ表面及び／又は第2のクランプ表面は、モニタデバイス筐体により形成され得る。

【0136】

モニタデバイスをベースプレート及び／又はセンサ組立体部分に結合するように構成された結合部等のオストミー装具のベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の結合部等結合部も開示される。結合部は、任意の開示されたベースプレート及び／又はセンサ組立体部分によるベースプレート及び／又はセンサ組立体部分のものであり得る。

10

【0137】

結合部は、第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションを含み得る。第1の結合部セクションは、第1の結合部平面において実質的に平坦であり得、第2の結合部セクションは、第2の結合部平面において実質的に平坦であり得る。

【0138】

第1の結合部セクションは、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の第1の部分、例えばベースプレート及び／若しくはセンサ組立体部分の電極組立体の第1の部分の遠位側並びに／又はベースプレート及び／若しくはセンサ組立体部分の上層の第1の部分の遠位側等、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の第1の部分の遠位側に取り付けられるように構成され得る。電極組立体の第1の部分及び／又は上層の第1の部分は、複数の電極の接続部を含むベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の第1の部分であり得る。

20

【0139】

第2の結合部セクションは、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の第2の部分、例えばベースプレート及び／若しくはセンサ組立体部分の上層の遠位側並びに／又はベースプレート及び／若しくはセンサ組立体部分の上層の第2の部分の遠位側等、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の第2の部分の遠位側に取り付けられるように構成され得る。

30

【0140】

例えば、モニタデバイスをベースプレート及び／又はセンサ組立体部分に結合するように構成された結合部等の開示された結合部による結合部を含む、例えば任意の開示されたベースプレート及びセンサ組立体部分によるベースプレート及びセンサ組立体部分も開示される。例えば、上層と、第1の接着層と、接続部及び検知部を有する複数の電極を含む電極組立体と、ベースプレート及び／又はセンサ組立体部分をモニタデバイスに接続するように構成されたモニタインターフェースとを含むオストミー装具のベースプレート及び／又はセンサ組立体部分である。モニタインターフェースは、モニタデバイスとベースプレート及び／又はセンサ組立体部分とを結合するように構成された結合部を含み得る。

40

【0141】

結合部は、第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションを含み得る。第1の結合部セクションは、第1の結合部平面において実質的に平坦であり得、第2の結合部セクションは、第2の結合部平面において実質的に平坦であり得る。第1の結合部セクションは、複数の電極の接続部を含むベースプレート及び／又はセンサ組立体部分の第1の部分、例えば電極組立体の第1の部分に重なる等、接続部を含む電極組立体の第1の部分及び／又は接続部を含む上層の第1の部分に取り付けられ得る。第1の結合部セクションは、他の層の第1の部分を間にして電極組立体の第1の部分に取り付けられ得る。第1の結合部セクションの近位側は、上層の第1の部分の遠位側等の上層の遠位側に取り付けられ得る。代替的に、第1の結合部セクションの近位側は、電極組立体の第1の部分の遠位側等

50



の電極組立体の遠位側に取り付けられ得る。

【 0 1 4 2 】

第 2 の結合部セクションは、上層の遠位側等の上層の第 2 の部分等のベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の第 2 の部分、例えばベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の上層の第 2 の部分の遠位側に取り付けられ得る。第 2 の結合部セクションの近位側は、上層の第 2 の部分の遠位側等の上層の遠位側に取り付けられ得る。第 2 の結合部セクションは、少なくとも部分的に、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の電極組立体の第 2 の部分の遠位側等の電極組立体の第 2 の部分に取り付けられ得る。第 2 の結合部セクションの近位側は、少なくとも部分的に、電極組立体の第 2 の部分の遠位側に取り付けられ得る。

10

【 0 1 4 3 】

ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分へのモニタデバイスの結合がユーザにとってより容易且つより好都合に行われ得ることは、開示される結合部及び開示される結合部を含む、関連するベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の利点である。更に、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分へのモニタデバイスの結合は、開示される結合部を用いて耐久性を高め得る。

【 0 1 4 4 】

第 1 の結合部セクションは、第 2 の結合部セクションにヒンジで取り付けられ得、ヒンジ軸の周りでの、第 2 の結合部セクションに対する第 1 の結合部セクションの回転運動を可能にする。ヒンジ軸は、第 1 の結合部平面及び第 2 の結合部平面に平行であり得る。可能になる回転運動は、第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクションが実質的に平行であり、且つ / 又は第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクションが実質的に連続する位置を含み得る。

20

【 0 1 4 5 】

第 2 の結合部セクションに対してヒンジ軸周りで可能になる第 1 の結合部セクションの回転運動は、制限され得る。例えば、可能になる回転は、第 1 の結合部角度と第 2 の結合部角度との間であり得る。第 1 の結合部角度は、0 度 ~ 5 度、0 度等の 0 度 ~ 1 0 度であり得る。第 2 の結合部角度は、1 5 度 ~ 4 5 度、2 5 度 ~ 4 0 度、3 0 度又は 3 5 度等の 1 0 度 ~ 9 0 度であり得る。

【 0 1 4 6 】

静止状態では、第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクション並びに / 又は上層は、静止角を形成し得る。静止状態は、第 1 の結合部及び / 又は第 2 の結合部に力が付与されていない状態であり得る。例えば、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分が開梱され、平らに置かれた状態である。静止角を結合部に提供することは、結合部、例えば第 1 の結合部セクションが上層の遠位側から離れるように持ち上げられているため、結合部、例えば第 1 の結合部セクションへのアクセスが容易であるため、モニタデバイスを取り付けるにあたりユーザを支援し得る。静止角は、1 度超、5 度超、1 0 度超、1 5 度超、2 0 度超等の 0 度超であり得る。静止角は、7 0 度未満、6 0 度未満、5 0 度未満等の 8 0 度未満であり得る。静止角が大きいほど、モニタデバイスの結合を促進し得る一方、静止角が小さいほど、より平らなベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分組立体を提供するため、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の格納の最適化を提供し得る。

30

40

【 0 1 4 7 】

第 1 の結合部角度、第 2 の結合部角度及び / 又は静止角等の第 1 の結合部セクションと第 2 の結合部セクションとの間の角度は、第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクションが実質的に平行であり、且つ / 又は第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクションが実質的に連続する位置に対して測定され得る。

【 0 1 4 8 】

第 2 の結合部セクションは、例えば、第 1 の第 2 の二次結合部セクション及び / 又は第 2 の第 2 の二次結合部セクションを含む第 2 の一次結合部セクション及び 1 つ又は複数の第 2 の二次結合部セクションを含み得る。第 2 の一次結合部セクションは、ヒンジ軸の一

50

次側に配置され得る。1つ又は複数の第2の二次結合部セクションは、ヒンジ軸の二次側に配置され得る。ヒンジ軸の二次側は、ヒンジ軸の一次側の逆であり得る。ヒンジ軸の両側に延在する第2の結合部セクションは、例えば、ヒンジ軸の周りで第1の結合部セクションを回転させる際、結合部の安定性の増大に役立つ。更に、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の使用時、電極組立体を破損するリスクの低減を提供し得る。

【0149】

第1の結合部セクションは、例えば、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分との結合位置においてモニタデバイスをロックするように構成されたロックセクション及び/又は複数のロックセクションを含み得る。ロックセクションは、各ロック機構、例えばモニタデバイスのロック機構と協働するように構成され得る。

10

【0150】

ロックセクションは、第1の結合部セクション等の結合部を通して延在する穴を含み得る。代替又は追加として、ロックセクションは、第1の結合部セクション等の結合部の第1の表面等の表面から突出する突起を含み得る。代替又は追加として、ロックセクションは、第1の結合部セクション等の結合部の縁部に窪みを含み得る。代替又は追加として、ロックセクションは、第1の結合部セクション等の結合部の第1の縁部に第1の窪みを含み、第1の結合部セクション等の結合部の第2の縁部に第2の窪みを含み得る。第1の縁部は、第2の縁部の逆であり得る。代替又は追加として、ロックセクションは、第1の結合部セクション等の結合部のセクションに溝を含み得る。

【0151】

20

第1の結合部セクション及び/又は第2の結合部セクション等の結合部セクション等の結合部は、接着剤及び/又は溶接により電極組立体及び/又は上層に取り付けられ得る。例えば、第1の結合部セクションは、第1の結合部セクション接着剤により電極組立体の第1の部分及び/又は上層の第1の部分等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の部分に取り付けられ得る。代替又は追加として、第1の結合部セクションは、第1の結合部セクション並びにベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の部分と一緒に溶接することにより、電極組立体の第1の部分及び/又は上層の第1の部分等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の部分に取り付けられ得る。第2の結合部セクションは、第2の結合部セクション接着剤により上層の第2の部分等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第2の部分に取り付けられ得る。代替又は追加として、第2の結合部セクションは、第2の結合部セクション並びにベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第2の部分と一緒に溶接することにより、上層の第2の部分等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第2の部分に取り付けられ得る。

30

【0152】

第1の結合部セクションは、例えば、電極組立体の第1の部分及び/又は上層の第1の部分等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の部分に取り付けられるように構成された第1の結合部セクション接着剤を含み得る。第2の結合部セクションは、例えば、上層の第2の部分等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第2の部分に取り付けられるように構成された第2の結合部セクション接着剤を含み得る。

【0153】

40

結合部は、1つ又は複数の厚さを有し得る。第1の結合部セクションの厚さは、実質的に均一であり得る。第2の結合部セクションの厚さは、実質的に均一であり得る。第1の結合部セクションは、第1の結合部厚さを有し得る。第2の結合部セクションは、第2の結合部厚さを有し得る。第1の結合部厚さは、1mm未満、0.6mm未満等の2mm未満であり得る。第2の結合部厚さは、1mm未満、0.6mm未満又は0.3mm未満等の2mm未満であり得る。第1の結合部厚さは、第2の結合部厚さを上回り得る。

【0154】

結合部は、ヒンジ軸に沿って、低減した厚さの1つ又は複数のラインを有し得、例えばヒンジ軸の周りで、第2の結合部セクションに対する第1の結合部セクションの回転運動を可能にする。ヒンジ軸に沿ったより薄い厚さは、第1の結合部セクションと第2の結

50

合部セクションとの間の回転運動を促進し得る。低減した厚さの1つ又は複数のラインは、結合部の遠位側に提供され得、それにより例えば一方向、例えば第1の結合部セクションの遠位方向における回転運動を提供し、且つ/又は逆方向、例えば第1の結合部セクションの近位方向における回転運動を制限する。低減した厚さの1つ又は複数のラインは、低減した厚さの2本のライン、低減した厚さの3本のライン又は低減した厚さの4本以上のライン等、低減した厚さの複数のラインを含み得る。低減した厚さの1つ又は複数のラインは、例えば、キスカット又はレーザ彫刻により提供され得る。

【0155】

追加又は代替として、結合部は、ヒンジ軸に沿って1つ又は複数の穴を含み得、例えばヒンジ軸の周りでの、第2の結合部セクションに対する第1の結合部セクションの回転運動を可能にする。ヒンジ軸に沿った1つ又は複数の穴は、第1の結合部セクションと第2の結合部セクションとの間の回転運動を促進し得る。1つ又は複数の穴は、2つの穴、3つの穴、4つの穴又は5つ以上の穴等の複数の穴を含み得る。1つ又は複数の穴は、例えば、レーザ切断又は打抜きにより提供され得る。

10

【0156】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分は、裏当て要素を含み得る。裏当て要素は、第1の接着層との電極組立体及び/又は電極組立体の複数の電極との間に提供され得る。裏当て要素は、第1の接着層と電極組立体の第1の部分との間に提供され得る。裏当て要素は、電極組立体の第1の部分等の電極組立体の一部が第1の接着層に付着せず、それにより例えば電極組立体の第1の部分等の部分をターンさせる（例えば、結合部の第1の結合部セクションと一緒に）ことを促進し得る。代替又は追加として、裏当て要素は、U字形切断等の開口部切断のストップとして使用され得る。

20

【0157】

図1は、例示的なオストミーシステムを示す。オストミーシステム1は、ベースプレート4を含むオストミー装具2を含む。ベースプレート4は、オストミーパウチ（図示せず）を支持するように適合される。更に、オストミーシステム1は、モニタデバイス6及び付属デバイス8（携帯電話）を含む。モニタデバイス6は、モニタデバイス6及びベースプレート4のそれぞれの第1のコネクタを介してベースプレート4に接続可能である。モニタデバイス6は、付属デバイス8と無線通信するように構成される。任意選択的に、付属デバイス8は、例えば、ネットワーク12を介してオストミーシステム1のサーバデバイス10と通信するように構成される。サーバデバイス10は、オストミー装具製造業者及び/又はサービスセンタにより動作及び/又は制御され得る。オストミーデータ又はオストミーデータに基づくパラメータデータは、モニタデバイス6を有するオストミー装具2の電極/センサから取得される。モニタデバイス6は、オストミーデータ及び/又はオストミーデータに基づくパラメータデータを処理して、付属デバイス8に送信されるモニタデータを特定する。示されるオストミーシステムでは、付属デバイス8は、携帯電話であるが、付属デバイス8は、タブレットデバイス又は腕時計若しくは他の手首装着電子デバイス等のウェアラブル等の別のハンドヘルドデバイスとして実施され得る。したがって、モニタデバイス6は、モニタデータを特定し、付属デバイス8に送信するように構成される。ベースプレート4は、オストミーパウチ（図示せず）をベースプレート（二品型オストミー装具）に結合する結合リング16の形態の結合部材14を含む。ベースプレートは、ストーマ中心点を有するストーマ受け開口部18を有する。ストーマ開口部18のサイズ及び/又は形状は、通常、オストミー装具の適用前にユーザのストーマに適合するようにユーザ又は看護師により調整される。

30

40

【0158】

オストミーシステム1は、任意選択的に、オストミーシステム1の付属デバイスを形成するドッキングステーション20を含む。ドッキングステーション20は、モニタデバイス6をドッキングステーション20に電氣的且つ/又は機械的に接続するように構成された第1のコネクタ22を含むドッキングモニタインターフェースを含む。ドッキングモニタインターフェースは、モニタデバイスをドッキングステーションに無線接続するように

50

構成され得る。ドッキングステーション 20 は、ユーザ入力を受信し、且つ / 又はドッキングステーション 20 の動作状態についてのフィードバックをユーザに提供するユーザインターフェース 24 を含む。ユーザインターフェース 24 は、タッチスクリーンを含み得る。ユーザインターフェース 24 は、1 つ又は複数の物理的なボタン及び / 又は発光ダイオード等の 1 つ又は複数の視覚インジケータを含み得る。

#### 【0159】

図 2 は、例示的なモニタデバイスの概略ブロック図である。モニタデバイス 6 は、モニタデバイス筐体 100、プロセッサ 101 及び 1 つ又は複数のインターフェースを含み、1 つ又は複数のインターフェースは、第 1 のインターフェース 102 ( 装具インターフェース ) 及び第 2 のインターフェース 104 ( 付属インターフェース ) を含む。モニタデバイス 6 は、オストミーデータ及び / 又はオストミーデータに基づくパラメータデータを記憶するメモリ 106 を含む。メモリ 106 は、プロセッサ 101 及び / 又は第 1 のインターフェース 102 に接続される。

10

#### 【0160】

第 1 のインターフェース 102 は、モニタデバイス 6 をオストミー装具、例えばオストミー装具 2 に電氣的且つ / 又は機械的に接続する装具インターフェースとして構成される。第 1 のインターフェース 102 は、オストミー装具 2 ( ベースプレート 4 ) の各端子との電気接続を形成する複数の端子を含む。第 1 のインターフェース 102 は、接地端子 108、第 1 の端子 110、第 2 の端子 112 及び第 3 の端子 114 を含む。第 1 のインターフェース 102 は、任意選択的に、第 4 の端子 116 及び第 5 の端子 118 を含む。モニタデバイス 6 の第 1 のインターフェース 102 は、モニタデバイスとベースプレートとの解放可能な結合等の機械的接続を形成する結合部 120 を含む。結合部 120 並びに第 1 のインターフェース 102 の端子 108、110、112、114、116 及び 118 は、モニタデバイス 6 の第 1 のコネクタ ( の少なくとも一部 ) を形成する。

20

#### 【0161】

モニタデバイス 6 は、モニタデバイス及びその能動構成要素に給電する電力ユニット 121 を含み、すなわち、電力ユニット 121 は、プロセッサ 101、第 1 のインターフェース 102、第 2 のインターフェース 104 及びメモリ 106 に接続される。電力ユニットは、電池及び充電回路を含む。充電回路は、電池及び第 1 のインターフェース 102 の端子に接続されて、第 1 のインターフェースの端子、例えば第 1 のコネクタの端子を介して電池を充電する。

30

#### 【0162】

モニタデバイスの第 2 のインターフェース 104 は、付属デバイス 8 等の 1 つ又は複数の付属デバイスにモニタデバイス 6 を接続する付属インターフェースとして構成される。第 2 のインターフェース 104 は、付属デバイスと無線通信するように構成されたアンテナ 122 及び無線送受信機 124 を含む。任意選択的に、第 2 のインターフェース 104 は、オーディオ信号及び / 又は触覚フィードバックをユーザにそれぞれ提供するラウドスピーカ 126 及び / 又は触覚フィードバック要素 128 を含む。

#### 【0163】

モニタデバイス 6 は、プロセッサ 101 に接続されたセンサユニット 140 を含む。センサユニット 140 は、温度データをプロセッサに供給する温度センサ及び加速度データをプロセッサ 101 に供給する G センサ又は加速度計を含む。

40

#### 【0164】

プロセッサ 101 は、処理方式を適用するように構成され、第 1 のインターフェース 102 は、第 1 のインターフェースに結合されたベースプレートからオストミーデータを収集するように構成され、オストミーデータは、ベースプレートの第 1 の電極対からの第 1 のオストミーデータ、ベースプレートの第 2 の電極対からの第 2 のオストミーデータ及びベースプレートの第 3 の電極対からの第 3 のオストミーデータを含む。オストミーデータは、メモリ 106 に記憶し得、且つ / 又はパラメータデータを得るためにプロセッサ 101 において処理され得る。パラメータデータは、メモリ 106 に記憶され得る。プロセッ

50

サ 1 0 1 は、処理方式を適用するように構成され、処理方式を適用することは、第 1 のオストミーデータに基づく第 1 のパラメータデータを取得すること、第 2 のオストミーデータに基づく第 2 のパラメータデータを取得すること、第 3 のオストミーデータに基づく第 3 のパラメータデータを取得することを含む。換言すれば、プロセッサ 1 0 1 は、それぞれ第 1、第 2 及び第 3 のオストミーデータに基づく第 1、第 2 及び第 3 のパラメータデータを取得するように構成される。処理方式を適用することは、第 1 のパラメータデータ、第 2 のパラメータデータ及び第 3 のパラメータデータの 1 つ又は複数、例えば全てに基づいてオストミー装具のベースプレートの動作状態を判断することを含み、動作状態は、ベースプレートの半径方向浸食の程度及び/又はオストミー装具の深刻な漏出リスクを示す。モニタデバイス 6 は、動作状態が第 1 の動作状態であるとの判断に従って、第 2 のインターフェースを介してベースプレートの第 1 の動作状態を示すモニタデータを含む第 1 のモニタ信号を送信し、動作状態が第 2 の動作状態であるとの判断に従って、第 2 のインターフェースを介してベースプレートの第 2 の動作状態を示すモニタデータを含む第 2 のモニタ信号を送信するように構成される。

10

#### 【 0 1 6 5 】

図 3 は、オストミー装具の例示的なベースプレートの分解組立図を示す。ベースプレート 4 は、第 1 の接着層 2 0 0 を含む。使用中、第 1 の接着層 2 0 0 の近位面は、ストーマ周囲エリアにおけるユーザの皮膚、及び/又は封止ペースト、封止テープ、及び/又は封止リング等の追加の封止に付着する。ベースプレート 4 は、任意選択的に、リム接着層とも示される第 2 の接着層 2 0 2 を含む。ベースプレート 4 は、電極組立体 2 0 4 に配置された複数の電極を含む。電極組立体 2 0 4 は、第 1 の接着層 2 0 0 と第 2 の接着層 2 0 2 との間に配置される。電極組立体 2 0 4 は、支持層の近位面に形成された電極を有する支持層を含む。ベースプレート 4 は、ベースプレート 4 を皮膚に適用する前にユーザにより剥がされる剥離ライナー 2 0 6 を含む。ベースプレート 4 は、上層 2 0 8 と、オストミーパウチをベースプレート 4 に結合する結合リング 2 0 9 とを含む。上層 2 0 8 は、使用中、第 2 の接着層 2 0 2 を外部歪み及び応力から保護する保護層である。

20

#### 【 0 1 6 6 】

ベースプレート 4 は、モニタインターフェースを含む。モニタインターフェースは、オストミー装具（ベースプレート 4）をモニタデバイスに電氣的且つ/又は機械的に接続するように構成される。ベースプレートのモニタインターフェースは、モニタデバイスとベースプレートとの間の解放可能な結合等の機械的接続を形成する結合部 2 1 0 を含む。結合部 2 1 0 は、モニタデバイスの結合部と係合して、モニタデバイスをベースプレート 4 に解放可能に結合するように構成される。更に、ベースプレート 4 のモニタインターフェースは、モニタデバイスの各端子と電気接続を形成する複数の端子 2 1 2 をそれぞれ形成する複数の端子を含む。結合部 2 1 0 及び端子 2 1 2 は、ベースプレート 4 の第 1 のコネクタ 2 1 1 を形成する。ベースプレート 4 は、電極組立体の近位側に第 1 の中間要素 2 1 3 を含む。第 1 の中間要素 2 1 3 は、端子 2 1 2 を形成する端子要素と第 1 の接着層（図示せず）との間に配置される。第 1 の中間要素 2 1 3 は、軸方向において見たとき、ベースプレート 4 の端子 2 1 2 を形成する端子要素を覆い、ベースプレートの端子要素からの機械的応力から第 1 の接着層を保護する。

30

40

#### 【 0 1 6 7 】

上述したように、示されるベースプレート 4 の幾つかの部分は、既存のベースプレートに適用される別個の組立体として提供され得、例えば上述した構成要素の 1 つ又は複数を含み得、それにより上述したベースプレート 4 のようなベースプレートを提供等する。例えば、例えば電極組立体 2 0 4、第 1 のコネクタ 2 1 1、第 1 の中間要素 2 1 3、第 1 の接着層 2 0 0 及び剥離ライナー 2 0 6 を含むセンサ組立体部分 7 0 0 を提供し得る。更に、センサ組立体部分 7 0 0 は、第 2 の接着層 2 0 2 及び/又は上層 2 0 8 を含むこともできる。ユーザが、ベースプレートの層に、センサ組立体部分 7 0 0 が適用される穴を提供し得、それによりセンサ組立体部分 7 0 0 の第 1 のコネクタ 2 1 1 をベースプレートの層を通して突出させ、そこにセンサ組立体部分 7 0 0 を適用できるようにすることが考えら

50

れ得る。代替的に、センサ組立体部分 700 は、第 1 のコネクタ 211 がベースプレートの周縁外に位置するようにベースプレートに適用し得る。

【0168】

図 4 は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の例示的な電極組立体 204 の分解組立図を示す。電極組立体 204 は、遠位側 204A 及び近位側 204B を有する。電極組立体は、近位面 214B を有する支持層 214 と、電極 216 とを含み、電極 216 は、接地電極、第 1 の電極、第 2 の電極、第 3 の電極、第 4 の電極及び第 5 の電極を含み、各電極は、電極 216 をモニタインターフェースの各端子要素に接続する各接続部 217 を有する。電極 216 は、支持層 214 の近位側 214B に形成される等、提供され、例えば、電極 216 は、支持層の近位側 214B に位置し得る。更に、電極組立体 204 は、近位面 218B を有し、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第 1 の接着層から電極 216 の電極部を絶縁するように構成されたマスキング要素 218 を含む。マスキング要素 218 は、軸方向において見たとき、電極 216 の部分を覆うか又はそれと重なる。

10

【0169】

図 5 は、第 1 の接着層及び剥離ライナーがないベースプレートの部分及び/又はセンサ組立体部分の近位面の近位図である。ベースプレート 4 及び/又はセンサ組立体部分 700 は、電極組立体の近位側、すなわち電極組立体 204 と第 1 の接着層（図示せず）との間に第 1 の中間要素 213 を含む。第 1 の中間要素 213 は、軸方向において見たとき、ベースプレート 4 及び/又はセンサ組立体部分 700 の端子要素を覆い、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の端子要素からの機械的応力から第 1 の接着層を保護する。

20

【0170】

図 6 は、電極組立体 204 の電極 216 の例示的な電極構成 220 の遠位図である。電極組立体 204 の電極構成 220 等の電極組立体 204 は、接地電極 222、第 1 の電極 224、第 2 の電極 226、第 3 の電極 228、第 4 の電極 230 及び第 5 の電極 232 を含む。接地電極 222 は、接地接続部 222A を含み、第 1 の電極 224 は、第 1 の接続部 224A を含む。第 2 の電極 226 は、第 2 の接続部 226A を含み、第 3 の電極 228 は、第 3 の接続部 228A を含む。第 4 の電極 230 は、第 4 の接続部 230A を含み、第 5 の電極 232 は、第 5 の接続部 232A を含む。

【0171】

第 4 の電極 230 は、第 4 の検知部 230B を含む。第 5 の電極 232 は、第 5 の検知部 232B を含む。

30

【0172】

接地電極 222 は、第 1 の電極 224 の接地を形成する第 1 の電極部 234 を含む。接地電極 222 は、第 2 の電極 226 の接地を形成する第 2 の電極部 236 を含む。接地電極 222 は、第 3 の電極 228 の接地を形成する第 3 の電極部 238 を含む。接地電極 222 は、第 4 の電極 230 及び第 5 の電極 232 の接地を形成する第 4 の電極部 240 を含む。接地電極 222 の第 4 の電極部 240 は、接地検知部 222B を含む。

【0173】

図 7 は、例示的なマスキング要素の遠位図である。マスキング要素 218 は、任意選択的に、6 つの端子開口部を含む複数の端子開口部を有する。複数の端子開口部は、接地端子開口部 242、第 1 の端子開口部 244、第 2 の端子開口部 246、第 3 の端子開口部 248、第 4 の端子開口部 250 及び第 5 の端子開口部 252 を含む。マスキング要素 218 の端子開口部 242、244、246、248、250、252 は、電極組立体の電極の各接続部 222A、224A、226A、228A、230A、232A に重なり、且つ/又は位置合わせされるように構成される。

40

【0174】

マスキング要素 218 は、複数のセンサ点開口部を有する。センサ点開口部は、点線 254 内に示される一次センサ点開口部を含み、各一次センサ点開口部は、接地電極 222 の部分及び/又は第 4 の電極 230 の部分に重なるように構成される。一次センサ点開口

50

部 2 5 4 は、示される例示的なマスキング要素では、接地電極 2 2 2 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 5 つの第 1 の一次センサ点開口部 2 5 4 A を含む。一次センサ点開口部 2 5 4 は、示される例示的なマスキング要素では、第 4 の電極 2 3 0 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 4 つの第 2 の一次センサ点開口部 2 5 4 B を含む。センサ点開口部は、点線 2 5 6 内に示される二次センサ点開口部を含み、各二次センサ点開口部は、第 4 の電極 2 3 0 の部分及び / 又は第 5 の電極 2 3 2 の部分に重なるように構成される。二次センサ点開口部 2 5 6 は、示される例示的なマスキング要素では、第 5 の電極 2 3 2 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 5 つの第 1 の二次センサ点開口部 2 5 6 A を含む。二次センサ点開口部 2 5 6 は、示される例示的なマスキング要素では、第 4 の電極 2 3 0 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 4 つの第 2 の二次センサ点開口部 2 5 6 B を含む。センサ点開口部は、点線 2 5 8 内に示される三次センサ点開口部を含み、各三次センサ点開口部は、第 5 の電極 2 3 2 の部分及び / 又は接地電極 2 2 2 の部分に重なるように構成される。三次センサ点開口部 2 5 8 は、示される例示的なマスキング要素では、第 5 の電極 2 3 2 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 5 つの第 1 の三次センサ点開口部 2 5 8 A を含む。三次センサ点開口部 2 5 8 は、示される例示的なマスキング要素では、接地電極 2 2 2 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 4 つの第 2 の三次センサ点開口部 2 5 8 B を含む。

【 0 1 7 5 】

図 8 は、例示的な第 1 の接着層の遠位図である。第 1 の接着層 2 0 0 は、複数のセンサ点開口部を有する。第 1 の接着層のセンサ点開口部は、点線 2 6 0 内に示される一次センサ点開口部を含み、各一次センサ点開口部は、電極組立体の接地電極 2 2 2 の部分及び / 又は第 4 の電極 2 3 0 の部分に重なるように構成される。一次センサ点開口部 2 6 0 は、示される例示的な第 1 の接着層では、接地電極 2 2 2 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 5 つの第 1 の一次センサ点開口部 2 6 0 A を含む。一次センサ点開口部 2 6 0 は、示される例示的な第 1 の接着層では、第 4 の電極 2 3 0 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 4 つの第 2 の一次センサ点開口部 2 6 0 B を含む。第 1 の接着層のセンサ点開口部は、点線 2 6 2 内に示される二次センサ点開口部を含み、各二次センサ点開口部は、電極組立体の第 4 の電極 2 3 0 の部分及び / 又は第 5 の電極 2 3 2 の部分に重なるように構成される。二次センサ点開口部 2 6 2 は、示される例示的な第 1 の接着層では、第 5 の電極 2 3 2 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 5 つの第 1 の二次センサ点開口部 2 6 2 A を含む。二次センサ点開口部 2 6 2 は、示される例示的な第 1 の接着層では、第 4 の電極 2 3 0 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 4 つの第 2 の二次センサ点開口部 2 6 2 B を含む。第 1 の接着層のセンサ点開口部は、点線 2 6 4 内に示される三次センサ点開口部を含み、各三次センサ点開口部は、電極組立体の第 5 の電極 2 3 2 の部分及び / 又は接地電極 2 2 2 の部分に重なるように構成される。三次センサ点開口部 2 6 4 は、示される例示的な第 1 の接着層では、第 5 の電極 2 3 2 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 5 つの第 1 の三次センサ点開口部 2 6 4 A を含む。三次センサ点開口部 2 6 4 は、示される例示的な第 1 の接着層では、接地電極 2 2 2 の部分に重なるようにそれぞれ構成された 4 つの第 2 の三次センサ点開口部 2 6 4 B を含む。図 9 は、図 8 の第 1 の接着層の近位図である。

【 0 1 7 6 】

図 1 0 は、ベースプレート 4 の部分及び / 又はセンサ組立体部分 7 0 0 のより詳細な遠位図である。ベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 7 0 0 は、モニタインターフェース 2 0 7 を含む。ベースプレートのモニタインターフェース 2 0 7 は、第 1 のコネクタ 2 1 1 を含む。第 1 のコネクタ 2 1 1 は、モニタデバイスをベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分に解放可能に結合し、それにより解放可能な結合を形成するように構成される結合部 2 1 0 を含む。モニタインターフェース 2 0 7 の第 1 のコネクタ 2 1 1 は、モニタデバイスの各端子との各電気接続を形成する各端子要素により形成された複数の端子を含む。

【 0 1 7 7 】

10

20

30

40

50

モニタインターフェース 207 の第 1 のコネクタ 211 の複数の端子は、接地端子 282A を形成する接地端子要素 282、第 1 の端子 284A を形成する第 1 の端子要素 284、第 2 の端子 286A を形成する第 2 の端子要素 286 及び第 3 の端子 288A を形成する第 3 の端子要素 288 を含む。モニタインターフェースは、任意選択的に、第 4 の端子 290A を形成する第 4 の端子要素 290 及び / 又は第 5 の端子 292A を形成する第 5 の端子要素 292 を含む。端子要素 282、284、286、288、290、292 は、電極 222、224、226、228、230、232 の各接続部 222A、224A、226A、228A、230a、232A に接触する。

【0178】

図 11a は、オストミー装具の例示的なベースプレート 4 の分解組立図を示す。ベースプレート 4 は、第 1 の接着層 200 を含む。ベースプレート 4 は、任意選択的に、リム接着層とも記される第 2 の接着層 202 を含む。ベースプレート 4 は、電極組立体 204 に配置される複数の電極 216 を含む。電極組立体 204 は、第 1 の接着層 200 と第 2 の接着層 202 との間に配置される。電極組立体 204 は、任意選択的に支持層 214 を含む。電極は、導電性インクのプリント等により支持層 214 の近位側に形成され得る。電極組立体 204 は、任意選択的に、例えば電極 216 の近位側から軸方向において見たとき、例えば電極 216 の部分を覆うか又はそれと重なるマスキング要素 218 を含む。電極組立体は、複数の電極 216 の接続部 217 を含む第 1 の部分 302 を有する。電極組立体は、第 2 の部分 303 を有する。ベースプレート 4 は、剥離ライナー 206 を含む。ベースプレート 4 は、上層 208 を含む。ベースプレート 4 は、任意選択的に、オストミーパウチをベースプレート 4 に結合する結合リング 209 を含む。代替的に、例えば単品型オストミー装具の場合、オストミーパウチは、ベースプレート 4 に直接固定され得る。

【0179】

ベースプレート 4 は、ベースプレートをモニタデバイスに機械的且つ / 又は電子的に接続する等、接続するように構成されたモニタインターフェースを含む。モニタインターフェースは、モニタデバイスの各端子との電気接続を形成するように構成された複数の端子 212 を含む。例えば、示されるように、接続部 217 は、モニタインターフェースの複数の端子 212 を形成し得る。代替的に、例えば図 3 に示されるように、端子要素は、複数の端子を形成するように提供され得る。

【0180】

上層 208 は、上層開口部 304 を含む。第 2 の接着層 202 は、第 2 の接着層開口部 306 を含む。上層開口部 304 及び第 2 の接着層開口部 306 は、電極組立体 204 の複数の電極 216 と、ベースプレート 4 に結合されているモニタデバイスの端子とを接続できるようにするように構成される。例えば、電極組立体 216 の第 1 の部分 302 は、上層開口部 304 及び第 2 の接着層開口部 306 を通って延在し得る。

【0181】

図 11b は、オストミー装具の例示的なベースプレート 4 の分解組立図を示す。ベースプレート 4 は、第 1 の接着層 200 を含む。ベースプレート 4 は、任意選択的に、リム接着層とも記される第 2 の接着層 202 を含む。ベースプレート 4 は、電極組立体 204 に配置される複数の電極 216 を含む。電極組立体 204 は、第 1 の接着層 200 と第 2 の接着層 202 との間に配置される。電極組立体 204 は、任意選択的に、支持層 214 を含む。電極 216 は、支持層 214 の近位側における導電性インクのプリント等により支持層 214 の近位側に形成され得る。電極組立体 204 は、任意選択的に、例えば電極 216 の近位側から軸方向において見たとき、例えば電極 216 の部分を覆うか又はそれと重なるマスキング要素 218 を含む。電極組立体 204 は、複数の電極 216 の接続部 217 を含む第 1 の部分 302 を有する。電極組立体 204 は、第 2 の部分 303 を有する。第 2 の部分 303 は、複数の電極 216 の検知部を含む。ベースプレート 4 は、剥離ライナー 206 を含む。ベースプレート 4 は、上層 208 を含む。ベースプレート 4 は、任意選択的に、オストミーパウチをベースプレート 4 に結合する結合リング 209 を含む。代替的に、例えば単品型オストミー装具の場合、オストミーパウチは、ベースプレート 4

10

20

30

40

50



に直接固定され得る。

【0182】

ベースプレート4は、ベースプレート4をモニタデバイスに機械的且つ/又は電子的に接続する等、接続するように構成されたモニタインターフェースを含む。モニタインターフェースは、モニタデバイスの各端子との電気接続を形成するように構成された複数の端子212を含む。例えば、示されるように、接続部217は、モニタインターフェースの複数の端子212を形成し得る。代替的に、例えば図3に示されるように、端子要素は、複数の端子212を形成するように提供され得る。

【0183】

破線で示されるように、層は、第1の接着層200が電極組立体204の第1の部分302の遠位側等の一次側を覆わないように位置合わせされる。

10

【0184】

剥離ライナー206は、第1の隆起部314及び複数の突起316を含む。第1の接着層200は、第1の接着組成物等の第1の組成物の層を剥離ライナー206に擦り付けることにより提供され得る。突起316及び隆起部314の高さ増大により、第1の組成物がこれらのエリアに堆積しないように掻取装置と剥離ライナー206との間の距離は、最小になる。それにより、突起316は、第1の接着層200のセンサ点開口部（例えば、図8のセンサ点開口部260、262、264）を説明し、第1の隆起部314は、第1の接着層200により覆われない電極組立体204の第1の部分302の一次側等の第1の部分302を説明する。

20

【0185】

更に、第1の接着層200は、通常、粘性を示し得、突起316及び第1の隆起部314を有する剥離ライナー206は、剥離ライナー206が維持されている間、センサ点開口部を含む第1の接着層200の形状が維持されることを提供する。

【0186】

任意選択的なマスキング要素218は、複数の電極216又は複数の電極216の部分を絶縁するために提供され得る。マスキング要素218は、例えば、電極組立体204の近位側から複数の電極216の接続部217に接続できるようにするために複数の端子開口部318を有する。

【0187】

図3に関して説明したように、同様に、図11a及び図11bの示されるベースプレート4の幾つかの部分は、例えば、上述した構成要素の1つ又は複数を含む、既存のベースプレートに適用されるセンサ組立体部分700等の別個の組立体として提供され得、それにより上述したベースプレート4のようなベースプレートを提供等する。

30

【0188】

図12は、図11a又は図11bのベースプレート4等のベースプレートの例示的な電極組立体204の分解組立図を示す。電極組立体204は、遠位側204A及び近位側204Bを有する。電極組立体204は、近位側214B及び遠位側214Aを有する支持層214を含む。電極組立体204は、複数の電極216を含む。複数の電極216の各電極は、電極216をモニタインターフェースの各端子要素に接続する各接続部217を有する。電極216は、支持層214の近位側214Bに形成される等、提供され、例えば、電極216は、支持層214の近位側214Bに位置し得る。更に、電極組立体204は、任意選択的に、近位側218Bを有し、ベースプレート4の第1の接着層200から電極216の電極部を絶縁するように構成されるマスキング要素218を含む（図11a又は図11bを参照されたい）。マスキング要素218は、例えば、近位側204Bから軸方向において見たとき、電極216の部分を覆うか又はそれと重なる。マスキング要素218は、複数の電極の接続部217を覆わないか又はそれと重ならないように構成され得る。

40

【0189】

図12の電極組立体204等の幾つかの例示的な電極組立体204では、電極組立体2

50

04は、補強要素308を含む。補強要素308は、複数の電極216の複数の接続部217の近傍等の複数の電極216の近傍等、電極組立体216の近傍に位置決めされ得る。補強要素308は、電極組立体204の第1の部分の少なくとも一部を形成し得る。補強要素308に開口部310が設けられ得、それにより補強要素308の近位側308Bと遠位側308Aとの間等の補強要素308の両側間に導電経路を提供する。

【0190】

図13は、補強要素308が複数の導電路311を含む図12の代替を示す。例えば、補強要素308は、フレックス回路であり得る。複数の導電路311は、複数の電極216に接続され得る。それにより、複数の導電路311は、複数の電極216の接続部217を形成し得る。複数の導電路311は、補強要素308の近位側308Bと遠位側308Aとの間に導電経路を提供し得る。

10

【0191】

図14は、図6に示される電極構成220のようであるが、接地接続部222A、第1の接続部224A、第2の接続部226A、第3の接続部228A、第4の接続部230A及び/又は第5の接続部232A等の接続部217が直線コネクタ部である、複数の電極216の例示的な電極構成220を示す。

【0192】

図15は、ベースプレート4の部分及び/又はセンサ組立体部分700の断面概略表現を示す。ベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700は、第1の接着層200、任意選択的な第2の接着層202及び上層208を含む。複数の電極216を含む電極組立体が第1の接着層200と第2の接着層202との間等の第1の接着層200と上層208との間に配置される。例えば、電極組立体の第2の部分は、第1の接着層と第2の接着層及び/又は上層208との間に配置される。電極組立体は、任意選択的な補強要素308を更に含む。

20

【0193】

上層208及び第2の接着層202は、開口部304、306を含む。上層208は、上層開口部304を含む。第2の接着層202は、第2の接着層開口部306を含む。電極組立体の第1の部分302は、上層開口部304及び第2の接着層開口部306を通過して延在する。第1の部分302は、複数の電極及び補強要素308の接続路を含む。第1の部分302は、支持層214又は支持層の一部を含み得る。複数の電極の接続部217への接続は、補強要素308及び/又は支持層214を通して提供され得る。

30

【0194】

図16は、図15に示されるベースプレートの部分4及び/又はセンサ組立体部分700の断面概略表現を示し、ベースプレート4及びセンサ組立体部分700は、結合部210を含む。結合部210は、モニタデバイスとベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700との間に機械的接続を形成するように構成される。電極組立体の第1の部分302は、結合部210内に延在し、例えばモニタデバイスの端子等のモニタデバイスをベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700の電極216に接続できるようにする。

【0195】

示される例では、結合部210は、上層208に取り付けられる。しかしながら、代替の例では、結合部210は、電極組立体に取り付けられ、そのような状況では、結合部210は、上層開口部304及び第2の接着層開口部306を通過して延在し得る。

40

【0196】

図17は、ベースプレート4の部分及び/又はセンサ組立体部分700の断面概略表現を示す。ベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700は、第1の接着層200、任意選択的な第2の接着層202及び上層208を含む。複数の電極216を含む電極組立体が第1の接着層200と第2の接着層202との間等の第1の接着層200と上層208との間に配置される。例えば、電極組立体の第2の部分は、第1の接着層、第2の接着層202及び/又は上層208間に配置される。

【0197】

50

上層 208 は、上層開口部 304 を含む。第 2 の接着層 202 は、第 2 の接着層開口部 306 を含む。上層開口部 304 及び第 2 の接着層開口部 306 は、U 字形カットにより提供される。電極組立体の第 1 の部分 302 は、上層 208 及び第 2 の接着層 202 の部分と一緒に U 字形カット内部に折り返されて、ベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 の遠位側で複数の電極 216 の接続部 217 を露出する。第 1 の部分 302 は、複数の電極の接続部 217 を含み、上層開口部 304 及び第 2 の接着層開口部 306 を通って延在する。それにより、モニタデバイスは、複数の接続部 217 に接続され得る。図 17 に示されていないが、電極組立体は、例えば、図 15 及び図 16 に示されるように、任意選択的な補強要素 308 を更に含み得、且つ / 又はベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 には、例えば図 16 に示されるように結合部 210 が提供され得る。

10

## 【0198】

ベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 は、バック要素 312 を含む。バック要素 312 は、第 1 の接着層 200 と電極組立体の第 1 の部分 302 との間等の第 1 の接着層 200 と電極組立体及び / 又は電極組立体の複数の電極 216 との間に提供される。バック要素 312 は、電極組立体の第 1 の部分 302 が第 1 の接着層に付着せず、それにより電極組立体の第 1 の部分 302 をターン等できるようにすることを促進し得る。バック要素 312 は、同様に、図 15 及び / 又は図 16 に関連して説明したように、例示的なベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分に適用することもできる。

## 【0199】

図 18 は、ベースプレート 4 の部分及び / 又はセンサ組立体部分 700 の断面概略表現を示す。ベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 は、第 1 の接着層 200、任意選択的な第 2 の接着層 202 及び上層 208 を含む。複数の電極 216 を含む電極組立体が第 1 の接着層 200 と第 2 の接着層 202 との間等の第 1 の接着層 200 と上層 208 との間に配置される。例えば、電極組立体 204 の第 2 の部分は、第 1 の接着層 200 と第 2 の接着層 202 及び / 又は上層 208 との間に配置される。電極組立体 204 は、任意選択的な補強要素 308 及び任意選択的な剥離ライナー 206 を更に含む。

20

## 【0200】

第 1 の接着層 200 は、電極組立体 204 の第 1 の部分 302 の一次側を覆わないように提供される。例えば、剥離ライナー 206 は、第 1 の隆起部 314 を含み、それにより電極組立体 204 の第 1 の部分 302 の一次側を覆わないような第 1 の接着層 202 の形成を促進等する。第 1 の部分 302 の一次側は、第 1 の部分 302 の近位側であり得る。第 1 の部分 302 は、複数の電極 216 と補強要素 308 又は補強要素 308 の部分との接続部を含む。第 1 の部分 302 は、支持層 214 の部分を含み得る。

30

## 【0201】

図 19 は、例えば、電極組立体 204 の第 1 の部分 302 を遠位方向にわずかに曲げることにより接続部 217 にアクセス可能であり得ることを更に示す、図 18 に示されるベースプレート 4 の部分及び / 又はセンサ組立体部分 700 の断面概略表現を示す。代替的に、剥離ライナー 206 を取り外し得、それにより近位側から電極組立体 204 の第 1 の部分 302 にアクセス可能である。

## 【0202】

第 1 の接着層 200 は、電極組立体 204 の第 1 の部分 302 を覆っていないため、第 1 の部分 302 は、剥離ライナー又は任意の他の近傍に位置する層に付着しない。したがって、例えば、モニタデバイスと接続するために接続部 217 にアクセス可能であり得る。複数の電極 216 の接続部 217 への接続は、補強要素 308 を通して提供され得るか、又は接続部 217 は、補強要素 308 の導電路により形成され得る。

40

## 【0203】

図 20 は、ベースプレート 4 の部分及び / 又はセンサ組立体部分 700 の断面概略表現を示す。ベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 は、第 1 の接着層 200、任意選択的な第 2 の接着層 202 及び上層 208 を含む。複数の電極 216 を含む電極組立体 204 が第 1 の接着層 200 と第 2 の接着層 202 との間等の第 1 の接着層 200 と

50

上層 208 との間に配置される。例えば、電極組立体 204 の第 2 の部分は、第 1 の接着層と第 2 の接着層 202 / 上層 208 との間に配置される。示されていないが、電極組立体 204 は、例えば、図 18 及び図 19 に示されるように、補強要素 308 を含み得る。したがって、図 20 のベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 は、図 18 及び図 19 のベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 に対応し得る。

#### 【0204】

電極組立体 204 の第 1 の部分 302 は、上層 208 及び第 2 の接着層と一緒に折り返されて、ベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 の遠位側で複数の電極 216 の接続部 217 を露出する。したがって、最初に近位側にある（図 18 に示されるように）第 1 の部分 302 の一次側は、第 1 の部分 302 がターンした後、遠位に面する。

10

#### 【0205】

図 21 は、結合部 210 を含む、図 20 に示されるベースプレート 4 の部分及び / 又はセンサ組立体部分 700 の断面概略表現を示す。結合部 210 は、モニタデバイスとベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 との間の機械的接続を形成するように構成される。電極組立体 204 の第 1 の部分 302 は、結合部 210 内に延在し、それにより例えばモニタデバイスの端子等のモニタデバイスをベースプレート 4 及び / 又はセンサ組立体部分 700 の電極 216 に接続できるようにする。結合部 210 は、複数の電極 216 の接続部 217 を覆うように位置決めされる。結合部 210 は、上層 208 に取り付けられ得、且つ / 又は結合部 210 は、電極組立体 204 に取り付けられ得る。

#### 【0206】

20

図 22 は、図 11 a 又は図 11 b に示されるベースプレート等の例示的なベースプレート 4 及び図 2 に示されるモニタデバイス等のモニタデバイス 6 を概略的に示す。

#### 【0207】

ベースプレートは、モニタデバイス 6 とベースプレート 4 とを結合するように構成された結合部 210 を含む。結合部 210 は、ベースプレート 4 に対するモニタデバイス 6 の係合方向 412 における線形運動により、モニタデバイス 6 と係合するように構成される。モニタデバイス 6 は、例えば、モニタデバイス 6 のリム表面に開口部 424 を含む。開口部 424 は、モニタデバイス結合部を形成し得る。開口部 424 は、ベースプレート 4 の結合部 210 を受けるように構成される。モニタデバイス 6 は、ベースプレート 4 に対するモニタデバイス 6 の係合方向 412 における線形運動により、ベースプレート 4 の結合部 210 と係合するように構成される。係合方向 412 は、ベースプレート 4 のストーマ開口部 18 に向かい得る。

30

#### 【0208】

ベースプレートの複数の端子 212 は、結合部 210 に提供される。モニタデバイス 6 の複数の端子は、開口部 424 内部に提供され得、それにより、モニタデバイス 6 がベースプレート 4 に結合された場合、ベースプレート 4 の複数の端子 212 に接続等する。

#### 【0209】

結合部 210 は、ベースプレート 4 に対するモニタデバイスの脱係合方向 413 における線形運動により、モニタデバイス 6 と脱係合するように構成される。モニタデバイス 6 は、ベースプレート 4 に対するモニタデバイス 6 の脱係合方向 413 における線形運動により、ベースプレート 4 の結合部 210 と脱係合するように構成される。脱係合方向 413 は、ベースプレート 4 のストーマ開口部 18 の逆であり得る。

40

#### 【0210】

上層 208 及び第 1 の接着層 200 は、例えば、ユーザの皮膚に適用される前に実質的に平坦であり、ベースプレート平面に延在する。係合方向 412 及び脱係合方向 413 は、ベースプレート平面に実質的に平行である。

#### 【0211】

モニタデバイス 6 及び / 又はベースプレート 4 は、ベースプレート 4 との結合位置におけるモニタデバイス 6 をロックするように構成されたロック機構を含む。ロック機構は、第 1 のボタン 430 a 及び第 2 のボタン 430 b を含むロック要素 430 を含む。

50

## 【 0 2 1 2 】

第 1 のボタン 4 3 0 a は、第 1 の方向 4 3 2 において偏向可能であり、第 2 のボタン 4 3 0 b は、第 2 の方向 4 3 3 において偏向可能である。第 1 の方向 4 3 2 は、第 2 の方向 4 3 3 の実質的に逆である。第 1 の方向 4 3 2 及び第 2 の方向 4 3 3 は、係合方向 4 1 2 及び脱係合方向 4 1 3 に実質的に直交し、それにより例えばモニタデバイス 6 をベースプレート 4 に係合又は脱係合している間、ユーザが第 1 のボタン 4 3 0 a 及び第 2 のボタン 4 3 0 b をつまめるようにする。

## 【 0 2 1 3 】

ロック要素 4 3 0 は、ベースプレート 4 との結合位置においてモニタデバイス 6 をアンロックし、且つ / 又はベースプレート 4 との結合位置においてモニタデバイス 6 をロックする等、ロック機構をアンロック及び / 又はロックするように構成される。例えば、第 1 のボタン 4 3 0 a 及び第 2 のボタン 4 3 0 b は、ベースプレート 4 との結合位置におけるモニタデバイス 6 をロック且つ / 又はアンロックするために同時に押下されるべきである。例えば、第 1 のボタン 4 3 0 a 及び第 2 のボタン 4 3 0 b は、ベースプレート 4 との結合位置におけるモニタデバイス 6 をロックするために、押下され得、続けてベースプレート 4 との結合位置におけるモニタデバイス 6 をアンロックするために、第 1 のボタン 4 3 0 a 及び第 2 のボタン 4 3 0 b を再び押下し得る。代替的に、ロック機構は、ベースプレート 4 との結合位置においてモニタデバイス 6 のロックに向けてばね付勢等、付勢され得、例えば、ロック機構は、ロック機構のロックに向けて付勢され得、第 1 のボタン 4 3 0 a 及び第 2 のボタン 4 3 0 b を押下して、ベースプレート 4 との結合位置においてモニタデバイス 6 をアンロックし得る。ロック要素 4 3 0 は、示される例では、モニタデバイス 6 に提供される。しかしながら、別の例示的なモニタデバイス及び / 又はベースプレートでは、ロック要素 4 3 0 は、ベースプレート 4 の結合部 2 1 0 等のベースプレート 4 に提供され得る。

## 【 0 2 1 4 】

モニタデバイス 6 のロック機構は、ベースプレート 4 のロックセクション 4 2 8 と協働するように構成される。示される例でのロックセクション 4 2 8 は、結合部 2 1 0 を通って延在する穴 4 2 8 a、結合部 2 1 0 の第 1 の縁部における第 1 の窪み 4 2 8 b 及び結合部 2 1 0 の第 2 の縁部における第 2 の窪み 4 2 8 c を含む。例えば、モニタデバイス 6 のロック機構は、開口部 4 2 4 内部に位置決めされ、穴 4 2 8 a を通って突出するように構成されたロック構成要素、例えばピンを含み得る。したがって、例えば、モニタデバイス 6 のロック機構は、ベースプレート 4 の結合部 2 1 0 の穴 4 2 8 a と係合するピンを含み得、且つ / 又はモニタデバイス 6 のロック機構は、係合方向 4 1 2 に直交して偏向可能な要素を含み得、それにより例えば第 1 の窪み 4 2 8 b 及び / 又は第 2 の窪み 4 2 8 c と係合し得る。

## 【 0 2 1 5 】

結合部 2 1 0 は、実質的に平らであり、第 1 の表面 4 6 0 及び第 2 の表面 4 6 2 を含む（図 2 3 を参照されたい）。第 2 の表面 4 6 2 は、上層 2 0 8 に面しており、第 1 の表面は、上層 2 0 8 の逆に面している。第 2 の表面 4 6 2 は、実質的に近位方向に面し得、第 1 の表面 4 6 0 は、実質的に遠位方向に面し得る。複数の端子 2 1 2 は、結合部 2 1 0 の第 1 の表面 4 6 0 及び / 又は第 2 の表面 4 6 2 に提供され得る。

## 【 0 2 1 6 】

結合部 2 1 0 の第 2 の表面及び上層 2 0 8 は、分離され、それにより例えばモニタデバイス 6 の少なくとも一部を結合部 2 1 0 の第 2 の表面と上層 2 0 8 との間に位置決めできるようにし、それにより例えばモニタデバイス 6 の開口部 4 2 4 により結合部 2 1 0 を受けられるようにする。

## 【 0 2 1 7 】

図 2 3 は、図 1 1 a 又は図 1 1 b に示されたベースプレート等の例示的なベースプレート 4 及び図 2 に示されたモニタデバイス等のモニタデバイス 6 の部分を概略的に示す。図 2 3 のベースプレート 4 は、図 2 2 に関連して示されたベースプレート 4 と同様である。

## 【 0 2 1 8 】

図 2 3 に示されるモニタデバイス 6 は、例えば、モニタデバイス 6 のリム表面に開口部 4 2 4 を含む。開口部 4 2 4 は、ベースプレート 4 の結合部 2 1 0 を受けるように構成される。モニタデバイス 6 は、ベースプレート 4 に対するモニタデバイス 6 の係合方向 4 1 2 における線形運動により、ベースプレート 4 の結合部 2 1 0 と係合するように構成される。モニタデバイス 6 は、ベースプレート 4 に対するモニタデバイス 6 の脱係合方向 4 1 3 における線形運動により、ベースプレート 4 の結合部 2 1 0 を脱係合するように構成される。

## 【 0 2 1 9 】

ベースプレートの複数の端子 2 1 2 は、結合部 2 1 0 に提供される。モニタデバイス 6 の複数の端子は、開口部 4 2 4 内部に提供され得、それにより例えばモニタデバイス 6 がベースプレート 4 に結合されたとき、ベースプレート 4 の複数の端子 2 1 2 に接続する。

10

## 【 0 2 2 0 】

モニタデバイス 6 は、ベースプレート 4 との結合位置におけるモニタデバイス 6 をロックするように構成されたロック機構を含む。モニタデバイス 6 のロック機構は、ベースプレート 4 のロックセクション 4 2 8 と協働するように構成される。示される例におけるロックセクション 4 2 8 は、結合部 2 1 0 を通って延在する穴 4 2 8 a を含む。例えば、モニタデバイス 6 のロック機構は、開口部 4 2 4 内部に位置し、穴 4 2 8 a を通って突出するように構成されたロック構成要素、例えばピンを含み得る。図 2 2 に示される例とは対照的に、図 2 3 のロックセクション 4 2 8 は、窪み 4 2 8 b、4 2 8 c を含まない。しかしながら、図 2 2 に示されるように、図 2 2 のロックセクション 4 2 8 は、任意選択的に、窪み 4 2 8 b、4 2 8 c を含み得ることが留意される。

20

## 【 0 2 2 1 】

ロック機構は、第 1 のボタン 4 3 0 a を含むロック要素 4 3 0 を含む。第 1 のボタン 4 3 0 a 等のロック要素 4 3 0 は、ロック要素突起 4 3 1 を更に含む。ボタン 4 3 0 a は、第 1 の方向 4 3 2 において偏向可能であり、ロック要素突起 4 3 1 は、第 1 の方向 4 3 2 の逆の第 2 の方向 4 3 3 において第 1 のボタン 4 3 0 a をユーザが引く / 押すように構成される。ロック要素 4 3 0 は、係合方向 4 1 2 及び脱係合方向 4 1 3 に実質的に直交し、且つベースプレート平面に実質的に平行である軸の周りで回転運動するように構成され得る。

30

## 【 0 2 2 2 】

ロック要素 4 3 0 は、ロック機構をアンロック及び / 又はロックして、それにより例えばベースプレート 4 との結合位置におけるモニタデバイス 6 をアンロックし、且つ / 又はベースプレート 4 との結合位置におけるモニタデバイス 6 をロックするように構成される。例えば、ユーザは、第 1 の方向に第 1 のボタン 4 3 0 a を押し得、それにより例えばロック機構をロックし、続けて、ユーザは、第 2 の方向にロック要素突起 4 3 1 により第 1 のボタン 4 3 0 a を押し / 引き得、それにより例えばロック機構をアンロックする。

## 【 0 2 2 3 】

したがって、ユーザは、結合部 2 1 0 が開口部 4 2 4 で受けられるように、係合方向 4 1 2 にモニタデバイス 6 を線形移動させ得、その後、ユーザは、第 1 のボタン 4 3 0 a を第 1 の方向に押し得、ロック機構をロックし得、モニタデバイスは、ベースプレートとの結合位置に保持される等、ロックされる。続けて、モニタデバイス 6 をベースプレート 4 から取り外すために、ユーザは、ロック要素突起 4 3 1 を第 2 の方向 4 3 3 に押し / 引き、ロック機構をアンロックし得、ユーザは、モニタデバイス 6 を脱係合方向 4 1 3 に移動させることにより、ベースプレート 4 からモニタデバイス 6 を脱係合し得る。

40

## 【 0 2 2 4 】

ロック要素 4 3 0 は、例えば、ロック位置及び第 1 のアンロック位置を含む複数の予め定義された位置に位置決めされるように構成され得る。予め定義された位置は、ロック要素 4 3 0 の位置を変更するのにより大きい力が必要なロック要素 4 3 0 の位置であり得る。複数の予め定義された位置は、ロック要素 4 3 0 が開き、開口部 4 2 4 の内部の清掃を

50

可能にする清掃位置等の第2のアンロック位置を含み得る。ロック要素は、第2の方向433における運動、例えば10度～75度のロック要素430の角運動によりロック位置から第1のアンロック位置になり得る。ロック要素は、第2の方向433における(更なる)運動、例えば90度～170度のロック要素430の角運動により第1のアンロック位置から第2のアンロック位置になり得る。ロック要素430は、第1の方向432における運動、例えば90度～170度のロック要素430の角運動により第2のアンロック位置から第1のアンロック位置になり得る。ロック要素430は、第1の方向432における(更なる)運動、例えば10度～75度のロック要素430の角運動により、第1のアンロック位置からロック位置になり得る。ロック位置と第2のアンロック位置との間の角距離は、100度～200度であり得る。

10

## 【0225】

図24は、図2に示されるモニタデバイス等の例示的なモニタデバイス6を概略的に示す。モニタデバイス6は、モニタデバイス筐体100と、ベースプレートの複数の電極と接続する複数の端子600とを含む。モニタデバイス6は、モニタデバイスとベースプレートとを結合するように構成されたモニタデバイス結合部を更に含む。モニタデバイス結合部及び複数の端子600(図2の端子108、110、112、114、116、118の1つ又は複数)は、モニタデバイス6の装具インターフェースの部分形成し得る。

## 【0226】

モニタデバイス6は、ベースプレートのロックセクションと係合して、ベースプレートとの結合位置においてモニタデバイス6をロックするように構成されたロック機構を含む。モニタデバイス6は、第1のクランプ表面472と第2のクランプ表面474との間でベースプレートの結合部を把持するように構成されたクランプ470を含む。ロック機構は、第1のクランプ表面472と第2のクランプ表面474との間に位置決めされたロック構成要素(図示せず)を含み得る。ロック構成要素は、ベースプレートのロックセクションと係合するように構成され得る。例えば、ロック構成要素は、ベースプレートのロックセクションの穴に係合するように構成されたピンであり得る。

20

## 【0227】

複数の端子600は、第1のクランプ表面472に提供される。代替又は追加として、複数の端子600は、第2のクランプ表面472に提供され得る。

## 【0228】

第1のクランプ表面472及び第2のクランプ表面474は、互いに向けて付勢され得、例えばばね付勢又は磁性付勢され得る。代替的に、第1のクランプ表面472及び第2のクランプ表面474は、互いから離れて付勢され得、例えばばね付勢又は磁性付勢され得る。モニタデバイス6は、第1のクランプ表面472及び第2のクランプ表面474を閉クランプ位置においてロックするように構成されたクランプロック476を含む。クランプロック476は、ユーザ相互作用によってアンロックされるように構成され得る。

30

## 【0229】

図25及び図26は、図11a又は図11bに示されるベースプレート等の例示的なベースプレート4及び図2に示されるモニタデバイス等のモニタデバイス6を概略的に示す。図26は、例示的なベースプレート4の部分のみを示す。

40

## 【0230】

ベースプレート4は、結合部210を含む。結合部210は、突起部480を含む。突起部480は、凹側482を有し、例えば、突起部480は、実質的に凹側壁を有する円柱体であり得る。突起部480及び/又は凹側482は、結合部210のロックセクション428を形成する。

## 【0231】

モニタデバイス結合部120は、キャビティ484を含む。キャビティ484は、突起部480を受けるように構成され、突起部480は、キャビティ484と係合するように構成される。モニタデバイス結合部120は、キャビティ484の側に位置決めされた1つ又は複数の偏向可能要素486を含む。偏向可能要素486は、モニタデバイス6の口

50

ック機構の部分を形成し、突起部 480 の凹側 482 と係合するように構成される。それにより、突起部 480 をキャビティ 484 内に保持し得る。

【0232】

更に、モニタデバイス結合部 120 は、実質的にキャビティ 484 の中心に位置決めされた突起要素 488 を含む。結合部 210 の突起部 480 は、突起要素 488 を受けるように構成された対応するソケット 490 を含む。突起要素 488 及びソケット 490 は、三角形断面を有し、係合に可能な向きを制限し、ベースプレート 4 へのモニタデバイス 6 の正しい結合を保證する。

【0233】

モニタデバイス 6 の複数の端子 600 は、突起要素 488 の端部に提供され、ベースプレート 4 の複数の端子 212 は、ソケット 490 の底部に提供される。

10

【0234】

モニタデバイス 6 は、モニタデバイス 6 を向ける正確な方法をユーザに示すように湾曲することが更に示される。モニタデバイス 6 の曲率は、ベースプレート 4 のオストミー開口部 18 に面するように構成された凹側を有するように湾曲する。

【0235】

結合部 210 は、第 1 の位置合わせ要素 492 を更に含み、モニタデバイス結合部 120 は、第 2 の位置合わせ要素 494 を含む。突起部 480 は、第 1 の位置合わせ要素 492 の上部に位置決めされる。第 1 の位置合わせ要素 492 及び第 2 の位置合わせ要素 494 は、係合して、ベースプレート 4 に対するモニタデバイス 6 の正しい位置合わせを更に保証するように構成される。第 1 の位置合わせ要素 492 は、第 2 の位置合わせ縁部を有する凹部を形成する第 2 の位置合わせ要素 494 により受けられるように構成された第 1 の位置合わせ縁部を形成する。第 2 の位置合わせ要素 494 は、モニタデバイス 6 のリム表面に向かう開放端部及び対向する閉鎖端部を有して、モニタデバイス 6 が正しく向けられたときのみ、例えばモニタデバイス 6 の凹側がストーマ開口部 18 に面しているときのみ、第 1 の位置合わせ要素 492 が第 2 の位置合わせ要素 494 で受けられることが可能であることを確実にする。

20

【0236】

図 27 及び図 28 は、図 11a 又は図 11b に示されるベースプレート等の例示的なベースプレート 4 を概略的に示す。ベースプレート 4 は、第 1 の結合部セクション 496 及び第 2 の結合部セクション 498 を含む結合部 210 を含む。結合部 210 は、図 28 に示されるように、第 1 の結合部セクション 496 と第 2 の結合部セクション 498 との間でモニタデバイス 6 の少なくとも一部を受けると構成される。第 1 の結合部セクション 496 及び第 2 の結合部セクション 498 は、例えば、結合部 210 の弾性により及び/又はばね手段により互いに向けて付勢される。示される例では、第 1 の結合部セクション 496 は、第 2 の結合部セクション 498 から偏向可能である。第 1 の結合部セクション 496 は、ユーザが第 1 の結合部セクション 496 を第 2 の結合部セクション 498 から離れるように曲げられるようにし、それにより例えばモニタデバイス 6 を結合部 210 から解放するレバー 499 を含む。モニタデバイス 6 は、第 1 の結合部セクション 496 と第 2 の結合部セクション 498 との間への容易な挿入を可能にする楔形である。

30

40

【0237】

結合部 210 は、第 1 の結合部セクション 496 から突出する第 1 の突起 428d と、第 2 の結合部セクション 498 から突出する第 2 の突起 428e とを含むロックセクション 428 を含む。モニタデバイス 6 は、第 1 の突起 428d を受ける第 1 の窪み 602a 及び第 2 の突起 428e を受ける第 2 の窪み 602b 等の対応する窪み 602 を含み得る。

【0238】

ベースプレート 4 の複数の端子 212 は、第 1 の結合部セクション 496 と第 2 の結合部セクション 498 との間等、結合部 210 に提供される。

【0239】

図 29 は、第 1 の結合部セクション 496 及び第 2 の結合部セクション 498 を含む例

50



示的な結合部 210、例えば結合部 210 の遠位側 210 A を概略的に示す。見られるように、第 1 の結合部セクション 496 及び第 2 の結合部セクションは、実質的に平坦である。第 1 の結合部セクション 496 は、例えば、図 15 ~ 図 21 に関連して説明したように、電極組立体の第 1 の部分 302 等のベースプレートの第 1 の部分に取り付けられるように構成される。第 2 の結合部セクション 496 は、ベースプレートの上層の第 2 の部分等のベースプレートの第 2 の部分に取り付けられるように構成される。

【0240】

第 1 の結合部セクション 496 は、第 2 の結合部セクション 498 にヒンジで取り付けられる。それにより、第 2 の結合部セクション 498 に対する第 1 の結合部セクション 496 のヒンジ軸 702 の周りの回転運動を可能にする。ヒンジ軸 702 は、第 1 の結合部セクション 496 及び第 2 の結合部セクション 498 に平行である。

10

【0241】

例えば、図 17 を参照すると、図 29 の結合部 210 は、第 1 の結合部セクション 496 が電極組立体の第 1 の部分 302 の上で上層 208 の第 1 の部分に取り付けられ、第 2 の結合部セクション 498 が、ターンされていない上層 208 の第 2 の部分に取り付けられるように、電極組立体の第 1 の部分 302 をターンさせる前に上層 208 に取り付けられ得る。第 1 の結合部セクション 496 と第 2 の結合部セクション 498 とのヒンジによる取り付けは、第 1 の結合部セクション 496 と一緒に電極組立体の第 1 の部分 302 を持ち上げ、接続部 217 を有する電極組立体の遠位側にアクセスできるようにする。

【0242】

結合部 210 は、ヒンジ軸に沿って、低減した厚さのライン 720 を含み、ヒンジ軸の周りでの、第 2 の結合部セクション 498 に対する第 1 の結合部セクション 496 の回転運動を可能にする。低減した厚さのライン 720 は、結合部 210 の遠位側に提供され、例えば遠位方向での第 1 の結合部セクションの回転を可能にする。第 1 の結合部セクション 496 と第 2 の結合部セクション 498 とのヒンジによる取り付けを提供する柔軟性は、図 30 及び図 31 に関して説明した等の他の手段により提供され得る。

20

【0243】

第 2 の結合部セクション 498 は、第 2 の一次結合部セクション 708 及び 2 つの第 2 の二次結合部セクション 710 A、710 B を含む。別の例示的な結合部（図示せず）では、第 2 の結合部セクション 498 は、例えば、第 1 の結合部セクション 496 の全周に沿って延在する 1 つのみの第 2 の二次結合部セクションを含む。

30

【0244】

第 2 の一次結合部セクション 708 は、ヒンジ軸の一次側に配置される。第 2 の二次結合部セクション 710 A、710 B は、ヒンジ軸 754 の近位側の逆であるヒンジ軸 754 の二次側に配置される。それにより、第 2 の結合部セクション 498 は、ヒンジ軸 754 の周りで第 1 の結合部セクション 496 が回転する際、結合部 210 の安定性の増大を提供する。

【0245】

結合部 210 の第 1 の結合部セクション 496 等の結合部 210 は、穴 428 a を含むロックセクションを含む。ロックセクション 428 a は、ベースプレートとの結合位置においてモニタデバイスをロックするように構成される。穴 428 a は、結合部 210 を通って、例えば第 1 の結合部セクション 496 を通って延在する。モニタデバイスのロック機構は、結合部 210 を受ける開口部内部に位置決めされ、穴 428 a を通って突出するように構成されたロック構成要素、例えばピンを含み得る。

40

【0246】

図 30 は、図 29 の例示的な結合部 210 と同様の例示的な結合部 210 を概略的に示す。しかしながら、第 1 の結合部セクション 496 と第 2 の結合部セクション 498 とのヒンジによる取り付けは、ヒンジ軸 754 に沿って結合部 210 に穴 722 を設けることにより提供されるという違いがある。ヒンジ軸 754 に沿った穴 722 により、ヒンジ軸 754 の周りでの、第 2 の結合部セクション 498 に対する第 1 の結合部セクション 49

50

6の回転運動が可能になる。

【0247】

図31a及び図31bは、図29の例示的な結合部210と同様の例示的な結合部210を概略的に示す。しかしながら、図31a及び図31bの結合部210は、複数のラミネート724、726、728を積層することから作られ、第1の結合部セクション496と第2の結合部セクション498とのヒンジによる取り付けは、ラミネート層724、726、728により提供されるという違いがある。

【0248】

図31aは、例示的な結合部210の分解組立図を示し、結合部210を構成するラミネート層を示す。結合部210は、第2のラミネート726と積層された第1のラミネート724並びに第2のラミネート726及び第1のラミネート724と積層された第3のラミネート728で作られる。積層プロセスは、幾つかのステップで提供され得、例えば第1のステップにおいて、第1のラミネート724を第2のラミネート726と積層し得、任意選択的に特定の形状に切断してから、第3のラミネート728と積層する。ラミネート724、726、728を積層した後、結合部210を切断又は打ち抜き得る。

10

【0249】

図31bは、例示的な結合部210を示す。見られるように、第1の結合部セクション496と第2の結合部セクション498とのヒンジによる取り付けは、第3のラミネート728のみをヒンジ軸を横切って延在させることにより提供される。第3のラミネート728は、第2の結合部セクション498に対して第1の結合部セクション496を回転させるのに十分に薄い厚さを有するように選択され得る。また、第3のラミネートの材料は、非剛性材料であるように選択され得る。第1のラミネート724及び第2のラミネート726は、強度増大を第1の結合部セクション496に提供し得る。

20

【0250】

図32は、横から見た図29～図31の何れかの結合部210等の例示的な結合部210を概略的に示す。示されるように、第1の結合部セクション496は、第1の結合部平面750において実質的に平坦であり、及び第2の結合部セクション498は、第2の結合部平面752において実質的に平坦である。したがって、ヒンジ軸754(図29～図31を参照されたい)は、第1の結合部平面750及び第2の結合部平面752に平行である。

30

【0251】

結合部210へのモニタデバイスのより容易な結合を促進するために、結合部210は、第1の結合部セクション496が、ベースプレートから少量だけ持ち上げられる位置に向けて付勢されるように構成され得る。したがって、静止状態、すなわち力が第1の結合部に付与されていない状態、例えば圧力が結合部セクション496の遠位側に掛けられていない状態では、第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションは、静止角756を形成する。静止角は、5度超、例えば10度超、例えば15度超、例えば20度超であり得る。

【0252】

結合部210は、ベースプレートの上層等のベースプレートの層に取り付けられる接着剤712、714を含むことも図32に示される。例えば、第1の結合部セクション496は、電極組立体の第1の部分等のベースプレートの第1の部分に取り付けられるように構成された第1の結合部セクション接着剤712を含む。第2の結合部セクション498は、上層の第2の部分等のベースプレートの第2の部分に取り付けられるように構成された第2の結合部セクション接着剤714を含む。代替的に、第1の結合部セクション496及び/又は第2の結合部セクション498は、ベースプレートの各部分に溶接され得る。

40

【0253】

第1の結合部セクション496は、第1の結合部厚さ716を有し、第2の結合部セクションは、第2の結合部厚さ718を有する。第1の結合部厚さ716及び第2の結合部厚さ718は、同じであり得る。代替的に、例えば、図31bに示される例示的な結合部

50

210の場合と同様に、第1の結合部厚さは、第2の結合部厚さ718を上回り得る。例えば、第1の結合部厚さは、0.6mmであり得、第2の結合部厚さは、0.3mmであり得る。

【0254】

図33は、前の図に関連しても説明されたオストミー装具のベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700等の例示的なベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700の分解組立図を概略的に示す。ベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700は、上層208、第1の接着層200及び電極組立体204を含む。電極組立体204は、接続部及び検知部を有する複数の電極を含む。しかしながら、図33では見えるが、電極組立体204の電極が電極組立体204の近位側に、すなわち第1の接着層200に面して配置されることが理解される。第1の接着層200は皮膚に最も近く、すなわち示される層のうちの最も近位側にある層である。上層208は、示される層のうちの最も遠位側にある層である。

10

【0255】

ベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700は、ベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700をモニタデバイス（例えば、図22及び図23を参照されたい）に接続するように構成されたモニタインターフェースも含む。モニタインターフェースは、図29～図32の何れかに関連して例示及び説明されたように、結合部210を含む。結合部210は、モニタデバイスとベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700とを結合するように構成される。

20

【0256】

結合部210の第1の結合部セクション496は、電極組立体204の第1の部分302及び/又は上層208の第1の部分730等の複数の電極の接続部を含むベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第1の部分に取り付けられる。穴は、上層208及び第2の接着層が存在する場合、第2の接着層に提供され得、それにより例えば第1の結合部セクション496と電極組立体204の第1の部分302との直接取り付けを可能にする。代替的に、取り付けられた第1の結合部セクション496、上層208の第1の部分730及び電極組立体の第1の部分302がヒンジ軸の周りで回転運動可能であり得るよう、U字形輪郭を上層208の第1の部分730の周りで切断し得る。第1の結合部セクション496は、第1の結合部セクション接着剤により又は第1の結合部セクション496並びに上層208の第1の部分730及び/若しくは電極組立体204の第1の部分302と一緒に溶接することにより、上層208の第1の部分730及び/又は電極組立体204の第1の部分302に取り付けられ得る。

30

【0257】

裏当て要素312は、電極組立体204の第1の部分302の近位側と第1の接着層200のエネに側との間等の電極組立体204の第1の部分302と第1の接着層200との間に提供される。裏当て要素312は、電極組立体の第1の部分302が第1の接着層200に付着せず、それにより例えば電極組立体204の第1の部分302をターンさせる（例えば、第1の結合部セクションと一緒に）ことを促進する。裏当て要素312は、上層208に穴又はU字形切断を提供する打ち抜きプロセスのストップを更に提供し得る。

40

【0258】

第2の結合部セクション498は、上層208の第2の部分732等のベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第2の部分に取り付けられる。第2の結合部セクション498は、第2の結合部セクション接着剤により又は第2の結合部セクション498及び上層208の第2の部分732と一緒に溶接することにより、上層208の第2の部分732に取り付けられ得る。

【0259】

上層208に取り付けられた場合、第2の結合部セクション498は、上層208に平行であり得る。したがって、図32に関連して説明した静止角756は、第1の結合部セクション496と上層208との間に形成され得る。

50

## 【0260】

図33に特に示されていないが、ベースプレート4及び/又はセンサ組立体部分700は、図11aに示される等の追加の層を含み得る。

## 【0261】

図34は、前の図33に関連して説明したような例示的な結合部210、例えば結合部210の近位側210B及び電極組立体の例示的な第1の部分302を概略的に示す。図34は、第1の結合部セクション496と電極組立体の第1の部分302との間に位置決めされた第1の結合部セクション接着剤712を示す。第1の結合部セクション接着剤712は、第1の結合部セクション496の近位側496Bと電極組立体の第1の部分302の遠位側との間に提供され、それにより例えば第1の結合部セクション496の近位側496Bを電極組立体の第1の部分302の遠位側に取り付ける。

10

## 【0262】

ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分における第1のコネクタの位置、結合部における端子の数及び位置は、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の電極組立体で使用される電極構成に適合され得る。

## 【0263】

「第1」、「第2」、「第3」及び「第4」、「一次」、「二次」、「三次」等の用語の使用は、いかなる特定の順序も暗示せず、個々の要素を識別するために含まれている。更に、「第1」、「第2」、「第3」及び「第4」、「一次」、「二次」、「三次」等の用語の使用は、いかなる順序又は重要性も示さず、むしろ「第1」、「第2」、「第3」及び「第4」、「一次」、「二次」、「三次」等の用語は、ある要素を別の要素から区別するために使用される。なお、「第1」、「第2」、「第3」及び「第4」、「一次」、「二次」、「三次」等の言葉は、本明細書及び他の箇所において、ラベル目的でのみ使用され、いかなる特定の空間的又は時間的順序を示すことも意図しない。更に、第1の要素のラベルは、第2の要素の存在を暗示せず、逆も同様である。

20

## 【0264】

特定の特徴を示し説明したが、特許請求の範囲に記載される本発明の限定を意図しないことが理解され、特許請求の範囲に記載される本発明の趣旨及び範囲から逸脱せずに種々の変更形態及び変形形態がなされ得ることが当業者に明らかになる。したがって、本明細書及び図面は、限定ではなく、例示の意味で見なされるべきである。特許請求の範囲に記載される本発明は、全ての代替形態、変形形態及び均等物の包含を意図する。

30

## 【0265】

例示的なベースプレート及びモニタデバイスについて以下の項目に記載する。

## 【0266】

項目1．オストミー装具のためのベースプレートであって、

- 上層と、
  - 第1の接着層と、
  - 複数の電極を含む電極組立体と、
  - ベースプレートをモニタデバイスに接続するように構成されたモニタインターフェースであって、複数の電極に電氣的に接続され、モニタデバイスの各端子と接続するように構成された複数の端子を含み、モニタデバイスとベースプレートとを結合するように構成された結合部を含む、モニタインターフェースと
- を含み、

40

複数の端子は、結合部に提供され、結合部は、ベースプレートの結合部におけるモニタデバイスをロックするように構成されたロックセクションを含む、ベースプレート。

## 【0267】

項目2．ロックセクションは、結合部を通して延在する穴を含む、項目1に記載のベースプレート。

## 【0268】

項目3．ロックセクションは、結合部の表面から突出する突起を含む、項目1又は2に

50

記載のベースプレート。

【0269】

項目4．ロックセクションは、結合部の縁部の窪み及び/又は結合部の表面における溝を含む、項目1～3の何れか1つに記載のベースプレート。

【0270】

項目5．結合部は、第1の表面及び第2の表面を含み、第2の表面は、第1の表面の逆であり、第2の表面は、上層に面する、項目1～4の何れか1つに記載のベースプレート。

【0271】

項目6．複数の端子は、結合部の第2の表面に提供される、項目5に記載のベースプレート。

【0272】

項目7．結合部の第2の表面及び上層は、分離されて、モニタデバイスがベースプレートに接続される際、結合部の第2の表面と上層との間にモニタデバイスの少なくとも一部を位置決めできるようにする、項目5又は6に記載のベースプレート。

【0273】

項目8．結合部は、実質的に平坦である、項目1～7の何れか1つに記載のベースプレート。

【0274】

項目9．結合部は、第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションを含み、結合部は、第1の結合部セクションと第2の結合部セクションとの間でモニタデバイスの少なくとも一部を受けよう構成される、項目1～8の何れか1つに記載のベースプレート。

【0275】

項目10．第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションは、互いに向けて付勢される、項目9に記載のベースプレート。

【0276】

項目11．結合部は、ベースプレート平面に実質的に直交する突出方向において突出する突起部を含み、突起部は、結合部のロックセクションを形成する凹側を有し、突起部は、モニタデバイスのキャビティと係合するように構成される、項目1～10の何れか1つに記載のベースプレート。

【0277】

項目12．突起部は、モニタデバイスのキャビティに位置決めされた突起要素を受けよう構成されたソケットを含む、項目11に記載のベースプレート。

【0278】

項目13．ソケットは、三角形断面を有する、項目12に記載のベースプレート。

【0279】

項目14．オストミー装具のベースプレートに接続するためのモニタデバイスであって、

- モニタデバイス筐体と、
- 電子回路と、
- モニタデバイスをベースプレートに接続するように構成された装具インターフェースであって、ベースプレートの複数の電極と接続する複数の端子を含み、モニタデバイスとベースプレートとを結合するように構成されたモニタデバイス結合部を含む、装具モニタインターフェースと

を含み、

ベースプレートのロックセクションと係合して、ベースプレートとの結合位置においてモニタデバイスをロックするように構成されるロック機構を含む、モニタデバイス。

【0280】

項目15．モニタデバイス結合部は、ベースプレートに対するモニタデバイスの係合方向における線形運動により、ベースプレートに係合するように構成される、項目14に記載のモニタデバイス。

【0281】

10

20

30

40

50

項目 16 . ロック機構は、ロック機構のロックに向けて付勢される、項目 14 又は 15 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 8 2 】

項目 17 . ユーザがロック要素と相互作用すると、ロック機構をアンロック又はロックするように構成されたロック要素を含む、項目 14 ~ 16 の何れか 1 つに記載のモニタデバイス。

【 0 2 8 3 】

項目 18 . ロック要素は、第 1 の方向に偏向可能な第 1 のボタンを含み、第 1 の方向は、係合方向に実質的に平行であるか、又は係合方向に実質的に直交する、項目 15 に従属する項目 17 に記載のモニタデバイス。

10

【 0 2 8 4 】

項目 19 . ロック要素は、第 1 のボタン及び第 2 のボタンを含み、第 1 のボタンは、第 1 の方向に偏向可能であり、第 2 のボタンは、第 2 の方向に偏向可能であり、第 1 の方向は、実質的に第 2 の方向の逆である、項目 17 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 8 5 】

項目 20 . 第 1 の方向及び第 2 の方向は、係合方向に実質的に直交する、項目 15 に従属する項目 19 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 8 6 】

項目 21 . ロック要素は、第 1 のスライダ方向に摺動可能なスライダを含み、スライダは、ばね負荷が掛けられ、第 2 のスライダ方向に向けて付勢され、第 1 のスライダ方向は、第 2 のスライダ方向の逆である、項目 17 ~ 20 の何れか 1 つに記載のモニタデバイス。

20

【 0 2 8 7 】

項目 22 . 第 1 のスライダ方向及び第 2 のスライダ方向は、実質的に係合方向に直交する、項目 15 に従属する項目 21 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 8 8 】

項目 23 . ベースプレートの結合部を受ける開口部を含み、ロック機構は、開口部内部に位置決めされるロック構成要素を含む、項目 14 ~ 22 の何れか 1 つに記載のモニタデバイス。

【 0 2 8 9 】

項目 24 . 第 1 のクランプ表面と第 2 のクランプ表面との間でベースプレートの結合部を把持するように構成されたクランプを含み、ロック機構は、第 1 のクランプ表面と第 2 のクランプ表面との間に位置決めされたロック構成要素を含む、項目 14 ~ 22 の何れか 1 つに記載のモニタデバイス。

30

【 0 2 9 0 】

項目 25 . 複数の端子は、第 1 のクランプ表面に提供される、項目 24 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 9 1 】

項目 26 . 第 1 のクランプ表面及び第 2 のクランプ表面は、互いに向けて付勢される、項目 24 又は 25 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 9 2 】

項目 27 . 第 1 のクランプ表面及び第 2 のクランプ表面を閉クランプ位置にロックするように構成されたクランプロックを含む、項目 24 ~ 26 の何れか 1 つに記載のモニタデバイス。

40

【 0 2 9 3 】

項目 28 . クランプロックは、ユーザ相互作用によってアンロックされるように構成される、項目 27 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 9 4 】

項目 29 . モニタデバイス結合部は、キャビティと、キャビティに位置決めされた 1 つ又は複数の偏向可能要素とを含み、キャビティは、ベースプレートの突起部を受けるように構成され、偏向可能要素は、突起部の凹側と係合するように構成されたロック機構の部

50

分を形成する、項目 1 1 ~ 2 8 の何れか 1 つに記載のモニタデバイス。

【 0 2 9 5 】

項目 3 0 . モニタデバイス結合部は、キャビティに位置決めされた突起部を含む、項目 2 9 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 9 6 】

項目 3 1 . 突起要素は、三角形断面を有する、項目 3 0 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 9 7 】

項目 3 2 . 複数の端子は、突起要素に提供される、項目 3 0 又は 3 1 に記載のモニタデバイス。

【 0 2 9 8 】

本開示の更なる例示的な実施形態について以下の第 2 の項目に記載する。

【 0 2 9 9 】

第 2 の項目 1 . オストミー装具のためのベースプレート及び/又はセンサ組立体部分のための結合部であって、結合部は、第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクションを含み、第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部平面において実質的に平坦であり、及び第 2 の結合部セクションは、第 2 の結合部平面において実質的に平坦であり、

第 1 の結合部セクションは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第 1 の部分に取り付けられるように構成され、

第 2 の結合部セクションは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第 2 の部分に取り付けられるように構成され、

第 1 の結合部セクションは、第 2 の結合部セクションにヒンジで取り付けられ、ヒンジ軸の周りでの、第 2 の結合部セクションに対する第 1 の結合部セクションの回転運動を可能にし、

ヒンジ軸は、第 1 の結合部平面及び第 2 の結合部平面に平行である、結合部。

【 0 3 0 0 】

第 2 の項目 2 . 静止状態において、第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクションは、静止角を形成し、静止状態は、力が第 1 の結合部に付与されていない状態である、第 2 の項目 1 に記載の結合部。

【 0 3 0 1 】

第 2 の項目 3 . 静止角は、5 度超、例えば 1 0 度超、例えば 1 5 度超、例えば 2 0 度超である、第 2 の項目 2 に記載の結合部。

【 0 3 0 2 】

第 2 の項目 4 . 第 2 の結合部セクションは、第 2 の一次結合部セクション及び 1 つ又は複数の第 2 の二次結合部セクションを含み、第 2 の一次結合部セクションは、ヒンジ軸の一次側に配置され、1 つ又は複数の第 2 の二次結合部セクションは、ヒンジ軸の二次側に配置され、ヒンジ軸の二次側は、ヒンジ軸の一次側の逆である、第 2 の項目 1 ~ 3 の何れか 1 つに記載の結合部。

【 0 3 0 3 】

第 2 の項目 5 . 第 1 の結合部セクションは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分との結合位置においてモニタデバイスをロックするように構成されたロックセクションを含む、第 2 の項目 1 ~ 4 の何れか 1 つに記載の結合部。

【 0 3 0 4 】

第 2 の項目 6 . ロックセクションは、第 1 の結合部セクションを貫通する穴を含む、第 2 の項目 5 に記載の結合部。

【 0 3 0 5 】

第 2 の項目 7 . 第 1 の結合部セクションは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部分の第 1 の部分の遠位側に取り付けられるように構成される、第 2 の項目 1 ~ 6 の何れか 1 つに記載の結合部。

【 0 3 0 6 】

第 2 の項目 8 . 第 2 の結合部セクションは、ベースプレート及び/又はセンサ組立体部

10

20

30

40

50

分の第 2 の部分の遠位側に取り付けられるように構成される、第 2 の項目 1 ~ 7 の何れか 1 つに記載の結合部。

【 0 3 0 7 】

第 2 の項目 9 . 第 1 の結合部セクションは、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の第 1 の部分に取り付けられるように構成された第 1 の結合部セクション接着剤を含む、第 2 の項目 1 ~ 8 の何れか 1 つに記載の結合部。

【 0 3 0 8 】

第 2 の項目 1 0 . 第 2 の結合部セクションは、ベースプレート及び / 又はセンサ組立体部分の第 2 の部分に取り付けられるように構成された第 2 の結合部セクション接着剤を含む、第 2 の項目 1 ~ 9 の何れか 1 つに記載の結合部。

10

【 0 3 0 9 】

第 2 の項目 1 1 . 第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部厚さを有し、及び第 2 の結合部セクションは、第 2 の結合部厚さを有し、第 1 の結合部厚さ及び / 又は第 2 の結合部厚さは、2 mm 未満、例えば 1 mm 未満、例えば 0 . 6 mm である、第 2 の項目 1 ~ 1 0 の何れか 1 つに記載の結合部。

【 0 3 1 0 】

第 2 の項目 1 2 . 第 1 の結合部厚さは、第 2 の結合部厚さを上回る、第 2 の項目 1 1 に記載の結合部。

【 0 3 1 1 】

第 2 の項目 1 3 . ヒンジ軸に沿って、低減した厚さの 1 つ又は複数のラインを含み、ヒンジ軸の周りでの、第 2 の結合部セクションに対する第 1 の結合部セクションの回転運動を可能にする、第 2 の項目 1 ~ 1 2 の何れか 1 つに記載の結合部。

20

【 0 3 1 2 】

第 2 の項目 1 4 . 低減した厚さの 1 つ又は複数のラインは、結合部の遠位側に提供される、第 2 の項目 1 3 に記載の結合部。

【 0 3 1 3 】

第 2 の項目 1 5 . ヒンジ軸に沿って 1 つ又は複数の穴を含み、ヒンジ軸の周りでの、第 2 の結合部セクションに対する第 1 の結合部セクションの回転運動を可能にする、第 2 の項目 1 ~ 1 4 の何れか 1 つに記載の結合部。

【 0 3 1 4 】

30

第 2 の項目 1 6 . オストミー装具のためのベースプレートであって、

- 上層と、
- 第 1 の接着層と、
- 接続部及び検知部を有する複数の電極を含む電極組立体と、
- ベースプレートをモニタデバイスに接続するように構成されたモニタインターフェースであって、モニタデバイスとベースプレートとを結合するように構成された結合部を含む、モニタインターフェースと

を含み、

結合部は、第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクションを含み、第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部平面において実質的に平坦であり、及び第 2 の結合部セクションは、第 2 の結合部平面において実質的に平坦であり、

40

第 1 の結合部セクションは、複数の電極の接続部を含むベースプレートの第 1 の部分に取り付けられ、

第 2 の結合部セクションは、ベースプレートの第 2 の部分に取り付けられ、

第 1 の結合部セクションは、第 2 の結合部セクションにヒンジで取り付けられ、ヒンジ軸の周りでの、第 2 の結合部セクションに対する第 1 の結合部セクションの回転運動を可能にし、

ヒンジ軸は、第 1 の結合部平面及び第 2 の結合部平面に平行である、ベースプレート。

【 0 3 1 5 】

第 2 の項目 1 7 . 第 2 の結合部セクションの近位側は、上層の第 2 の部分の遠位側に取

50



り付けられる、第2の項目16に記載のベースプレート。

【0316】

第2の項目18．第1の結合部セクションの近位側は、上層の第1の部分の遠位側に取り付けられる、第2の項目16又は17に記載のベースプレート。

【0317】

第2の項目19．第1の結合部セクションの近位側は、電極組立体の第1の部分の遠位側に取り付けられる、第2の項目16又は17に記載のベースプレート。

【0318】

第2の項目20．第1の結合部セクションは、第1の結合部セクション接着剤によってベースプレートの第1の部分に取り付けられる、第2の項目16～19の何れか1つに記載のベースプレート。

10

【0319】

第2の項目21．第1の結合部セクションは、第1の結合部セクション及びベースプレートの第1の部分と一緒に溶接することにより、ベースプレートの第1の部分に取り付けられる、第2の項目16～20の何れか1つに記載のベースプレート。

【0320】

第2の項目22．第2の結合部セクションは、第2の結合部セクション接着剤によってベースプレートの第2の部分に取り付けられる、第2の項目16～21の何れか1つに記載のベースプレート。

【0321】

20

第2の項目23．第2の結合部セクションは、第2の結合部セクション及びベースプレートの第2の部分と一緒に溶接することにより、ベースプレートの第2の部分に取り付けられる、第2の項目16～22の何れか1つに記載のベースプレート。

【0322】

第2の項目24．静止状態において、第1の結合部セクション及び上層は、静止角を形成し、静止状態は、力が第1の結合部に付与されていない状態である、第2の項目16～23の何れか1つに記載のベースプレート。

【0323】

第2の項目25．静止角は、5度超、例えば10度超、例えば15度超、例えば20度超である、第2の項目24に記載のベースプレート。

30

【0324】

第2の項目26．第1の接着層と電極組立体との間に裏当て要素を含む、第2の項目16～25の何れか1つに記載のベースプレート。

【0325】

第2の項目27．オストミー装具のためのセンサ組立体部分であって、

- 上層と、
- 第1の接着層と、
- 接続部及び検知部を有する複数の電極を含む電極組立体と、
- センサ組立体部分をモニタデバイスに接続するように構成されたモニタインターフェースであって、モニタデバイスとセンサ組立体部分とを結合するように構成された結合部を含む、モニタインターフェースと

を含み、

40

結合部は、第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションを含み、第1の結合部セクションは、第1の結合部平面において実質的に平坦であり、及び第2の結合部セクションは、第2の結合部平面において実質的に平坦であり、

第1の結合部セクションは、複数の電極の接続部を含むセンサ組立体部分の第1の部分に取り付けられ、

第2の結合部セクションは、センサ組立体部分の第2の部分に取り付けられ、

第1の結合部セクションは、第2の結合部セクションにヒンジで取り付けられ、ヒンジ軸の周りでの、第2の結合部セクションに対する第1の結合部セクションの回転運動を可

50

能にし、

ヒンジ軸は、第 1 の結合部平面及び第 2 の結合部平面に平行である、センサ組立体部分。

【 0 3 2 6 】

第 2 の項目 2 8 . 第 2 の結合部セクションの近位側は、上層の第 2 の部分の遠位側に取り付けられる、第 2 の項目 2 7 に記載のセンサ組立体部分。

【 0 3 2 7 】

第 2 の項目 2 9 . 第 1 の結合部セクションの近位側は、上層の第 1 の部分の遠位側に取り付けられる、第 2 の項目 2 7 又は 2 8 に記載のセンサ組立体。

【 0 3 2 8 】

第 2 の項目 3 0 . 第 1 の結合部セクションの近位側は、電極組立体の第 1 の部分の遠位側に取り付けられる、第 2 の項目 2 7 又は 2 8 に記載のセンサ組立体部分。

10

【 0 3 2 9 】

第 2 の項目 3 1 . 第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部セクション接着剤によってセンサ組立体部分の第 1 の部分に取り付けられる、第 2 の項目 2 7 ~ 3 0 の何れか 1 つに記載のセンサ組立体部分。

【 0 3 3 0 】

第 2 の項目 3 2 . 第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部セクション及びセンサ組立体部分の第 1 の部分を一緒に溶接することにより、センサ組立体部分の第 1 の部分に取り付けられる、第 2 の項目 2 7 ~ 3 1 の何れか 1 つに記載のセンサ組立体部分。

【 0 3 3 1 】

20

第 2 の項目 3 3 . 第 2 の結合部セクションは、第 2 の結合部セクション接着剤によってセンサ組立体部分の第 2 の部分に取り付けられる、第 2 の項目 2 7 ~ 3 2 の何れか 1 つに記載のセンサ組立体部分。

【 0 3 3 2 】

第 2 の項目 3 4 . 第 2 の結合部セクションは、第 2 の結合部セクション及びセンサ組立体部分の第 2 の部分を一緒に溶接することにより、センサ組立体部分の第 2 の部分に取り付けられる、第 2 の項目 2 7 ~ 3 3 の何れか 1 つに記載のセンサ組立体部分。

【 0 3 3 3 】

第 2 の項目 3 5 . 静止状態において、第 1 の結合部セクション及び上層は、静止角を形成し、静止状態は、力が第 1 の結合部に付与されていない状態である、第 2 の項目 2 7 ~ 3 4 の何れか 1 つに記載のセンサ組立体部分。

30

【 0 3 3 4 】

第 2 の項目 3 6 . 静止角は、5 度超、例えば 1 0 度超、例えば 1 5 度超、例えば 2 0 度超である、第 2 の項目 3 5 に記載のセンサ組立体部分。

【 0 3 3 5 】

第 2 の項目 3 7 . 第 1 の接着層と電極組立体との間に裏当て要素を含む、第 2 の項目 3 7 又は 3 6 に記載のセンサ組立体部分。

本開示は更に、以下の態様を含んでいる：

《 態様 1 》

第 1 の結合部セクション及び第 2 の結合部セクションを含む、オストミー装具のためのベースプレートのための結合部であって、前記第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部平面において実質的に平坦であり、及び前記第 2 の結合部セクションは、第 2 の結合部平面において実質的に平坦であり、

40

前記第 1 の結合部セクションは、前記ベースプレートの第 1 の部分に取り付けられるように構成され、

前記第 2 の結合部セクションは、前記ベースプレートの第 2 の部分に取り付けられるように構成され、

前記第 1 の結合部セクションは、前記第 2 の結合部セクションにヒンジで取り付けられ、ヒンジ軸の周りでの、前記第 2 の結合部セクションに対する前記第 1 の結合部セクションの回転運動を可能にし、

50

前記ヒンジ軸は、前記第 1 の結合部平面及び前記第 2 の結合部平面に平行であり、  
 静止状態において、前記第 1 の結合部セクション及び前記第 2 の結合部セクションは、  
 静止角を形成し、前記静止状態は、力が前記第 1 の結合部に付与されていない状態であり、  
 前記静止角は、5 度超、例えば 10 度超、例えば 15 度超、例えば 20 度超である、結  
 合部。

《態様 2》

前記第 2 の結合部セクションは、第 2 の一次結合部セクション及び 1 つ又は複数の第 2  
 の二次結合部セクションを含み、前記第 2 の一次結合部セクションは、前記ヒンジ軸の一  
 次側に配置され、前記 1 つ又は複数の第 2 の二次結合部セクションは、前記ヒンジ軸の二  
 次側に配置され、前記ヒンジ軸の前記二次側は、前記ヒンジ軸の前記一次側の逆である、  
 態様 1 に記載の結合部。

10

《態様 3》

前記第 1 の結合部セクションは、前記ベースプレートとの結合位置においてモニタデバ  
 イスをロックするように構成されたロックセクションを含む、態様 1 又は 2 に記載の結合  
 部。

《態様 4》

前記ロックセクションは、前記第 1 の結合部セクションを貫通する穴を含む、態様 3 に  
 記載の結合部。

《態様 5》

前記第 1 の結合部セクションは、前記ベースプレートの前記第 1 の部分の遠位側に取り  
 付けられるように構成される、態様 1 ~ 4 の何れか一つに記載の結合部。

20

《態様 6》

前記第 2 の結合部セクションは、前記ベースプレートの前記第 2 の部分の遠位側に取り  
 付けられるように構成される、態様 1 ~ 5 の何れか一つに記載の結合部。

《態様 7》

前記第 1 の結合部セクションは、前記ベースプレートの前記第 1 の部分に取り付けられ  
 るように構成された第 1 の結合部セクション接着剤を含む、態様 1 ~ 6 の何れか一つに記  
 載の結合部。

《態様 8》

前記第 2 の結合部セクションは、前記ベースプレートの前記第 2 の部分に取り付けられ  
 るように構成された第 2 の結合部セクション接着剤を含む、態様 1 ~ 7 の何れか一つに記  
 載の結合部。

30

《態様 9》

前記第 1 の結合部セクションは、第 1 の結合部厚さを有し、及び前記第 2 の結合部セク  
 ションは、第 2 の結合部厚さを有し、前記第 1 の結合部厚さ及び / 又は前記第 2 の結合部  
 厚さは、2 mm 未満、例えば 1 mm 未満、例えば 0.6 mm である、態様 1 ~ 8 の何れか  
 一つに記載の結合部。

《態様 10》

前記第 1 の結合部厚さは、前記第 2 の結合部厚さを上回る、態様 9 に記載の結合部。

《態様 11》

前記ヒンジ軸に沿って、低減した厚さの 1 つ又は複数のラインを含み、前記ヒンジ軸の  
 周りでの、前記第 2 の結合部セクションに対する前記第 1 の結合部セクションの前記回転  
 運動を可能にする、態様 1 ~ 10 の何れか一つに記載の結合部。

40

《態様 12》

前記低減した厚さの 1 つ又は複数のラインは、前記結合部の遠位側に提供される、態様  
 11 に記載の結合部。

《態様 13》

前記ヒンジ軸に沿って 1 つ又は複数の穴を含み、前記ヒンジ軸の周りでの、前記第 2 の  
 結合部セクションに対する前記第 1 の結合部セクションの前記回転運動を可能にする、態  
 様 1 ~ 12 の何れか一つに記載の結合部。

50

## 《態様 14》

オストミー装具のためのベースプレートであって、

- 上層と、
  - 1つ又は複数の水溶性又は水膨性親水コロイドを含む第1の接着層と、
  - 接続部及び検知部を有する複数の電極を含む電極組立体と、
  - 前記ベースプレートをモニタデバイスに接続するように構成されたモニタインターフェースであって、前記モニタデバイスと前記ベースプレートとを結合するように構成された結合部を含む、モニタインターフェースと
- を含み、

前記結合部は、第1の結合部セクション及び第2の結合部セクションを含み、前記第1の結合部セクションは、第1の結合部平面において実質的に平坦であり、及び前記第2の結合部セクションは、第2の結合部平面において実質的に平坦であり、

前記第1の結合部セクションは、前記複数の電極の前記接続部を含む前記ベースプレートの第1の部分に取り付けられ、

前記第2の結合部セクションは、前記ベースプレートの第2の部分に取り付けられ、

前記第1の結合部セクションは、前記第2の結合部セクションにヒンジで取り付けられ、ヒンジ軸の周りでの、前記第2の結合部セクションに対する前記第1の結合部セクションの回転運動を可能にし、

前記ヒンジ軸は、前記第1の結合部平面及び前記第2の結合部平面に平行である、ベースプレート。

## 《態様 15》

前記上層の上層ストーマ開口部及び前記第1の接着層の第1の接着剤ストーマ開口部によって少なくとも部分的に形成されるストーマ開口部を含み、前記ベースプレートの前記ストーマ開口部は、ユーザのストーマからの排出物の通過を可能にするように構成される、態様 14 に記載のベースプレート。

## 《態様 16》

前記第2の結合部セクションの近位側は、前記上層の第2の部分の遠位側に取り付けられる、態様 14 又は 15 に記載のベースプレート。

## 《態様 17》

前記第1の結合部セクションの近位側は、前記上層の第1の部分の遠位側に取り付けられる、態様 14 ~ 16 の何れか一つに記載のベースプレート。

## 《態様 18》

前記第1の結合部セクションの近位側は、前記電極組立体の第1の部分の遠位側に取り付けられる、態様 14 ~ 16 の何れか一つに記載のベースプレート。

## 《態様 19》

前記第1の結合部セクションは、第1の結合部セクション接着剤によって前記ベースプレートの前記第1の部分に取り付けられる、態様 14 ~ 18 の何れか一つに記載のベースプレート。

## 《態様 20》

前記第1の結合部セクションは、前記第1の結合部セクション及び前記ベースプレートの前記第1の部分と一緒に溶接することにより、前記ベースプレートの前記第1の部分に取り付けられる、態様 14 ~ 19 の何れか一つに記載のベースプレート。

## 《態様 21》

前記第2の結合部セクションは、第2の結合部セクション接着剤によって前記ベースプレートの前記第2の部分に取り付けられる、態様 14 ~ 20 の何れか一つに記載のベースプレート。

## 《態様 22》

前記第2の結合部セクションは、前記第2の結合部セクション及び前記ベースプレートの前記第2の部分と一緒に溶接することにより、前記ベースプレートの前記第2の部分に取り付けられる、態様 14 ~ 21 の何れか一つに記載のベースプレート。

10

20

30

40

50

## 《態様 2 3》

静止状態において、前記第 1 の結合部セクション及び前記上層は、静止角を形成し、前記静止状態は、力が前記第 1 の結合部に付与されていない状態である、態様 1 4 ~ 2 2 の何れか一つに記載のベースプレート。

## 《態様 2 4》

前記静止角は、5 度超、例えば 1 0 度超、例えば 1 5 度超、例えば 2 0 度超である、態様 2 3 に記載のベースプレート。

## 《態様 2 5》

前記第 1 の接着層と前記電極組立体との間に裏当て要素を含む、態様 1 4 ~ 2 4 の何れか一つに記載のベースプレート。

10

## 【符号の説明】

## 【 0 3 3 6 】

- 1 オストミーシステム
- 2 オストミー装具
- 4 ベースプレート
- 6 モニタデバイス
- 8 付属デバイス
- 1 0 サーバデバイス
- 1 2 ネットワーク
- 1 4 結合部材
- 1 6 結合リング
- 1 8 ストーマ受け開口部
- 1 0 0 モニタデバイス筐体
- 1 0 1 プロセッサ
- 1 0 2 第 1 のインターフェース
- 1 0 4 第 2 のインターフェース
- 1 0 6 メモリ
- 1 0 8 モニタデバイスの接地端子
- 1 1 0 モニタデバイスの第 1 の端子
- 1 1 2 モニタデバイスの第 2 の端子
- 1 1 4 モニタデバイスの第 3 の端子
- 1 1 6 モニタデバイスの第 4 の端子
- 1 1 8 モニタデバイスの第 5 の端子
- 1 2 0 結合部
- 1 2 2 アンテナ
- 1 2 4 無線送受信機
- 2 0 0 第 1 の接着層
- 2 0 0 A 第 1 の接着層の遠位側 / 面
- 2 0 0 B 第 1 の接着層の近位側 / 面
- 2 0 2 第 2 の接着層
- 2 0 2 A 第 2 の接着層の遠位側 / 面
- 2 0 2 B 第 2 の接着層の近位側 / 面
- 2 0 4 電極組立体
- 2 0 4 A 電極組立体の遠位側 / 面
- 2 0 4 B 電極組立体の近位側 / 面
- 2 0 6 剥離ライナー
- 2 0 6 A 剥離ライナーの遠位側 / 面
- 2 0 6 B 剥離ライナーの近位側 / 面
- 2 0 8 上層
- 2 0 8 A 上層の遠位側 / 面

20

30

40

50

2 0 8 B	上層の近位側 / 面	
2 0 9	結合リング	
2 1 0	第 1 のコネクタの結合部	
2 1 0 A	結合部の遠位側 / 面	
2 1 0 B	結合部の近位側 / 面	
2 1 1	第 1 のコネクタ	
2 1 2	第 1 のコネクタの端子	
2 1 3	第 1 の中間要素	
2 1 3 A	第 1 の中間要素の遠位側 / 面	
2 1 3 B	第 1 の中間要素の近位側 / 面	10
2 1 4	電極組立体の支持層	
2 1 4 A	支持層の遠位側 / 面	
2 1 4 B	支持層の近位側 / 面	
2 1 6	電極組立体の電極	
2 1 7	接続部	
2 1 8	マスキング要素	
2 1 8 A	マスキング要素の遠位側 / 面	
2 1 8 B	マスキング要素の近位側 / 面	
2 2 0	電極構成	
2 2 2	接地電極	20
2 2 2 A	接地接続部	
2 2 2 B	接地検知部	
2 2 4	第 1 の電極	
2 2 4 A	第 1 の接続部	
2 2 6	第 2 の電極	
2 2 6 A	第 2 の接続部	
2 2 8	第 3 の電極	
2 2 8 A	第 3 の接続部	
2 3 0	第 4 の電極	
2 3 0 A	第 4 の接続部	30
2 3 0 B	第 4 の検知部	
2 3 2	第 5 の電極	
2 3 2 A	第 5 の接続部	
2 3 2 B	第 5 の検知部	
2 3 4	接地電極の第 1 の電極部	
2 3 6	接地電極の第 2 の電極部	
2 3 8	接地電極の第 3 の電極部	
2 4 0	接地電極の第 4 の電極部	
2 4 2	接地端子開口部	
2 4 4	第 1 の端子開口部	40
2 4 6	第 2 の端子開口部	
2 4 8	第 3 の端子開口部	
2 5 0	第 4 の端子開口部	
2 5 2	第 5 の端子開口部	
2 5 4	マスキング要素の一次センサ点開口部	
2 5 4 A	第 1 の一次センサ点開口部	
2 5 4 B	第 2 の一次センサ点開口部	
2 5 6	マスキング要素の二次センサ点開口部	
2 5 6 A	第 1 の二次センサ点開口部	
2 5 6 B	第 2 の二次センサ点開口部	50

2 5 8	マスキング要素の三次センサ点開口部	
2 5 8 A	第 1 の三次センサ点開口部	
2 5 8 B	第 2 の三次センサ点開口部	
2 6 0	第 1 の接着層の一次センサ点開口部	
2 6 0 A	第 1 の一次センサ点開口部	
2 6 0 B	第 2 の一次センサ点開口部	
2 6 2	第 1 の接着層の二次センサ点開口部	
2 6 2 A	第 1 の二次センサ点開口部	
2 6 2 B	第 2 の二次センサ点開口部	
2 6 4	第 1 の接着層の三次センサ点開口部	10
2 6 4 A	第 1 の三次センサ点開口部	
2 6 4 B	第 2 の三次センサ点開口部	
2 7 2	端子要素	
2 7 2 A	単子要素の遠位端部	
2 7 2 B	端子要素の近位端部	
2 7 4 A	端子要素の遠位部分	
2 7 4 B	端子要素の近位部分	
2 7 6 A	遠位端子要素湾曲	
2 7 6 B	近位端子要素湾曲	
2 7 8	案内穴	20
2 8 2	接地端子要素	
2 8 2 A	接地端子	
2 8 4	第 1 の端子要素	
2 8 4 A	第 1 の端子	
2 8 6	第 2 の端子要素	
2 8 6 A	第 2 の端子	
2 8 8	第 3 の端子要素	
2 8 8 A	第 3 の端子	
2 9 0	第 4 の端子要素	
2 9 0 A	第 4 の端子	30
2 9 2	第 5 の端子要素	
2 9 2 A	第 5 の端子	
3 0 2	電極組立体の第 1 の部分	
3 0 3	電極組立体の第 2 の部分	
3 0 4	上層開口部	
3 0 6	第 2 の接着層開口部	
3 0 8	補強要素	
3 0 8 A	補強要素の遠位側	
3 0 8 B	補強要素の近位側	
3 1 0	開口部	40
3 1 1	導体路	
3 1 2	裏当て要素	
3 1 4	第 1 の隆起部	
4 1 2	係合方向	
4 1 3	脱係合方向	
4 2 4	開口部	
4 2 8	ロックセクション	
4 3 0	ロック要素	
4 3 1	ロック要素突起	
4 3 2	第 1 の方向	50

4 3 3	第 2 の方向	
4 3 4	第 1 のスライダ方向	
4 3 6	第 2 のスライダ方向	
4 6 0	結合部の第 1 の表面	
4 6 2	結合部の第 2 の表面	
4 7 0	クランプ	
4 7 2	第 1 のクランプ表面	
4 7 4	第 2 のクランプ表面	
4 8 0	突起部	
4 8 2	凹側	10
4 8 4	キャビティ	
4 8 6	偏向可能要素	
4 8 8	突起要素	
4 9 0	ソケット	
4 9 2	第 1 の位置合わせ要素	
4 9 4	第 2 の位置合わせ要素	
4 9 6	第 1 の結合部セクション	
4 9 8	第 2 の結合部セクション	
4 9 9	レバー	
6 0 0	モニタデバイスの複数の端子	20
6 0 2	窪み	
7 0 8	第 2 の一次結合部セクション	
7 1 0、7 1 0 A、7 1 0 B	第 2 の二次結合部セクション	
7 1 2	第 1 の結合部セクション接着剤	
7 1 4	第 2 の結合部セクション接着剤	
7 1 6	第 1 の結合部厚さ	
7 1 8	第 2 の結合部厚さ	
7 2 0	厚さが低減されたライン	
7 2 2	穴	
7 2 4	第 1 のラミネート	30
7 2 6	第 2 のラミネート	
7 2 8	第 3 のラミネート	
7 3 0	上層の第 1 の部分	
7 3 2	上層の第 2 の部分	
7 5 0	第 1 の結合部平面	
7 5 2	第 2 の結合部平面	
7 5 4	ヒンジ軸	
7 5 6	静止角	
M	モニタデバイスの第 1 のインターフェースにおける端子数	40



【 図面 】

【 図 1 】

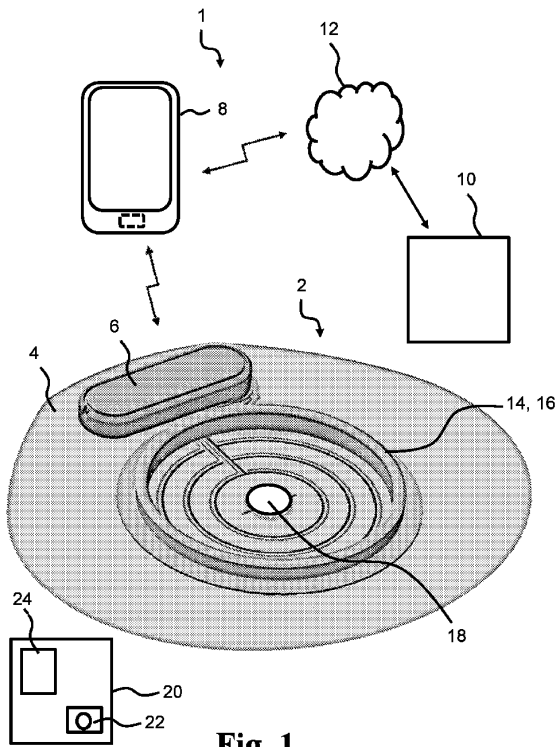


Fig. 1

【 図 2 】

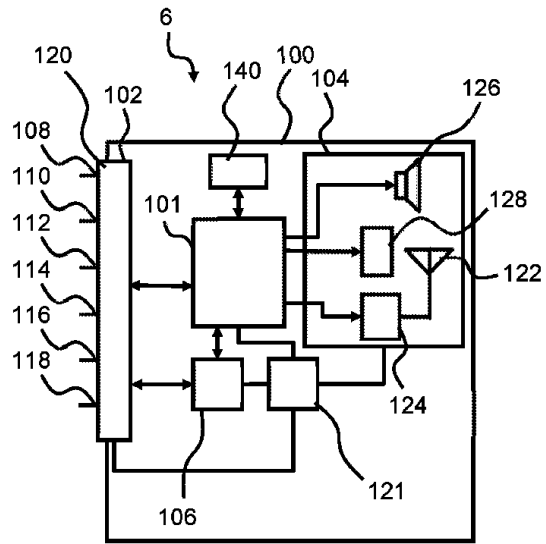


Fig. 2

【 図 3 】

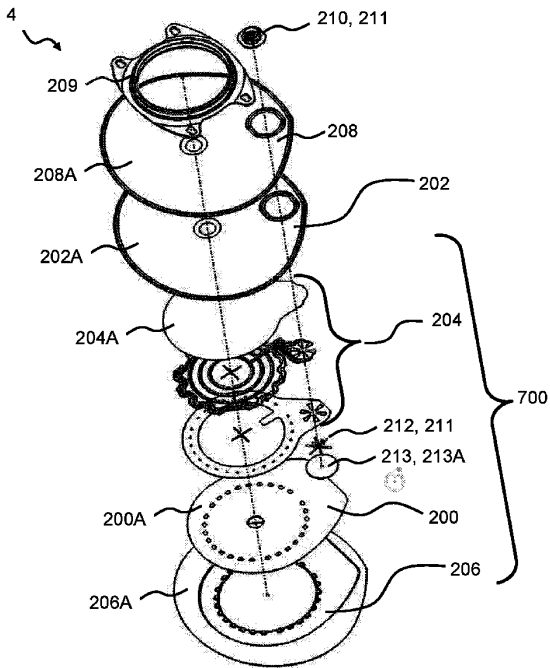


Fig. 3

【 図 4 】

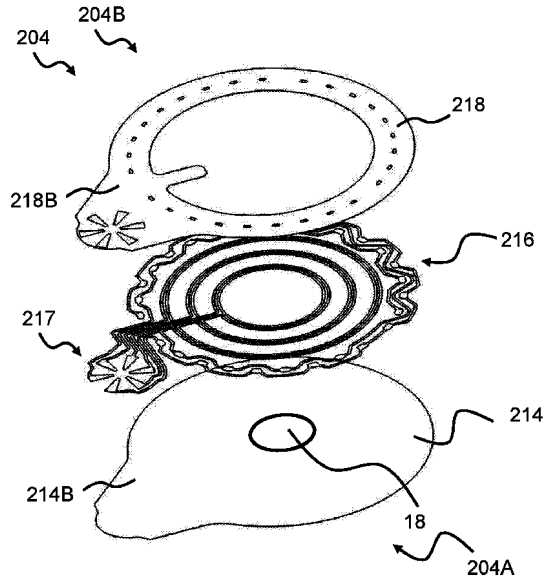


Fig. 4

10

20

30

40

50



【 図 9 】

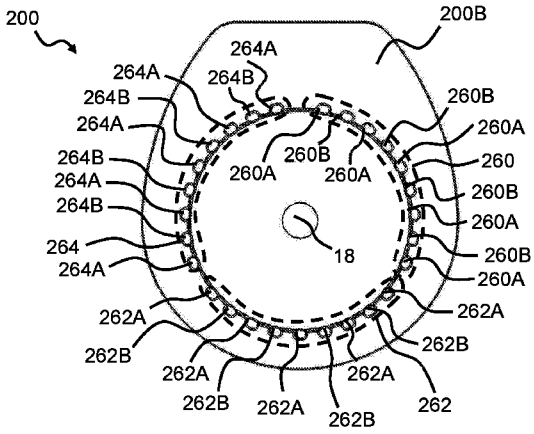


Fig. 9

【 図 1 0 】

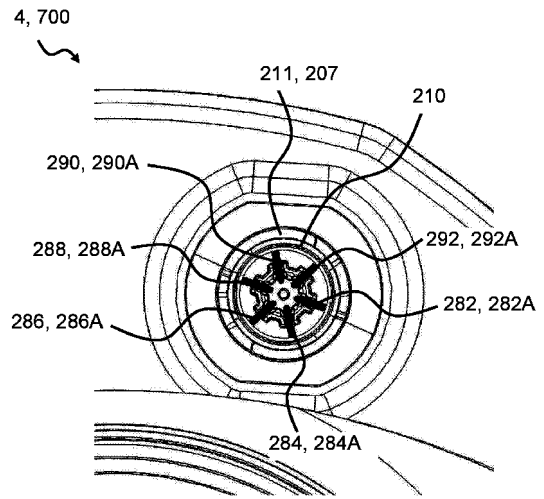


Fig. 10

【 図 1 1 a 】

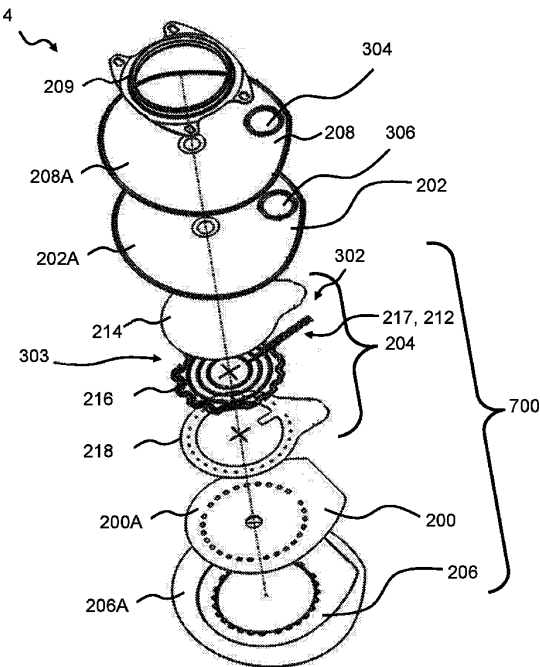


Fig. 11a

【 図 1 1 b 】

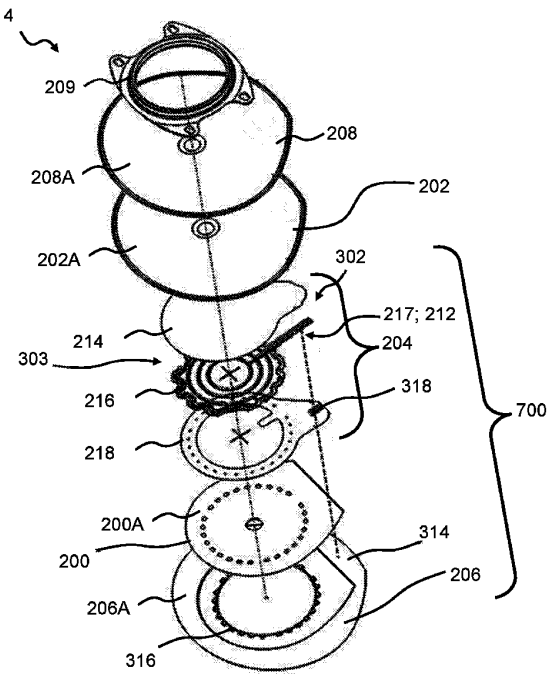


Fig. 11b

10

20

30

40

50

【 図 1 2 】

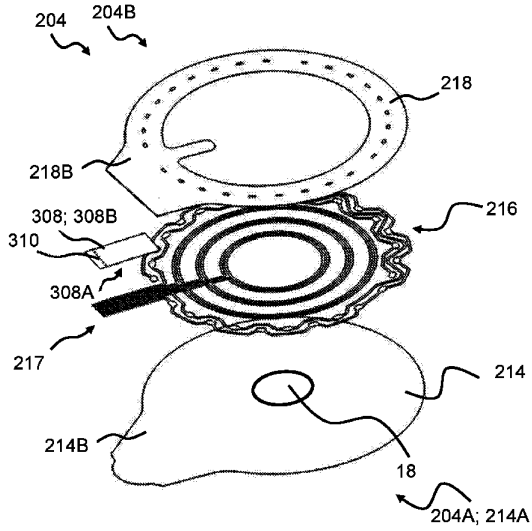


Fig. 12

【 図 1 3 】

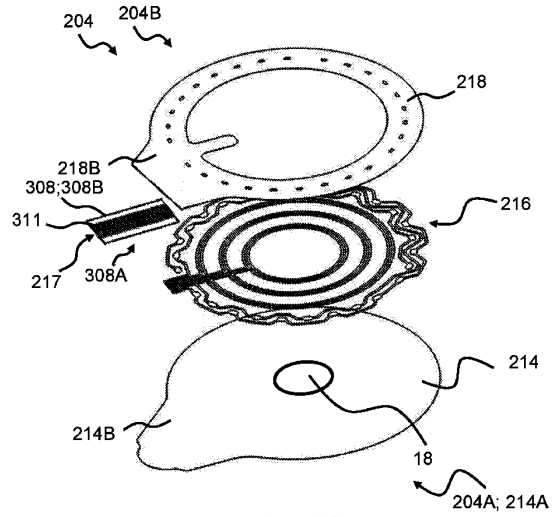


Fig. 13

10

【 図 1 4 】

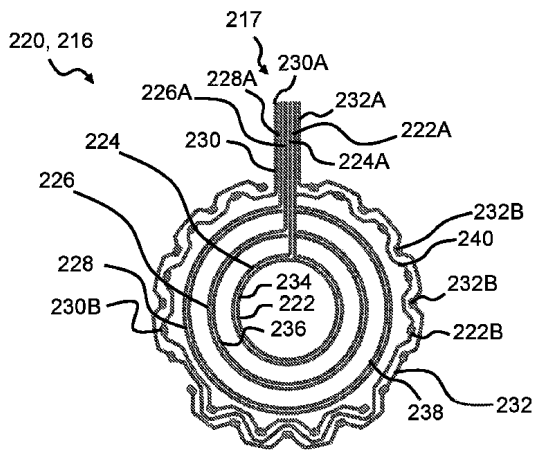


Fig. 14

【 図 1 5 】

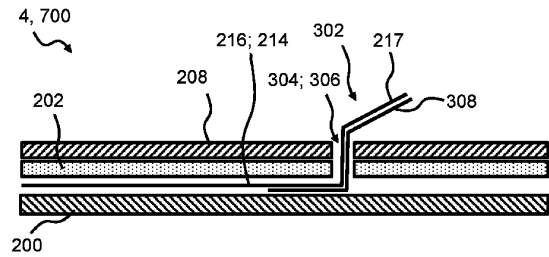


Fig. 15

20

30

40

50

【 図 1 6 】

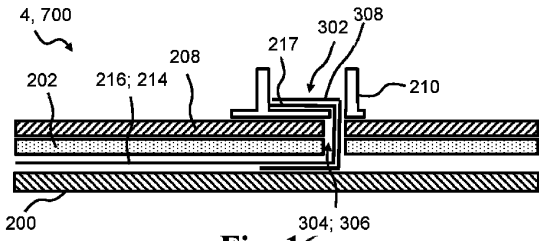


Fig. 16

【 図 1 7 】

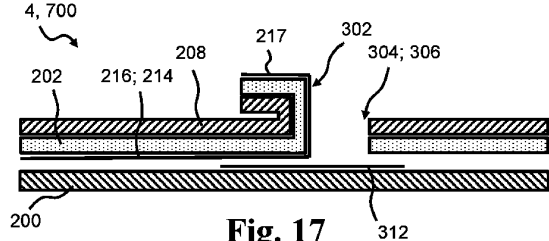


Fig. 17

10

【 図 1 8 】

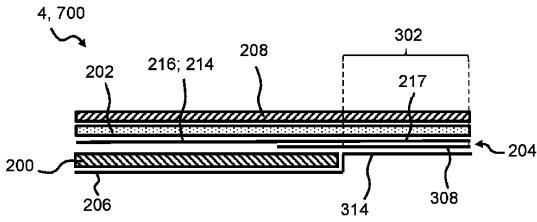


Fig. 18

【 図 1 9 】

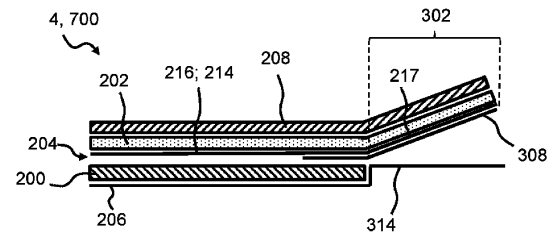


Fig. 19

20

【 図 2 0 】

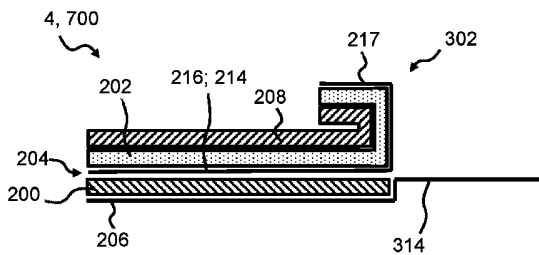


Fig. 20

【 図 2 1 】

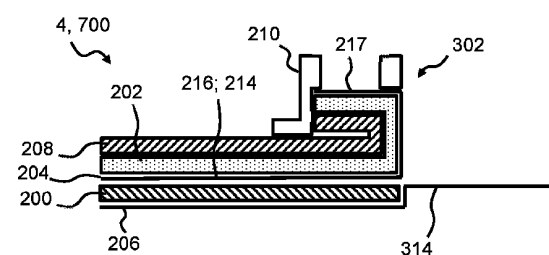


Fig. 21

30

40

50

【 図 2 2 】

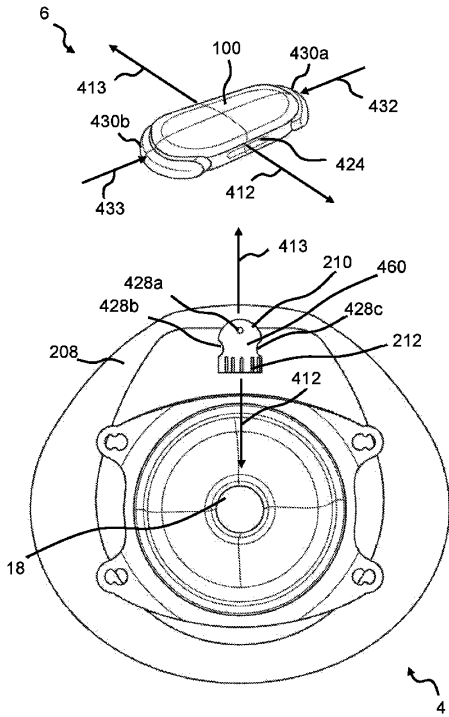


Fig. 22

【 図 2 3 】

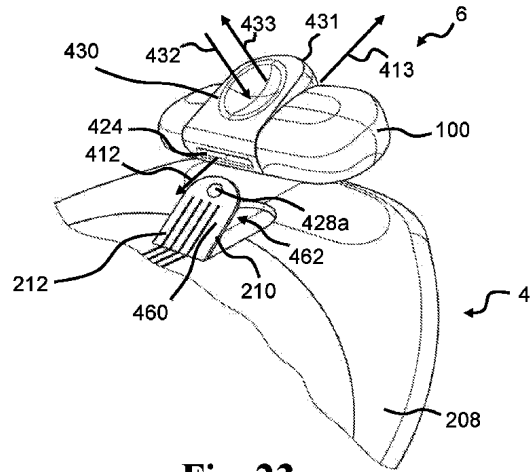


Fig. 23

【 図 2 4 】

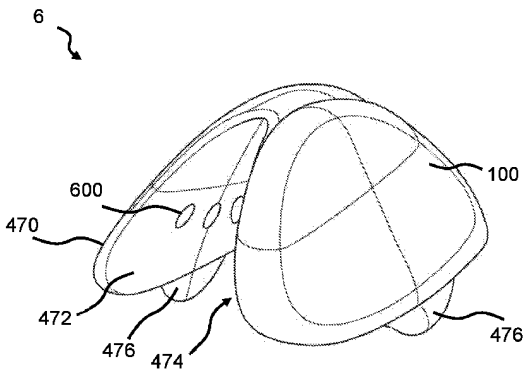


Fig. 24

【 図 2 5 】

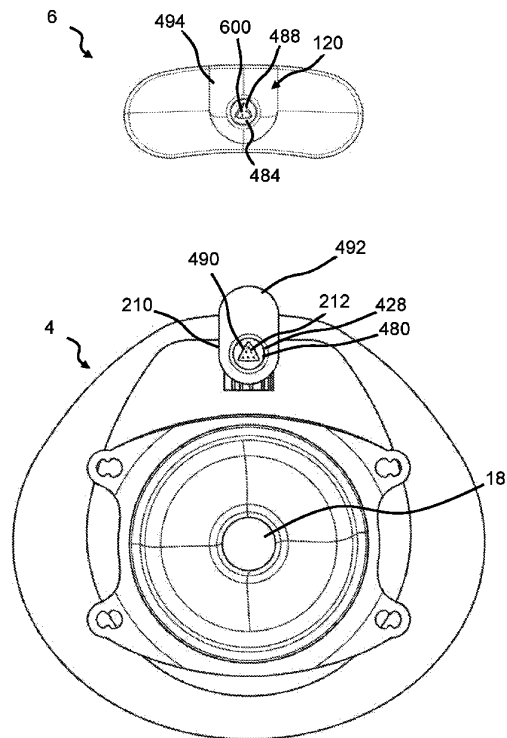


Fig. 25

10

20

30

40

50

【 図 2 6 】

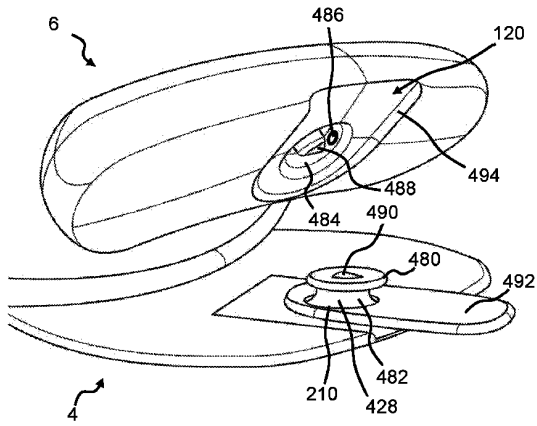


Fig. 26

【 図 2 7 】

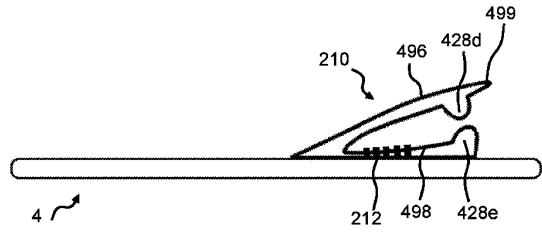


Fig. 27

【 図 2 8 】

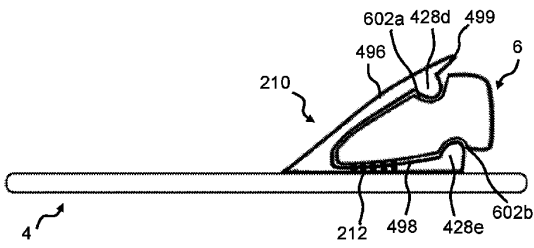


Fig. 28

【 図 2 9 】

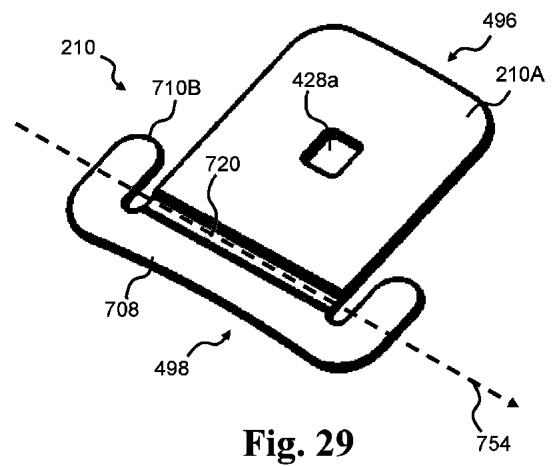


Fig. 29

10

20

30

40

50

【図 30】

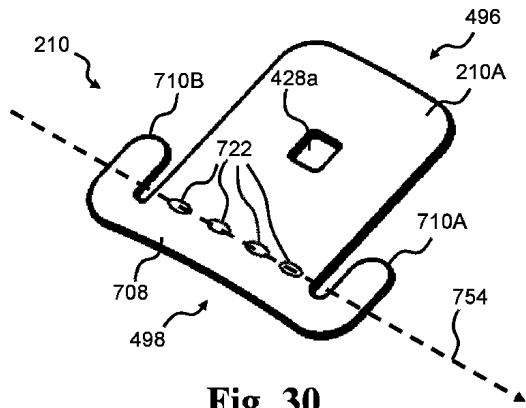


Fig. 30

【図 31 a】

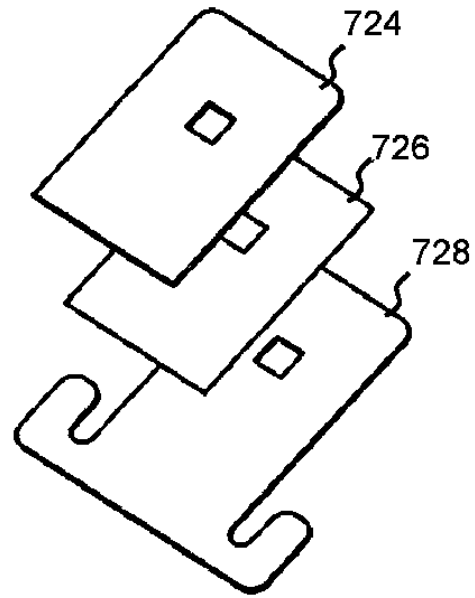


Fig. 31a

【図 31 b】

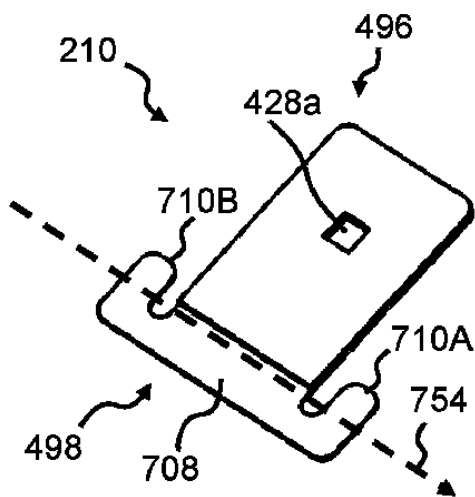


Fig. 31b

【図 32】

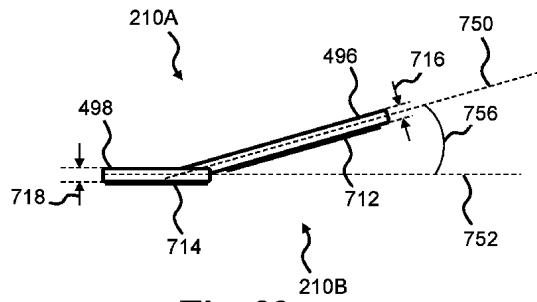


Fig. 32

10

20

30

40

50



【 図 3 3 】

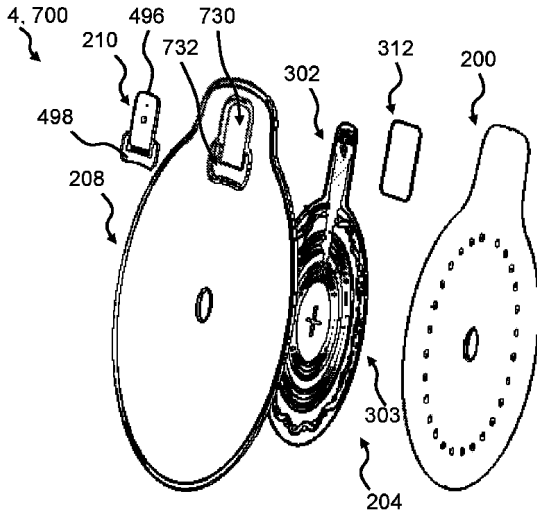


Fig. 33

【 図 3 4 】

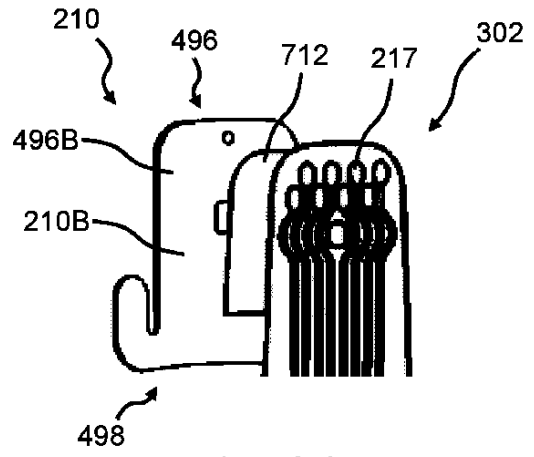


Fig. 34

10

20

30

40

50

## フロントページの続き

- (33)優先権主張国・地域又は機関  
デンマーク(DK)
- (31)優先権主張番号 PA201870108
- (32)優先日 平成30年2月20日(2018.2.20)
- (33)優先権主張国・地域又は機関  
デンマーク(DK)
- (31)優先権主張番号 PA201870323
- (32)優先日 平成30年6月4日(2018.6.4)
- (33)優先権主張国・地域又は機関  
デンマーク(DK)
- (72)発明者 ヤイス アスク ハンスン  
デンマーク国, 3 6 3 0 イェーヤスプリース, イーロンスパイ 7
- (72)発明者 ラース ステンデバズ ビンデバレ  
デンマーク国, 2 8 3 0 ビーロム, スコウリズ 2 8
- 審査官 瀧本 絢奈
- (56)参考文献 特表2009-528519(JP,A)  
特開平09-010184(JP,A)  
実開平04-074882(JP,U)  
特開平06-152077(JP,A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)  
A 6 1 F 5 / 4 4 5 - 5 / 4 4 9